

平成27年 第12回

# 戸田市教育委員会定例会

平成27年12月17日（木）午後4時00分

戸田市役所3階教育委員室

戸田市教育委員会

# 第12回教育委員会（定例会）次第

1 開会

2 前回の会議録の承認

3 教育委員提案について 別添 資料No.1のとおり

4 報告事項 別添 資料No.2のとおり

5 議事

ページ

(1) 議案

議案第48号 平成27年度特別支援教育推進計画について…………… 1

6 その他

(1) 次回の教育委員会の日程（案）

平成28年1月28日（木）午前9時30分～

(2) その他

7 閉 会

## 平成27年度特別支援教育推進計画

## 1 平成28年度特別支援学級新設について

小学校特別支援学級の新設	新設の理由
東部地区（喜沢小学校）に特別支援学級（知的）を1学級新設。（自閉・情緒）は検討中。	事前アンケート及び学校での就学相談において、入級希望があるため。

## 2 特別支援学級、通級指導教室の通学区域一覧（変更案）

《特別支援学級》

（平成28年4月当初）

	地 域	設 置 校	障害種別	通学区域
小 学 校	中央地区	戸田第一小学校	知的 情緒	戸田第一小・戸田南小
		新曽北小学校	知的 情緒	新曽北小・新曽小・芦原小
	東部地区	戸田第二小学校	知的 情緒	戸田第二小・戸田東小（下前1）
		喜沢小学校	知的 情緒（未定）	戸田東小（下前1を除く）・喜沢小 戸田東小（下前1を除く）・喜沢小
	西部地区	笹目小学校	知的	笹目小
			情緒	笹目小・美谷本小
		笹目東小学校	知的	笹目東小
			情緒	笹目東小・美女木小
	美女木小学校	知的	美谷本小・美女木小	
	中 学 校	中央地区	戸田中学校	知的
情緒				
東部地区		喜沢中学校	知的	喜沢中 戸田東中
			情緒	
笹目中学校	笹目中学校	知的	笹目中 美笹中	
		情緒		

# 教育委員提案について

平成27年第12回教育委員会(定例会)

平成27年12月17日(木)

戸田市役所3階 教育委員室

# 1 教育委員提案について

ページ

① 教員の資質向上について……………	1
(学務課・指導課)	
② 教員の多忙化対策について……………	5
(学務課)	
③ 学力向上に向けたその後の新しい取組について……………	6
(指導課・生涯学習課)	
④ 知のリソースの活用について……………	9
(教育総務課)	

## 戸田市の教員に求める資質・能力

平成27年12月17日  
戸田市教育委員会

### 基本理念

生き生きと 共に育む 教育のまち 戸田

### キャッチフレーズ

「～とだっ子 やり抜く力で 未来に夢を～」

### 基本目標

- 1 やり抜く力を育む教育を推進する  
～確かな学力と生徒指導の充実を図る～
- 2 よりよい教育環境を整備する  
～産官学民及び家庭・地域と連携し、知のリソースの活用を図る～

### 目指す児童生徒「とだっ子」像

希望を持ち、思いやり、未来を拓くため  
最後までやり抜く児童生徒

### これらの目標や児童生徒像の実現のために

「教育は人なり」と言われる。市民が求める学校教育を実現し、「とだっ子」像にある児童生徒を育成するためには、社会からの尊敬・信頼を受ける教員、思考力・判断力・表現力等を育成する実践的指導力のある教員が求められる。また、困難な課題にチームで取組み、地域と連携してよりよい教育環境を整備する必要がある。さらに、実践的な指導力を高め、社会の急速な変化に対応するための知識・技能を学び、教師自身が探究力を持ち、学び続ける存在であることが不可欠である。

そこで、平成24年8月に中央教育審議会答申で示された「学び続ける教員像」を踏まえ、戸田市の教員に求める資質能力を以下のように整理した。

#### 1 教職に対する責任感、探究力、教職生活全体を通じて自主的に学び続ける力

- 児童生徒に対する深い教育的愛情を持ち、児童生徒を成長させる教師
- 教育の専門家としての自覚と、常に学び続ける向上心を持つ教師
  - 教育者としての使命感や責任感
  - 子供に対する深い愛情
  - 自己研鑽に励む力

#### 2 専門職としての高度な知識・技能

- グローバル化、情報化、英語教育、特別支援教育など新たな課題に対応できる教師
- 新たな学びを展開できる教師
- 教科指導、生徒指導、学級経営を的確に実践できる教師
  - ICT機器を活用した魅力ある授業
  - 生徒指導の知識・技能や実践的な指導
  - 柔軟性と創造性をそなえ、専門的な指導力

#### 3 総合的な人間力

- 豊かな人間性や社会性とコミュニケーション力を持ち、チームで対応する教師
- 地域社会と連携・協働できる教師
  - 明るさと笑顔
  - 常識と教養
  - 礼儀作法をはじめ、対人関係能力

- 管理職には、「この学校なら是非自分の子を入りたい」という学校経営
- 教員には、「自分の子は自分のような教員に教えてもらいたい」というスキルと誇りを持った教員
- 優秀であるだけでなく、魅力ある教員

## 戸田市小・中学校教科等研究部・部会における授業研究の計画について

### 授業研究を毎年必修で実施（これまで通り実施）

- ① 国語
- ② 社会
- ③ 算数・数学
- ④ 理科
- ⑤ 生活・総合的な学習の時間
- ⑥ 音楽
- ⑦ 図画工作・美術
- ⑧ 小学校体育
- ⑨ 中学校保健体育
- ⑩ 外国語・外国語活動
- ⑪ 道徳
- ⑫ 特別活動

### 小中一貫教育の視点により統合を図り、授業研究を実施

- ① 小学校家庭、技術・家庭

### 授業研究を3年に1度（2度）実施

●の年度に実施

	H27	H28	H29	H30	H31	H32
①書写	●			●		
②人権教育		●			●	
③国際教育			●			●
④情報教育	●			●		
⑤環境教育		●			●	
⑥ボランティア・福祉教育			●			●
⑦学校食育部会	●			●		
⑧進路指導・キャリア教育	● (喜沢中)	● (新曽中)	蕨	● (笹目中)	● (戸田中)	蕨
⑨特別支援教育担当者連絡会			●			●

※進路指導・キャリア教育においては、「25地区進路指導・キャリア教育研究協議会」で蕨・戸田のローテーションが決まっているため、3年に2度の実施とする。

※特別支援教育、学校図書館教育、学校教育相談、安全教育については、以前から授業研究を実施していないため、今後も同様とする。（ただし、県等から依頼があった際には、都度対応とし、計画・実施することもある。）

# 平成27年度 戸田市教職員専門研修一覧

## 基本方針

学習指導要領に基づく教育を遂行し、児童生徒の「生きる力」を育むため、とりわけ、ICTを積極的に活用した協働的な学びを推進し、児童生徒の教育的ニーズに応じた指導により「楽しく、わかり、のびす授業」を充実させる。児童生徒のより確かな学力を育成するために、最新の教育情報を提供するとともに、今日的な課題をテーマとした研修の充実を図り教職員の資質向上を目指す。

### 1. 今日の課題に関する研修会 ★は、教育センター教育研究室において先進的なICT機器等の活用を中心に実施する研修

研修会名	対象者	日程等	時間	研修内容
<b>●全体研修会</b>				
1 教育のまち戸田「戸田市教育フェスティバル」	全教職員	1月8日(金)	14:00~16:30	学校教育の今日的な課題について、全教職員で研修することにより、教職員の資質向上に資する。
2 教師のための資質向上研修会	全教職員	1月8日(金)	15:30~16:30	教職員専門研修の一環として、講師を招聘し、教育フェスティバルの中で実施する。
<b>●学校運営に関わる研修会</b>				
3 教務担当研修会	教務担当	5月15日(金) 10月28日(水) 2月5日(金)	15:30~16:30	市内小・中学校の一貫教育のあり方について研修を行う。
4 ★管理職のためのICT研修会	管理職 (学校情報管理責任者)	5月13日(水)	10:30~11:30	情報モラル教育や学校における個人情報の取扱い、教育の情報化の効果等について研修する。
<b>●経験年数等に関わる研修会</b>				
5 3年経験者研修会	教職経験3年目の者(※ア) (3年目に達した年度に参加・5年経験者研修該当者を除く)	6月3日(水) 1月下旬	15:30~16:30 ※授業研究会の場合は13:30~16:30	教職経験3年目に達した教員(養護教諭・栄養教諭を含む)を対象に、学級経営や生徒指導、学習指導についての基礎基本を踏まえた実践的内容を中心に研修する。
6 臨時的任用教員研修会	臨時的任用教員(※イ)	6月3日(水) 8月20日(木) 9月29日(火)	15:30~16:30 ※夏季休業中は、9:00~12:00	実践的な指導力の向上を図るため、学習指導及び生徒指導に関する基本的事項について研修する。
※ア：埼玉県が実施する5年経験者研修修了者及び平成27年度5年経験者研修対象者を除く。 ※イ：平成27年度に埼玉県公立小・中学校に臨時的任用教員として勤務する者で、以下の条件に一つでも当てはまる者を対象とする。 ①平成27年度南部地区公立小・中学校臨時任用教員研修会参加対象者 ②過年度の戸田市小・中学校臨時任用教員研修を未受講の者 ③校長が研修を必要と認める者				
<b>●特別支援教育に関する研修会</b>				
7 特別支援教育研修会	幼稚園・保育園・小学校 中学校担当者 及び希望者	8月4日(火)	9:00~12:00	特別支援教育に関する研修を、幼稚園・保育園・小学校・中学校合同で実施し、相互の連携を図る。
8 特別支援教育コーディネーター研修会	担当者	5月13日(水) 9月30日(水)	15:30~16:30	各学校における特別支援教育コーディネーターの役割及び事例研修等について研修するとともに情報交換を行う。
9 授業のユニバーサルデザイン化研修会	希望者	8月7日(金)	9:00~12:00	授業のユニバーサルデザイン化について、どのように取り組むか、具体的な例を挙げながら研修する。
10 特別支援教育リーダー育成研修会	特別支援学級未設置校から1名以上 特別支援学級設置校の希望者	後日決定	13:30~16:30 (授業参観を含む)	特別支援学級の指導の方法から、教育的ニーズに応じた指導について研修する。
<b>●近未来に求められる学び支援に関する研修会</b>				
11 ★使ってみようICT研修会	新たに戸田市に赴任した教員及び希望者 (各回30名以内)	後日決定 (夏季休業中)	①9:00~12:00 ②13:30~16:30 ①②のどちらかを選択	小・中学校に整備しているICT機器等の操作方法や授業での活用について研修する。
12 ★ICT活用研修会	全教職員	各学校 1回以上	90分間	普通教室に整備されたICT機器を効果的に活用した授業づくりについての研修を各学校を会場に行う。
13 ★学校情報管理担当者研修会	学校情報管理担当者	5月20日(水) 1月13日(水)	15:30~16:30	パソコンやネットワークの管理・運営及び個人情報の取り扱い等について研修する。
<b>●外部機関と連携した研修会</b>				
14 普通救命講習研修会	教員	5月8日(金)	13:30~16:30	普通救命講習会として実施し、応急処置(蘇生法)の知識と技能について研修する。修了証を受け取ることができる。
15 応急手当普及員講習	希望者 (各校1名以上)	後日消防署と調整後決定 (夏季休業中)	2日間	*戸田市消防本部主催(「生きる力」をはぐむ授業力研修会と兼ねる)実践的に心肺蘇生指導法、基礎医学等について履修し、普通救命講習を開催・指導できる技能を習得する。全日程を修了すると、応急手当普及員認定証が交付される

### 2. 教育相談等に関する研修会

研修会名	対象者	日程等	時間	研修内容
1 生徒指導・教育相談中級研修会 (旧学校カウンセリング中級研修会)	教員 (希望、初級修了者)	蕨・戸田で 演習・協議3日間	9:00~16:30	初級修了者対象。本研修修了者は生徒指導・教育相談上級研修会への応募資格取得。県立総合教育センターと共催実施。
2 総合的な不登校対策会議及びさわやか相談員連絡会議	教員・さわやか相談員 教育心理専門員 教育センター相談員	第1回 7月10日(金) 第2回 10月20日(火) 第3回 2月10日(水)	連絡会議 14:30~15:30 対策会議 15:30~16:30	不登校児童生徒の現状及び学校復帰に向けての情報交換、総合的な不登校対策について協議する。
3 保護者とともに不登校について考える会	保護者・教員・さわやか相談員・ボランティア相談員・市民	10月3日(土)	10:00~12:00	不登校児童生徒を抱える保護者及び教員、市民、さわやか相談員、ボランティア相談員等が集まり、講演を聞く。講演会の後、不登校について情報交換を行う。
4 スクールカウンセリングマネージャー研修会	教育相談担当者、生徒指導・教育相談研修(旧学校カウンセリング)中・上級修了者	5月19日(火)	15:30~16:30	各小・中学校の学校教育相談活動をより効果的に機能させるために、教育相談担当者及び生徒指導・教育相談研修会中・上級修了者の資質の向上を図る。(いじめ防止プログラム研修を含む)

### 3. 「生きる力」を育む授業力向上研修会

研修会名	対象者	日程等	時間	研修内容	3年次教員	
					小学校	中学校
心に響く魅力ある道徳指導法研修会	3年次教員及び希望者	8月3日(月)	9:00~12:00	魅力ある道徳の時間に向けた、授業づくりと指導方法を演習をとおして学び、日々の授業改善につなげる研修を小・中学校の教員合同で行う。	必修研修	必修研修
国語科指導法研修会	希望者	7月28日(火)	9:00~12:00	言語活動の充実を図り、言語の習得・活用を力をつけていくための授業改善の方法や指導技術について、演習を中心に研修を行う。	一つ又は二つ選択	担当教科を選択
算数・数学科指導法研修会	希望者	7月28日(火)	13:30~16:30	児童生徒の学習意欲を高める学習課題づくりを中心に、授業実践に生かせる研修を行う。		
社会科指導法研修会	希望者	7月29日(水)	9:00~12:00	児童生徒の学習意欲を高めるための効果的なデジタル教科書の活用や思考力・表現力を高めるため言語活動を重視した学習指導の工夫について実践的な研修を行う。		
理科指導法研修会	希望者	7月31日(金)	13:30~16:30	児童生徒の学習意欲を高め、思考力・判断力・表現力を高めるための問題解決的な学習指導等の工夫について実践的な研修を行う。		
音楽科指導法研修会	希望者	8月5日(水)予定	9:00~12:00	一人一人の豊かな心をはぐくむ指導法について実践的な研修を行う。		
図画工作・美術科指導法研修会	希望者	8月5日(水)	9:00~16:30	戸田市の教育の特色である図工・美術教育の一層の向上を目指し、実技研修を行う。※今年度は、埼玉県造形教育研究会・創造体験研修会(芦原小会場)と兼ねる。		
生きる力を育む特別活動指導法研修会	希望者	8月3日(月)	13:30~16:30	特別活動(特に学級活動)の指導方法の改善充実を目指して、実践的な研修を小・中学校の教員合同で行う。		
小学校英語活動指導法研修会	希望者	7月28日(火) 7月29日(水) どちらかの1日	9:00~16:30	小学校英語教科化を踏まえた英語力・指導力向上のための研修を行う。 ※ア 平成31年度までに、小学校教員全員の研修を実施する。		
中学校英語担当教員指導法研修会	中学校英語担当(必修)	7月31日(金)	9:00~16:30	「英語による指導」を目的とした指導力向上のための実践的な研修を行う。		教員必修

※ア 平成27年度は、5・6年担当教員の参加を優先する。

### 4. 教育センター教科等研究グループ研修会

研修会名	対象者	日程等	時間	研修内容
教育センター教科等研究グループ	センター研究員	5月27日(水)全体会グループ毎随時 2月16日(火)発表会	・全体会15:30~16:30 ・部会毎随時開催 ・発表会14:00~16:30	教育センター教育研究室を積極的に活用し、各教科等研究グループ毎に研修を実施する。

### 5. 戸田市非常勤職員等研修会

研修会名	対象者	日程等	時間	研修内容
A L T 研修会	A L T	毎週月曜日	15:00~16:00	A L T に指示伝達を行うとともに、授業改善に関わる研修をする。
わくわくティーチャー研修会	わくわくティーチャー	年5回程度	14:45~16:15	教科指導等の基礎的・基本的内容について講義や演習を通して研修する。
小学校学習支援サポーター研修会	小学校学習支援サポーター	年5回程度	13:00~14:30 (会場校研修の場合は) 15:00~16:45	とだっ子学習クラブの円滑な運営のため、小学校学習支援サポーターの資質の向上を図るための研修を行う。 (学習支援システム研修を含む)
中学校学習支援サポーター研修会	中学校学習支援サポーター	年5回程度	14:30~16:00	とだっ子学習クラブの効果的な運営と中学校学習支援サポーターの資質の向上を図るための研修を行う。 (学習支援システム研修を含む)
本好きサポーター研修会	本好きサポーター	年4回程度	9:00~12:00	学校図書館に関わる事務処理やパソコン操作、読書活動の充実に関する内容などについて、講義や演習を通して研修する。
さわやか相談員研修会	さわやか相談員	年4回程度	9:30~12:00 14:30~15:30	さわやか相談員の相談活動の充実と資質の向上を図るための研修をする。
ボランティア相談員研修会	ボランティア相談員	年1回程度	9:30~12:00	ボランティア相談員の相談活動の充実と資質の向上を図るための研修をする。
すこやかサポーター研修会	すこやかサポーター	月1回程度	15:15~16:15	情報交換を通して、指導課との連携を推進するとともに資質の向上を図るための研修を行う。
特別支援学級支援員等合同研修会	特別支援学級、通常学級特別支援教育支援員	年1回程度	13:15~14:30	*学務課主催 特別な配慮を要する児童生徒への個に応じた支援のあり方について事例をもとに研修を行う。

① 研修日については、変更することがありますので御了承願います。

② 教科等研究部総会：5/11(月)予定 会場：戸田第一小学校

## 教職員の多忙化問題への対応について

平成27年12月17日  
戸田市教育委員会

### 1 ねらい

教職員が児童生徒と向き合う時間を確保し、教育活動に専念できるよう、関係機関と連携をとり、業務改善を進め、教職員の多忙化問題の改善を図る。

### 2 教育委員会としての取組

#### (1) 校務システムの導入・ICT機器の活用

- ・出席簿・通知表・指導要録の作成を電子化し、教職員の負担軽減を図っている。
- ・デジタル教科書の導入、各教室へのインターネット接続可能なPC、実物投影機、大型テレビなどを設置し、ICT機器を活用できる環境を整えることで、授業の充実を図るとともに、教材研究の効率化を図るなど、教職員の負担軽減を推進している。

#### (2) 在校時間調査の実施（6月、10月）

- ・個々の教職員に自己の勤務時間の現状を把握させ、自己の健康保持や業務の効率化の観点から、適正な勤務時間に対する意識を高めさせる。
- ・勤務時間を意識させることで、職員間で効率的な仕事の進め方を考えさせ、学校における自主的な業務改善を促す。
- ・1ヶ月間で、勤務時間外の時間が80時間以上の教職員については、管理職との面談を実施することとし、必要に応じて産業医・健康管理医との面談を行わせる。
- ・各学校からの在校時間の報告を集約し、校長会で、市内の状況やよい実践等を紹介するとともに、教職員の負担軽減に向けた改善について校長に指導助言する。また、必要に応じて教職員の負担軽減のために、改善が必要な関係課と連携をとり、改善を促していく。

#### (3) ふれあいデーの実施（全校実施）

- ・県で推奨している「ふれあいデー」を全市的に取り組み、確実に実施させる。
- ・全校で取り組むことで、市内の全教職員の勤務時間に対する意識を高めさせる。
- ・各学校での工夫した取り組みを紹介し、推進していく。

#### (4) 負担軽減検討委員会の設置（今後、設置する予定）

- ・市内小・中学校の教職員の多忙化解消の手立てを検討するため検討委員会を設置する。（来年度設置予定）
- ・検討委員会の委員は、教育委員会事務局（教育部長・次長・関係課長）、市内小・中学校の校長、教頭の代表者、小・中学校教諭の代表者の構成員で組織を編成する。
- ・教育現場の教職員の声を大切に、関係機関と連携をとり、組織的に教職員の負担軽減策を検討していく。

#### (5) 文部科学省地方教育アドバイザー制度の活用

- ・国から直接改善方策の専門的助言・体制の整備などの支援を受け、実効性のある負担軽減策について検討していく。

#### (6) 校長会・教頭会での検討を受けての対応

- ・校長会、教頭会で、現在の教育活動、校務について、教職員の負担を軽減する観点から軽減策を検討し、教育委員会に報告する。報告を受け、内容を検討し、関係各課に働きかけ、実現可能な内容について改善を図る。

#### (7) 民間企業と連携して負担軽減について検討する（予定）

- ・民間企業のノウハウを生かして、学校現場の実情を分析し、改善策を検討する予定。

学力向上を図るための各学校の取組・新しい取組 [学力向上対策会議 資料]

小学校編

	1 戸田第一小学校	2 戸田第二小学校	3 新曽小学校	4 美谷本小学校	5 笹目小学校	6 戸田東小学校
キーワード等	<p>○ICTを活用した授業</p> <p>○学力調査の分析</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平均正答率が低かった問題の原因分析と課題の把握</li> <li>各学年における段階的達成内容の把握</li> </ul>	<p>○アクティブ・ラーニングを取り入れた授業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>協調学習（知識構成型ジグソー法による）の手法を取り入れた授業研究</li> <li>思考力・表現力を高める学び合う授業づくり</li> <li>語り（書き）たくなる発問研究</li> <li>児童が考えたくなる教材研究</li> </ul> <p>○基礎的な知識を定着させる環境づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>階段掲示物の作成</li> </ul>	<p>○アクティブ・ラーニングを取り入れた授業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子供達が主体的に伝え合ったり学び合ったりする活動</li> </ul> <p>○朝の自習時間の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各学年の実態に合わせた文法プリントや作文プリントの開発（文法に関する理解の促進や「書くこと」への抵抗感の軽減）</li> </ul>	<p>○アクティブ・ラーニングを取り入れた授業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>協調学習による話合いの活性化</li> </ul> <p>○学力調査の分析</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ほめること：無回答率が低いことに対する称賛</li> <li>課題への取組：①重点指導単元の設定②当該教科における継続的な指導③いきいきタイム等での重点指導④家庭学習での対応</li> </ul>	<p>○ユニバーサルデザイン「ビジュアル」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>視覚的なわかりやすさ</li> </ul> <p>「イージー」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学ぶことの焦点化</li> </ul> <p>「シェア」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学んだ知識を発展させ、自分の考えにまとめさせたり意見交換を行う活動</li> </ul> <p>○校内研修の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本校のレベルに合わせたアクティブ・ラーニングの手法を取り入れた授業づくり</li> <li>教師の指導力向上</li> </ul>	<p>○言語活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>話し合い活動の活性化</li> <li>協調学習の意図的・計画的な導入</li> </ul> <p>○学力調査の分析</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>調査結果をもとにした重点目標の設定</li> <li>①授業の充実…45分後の児童の姿をイメージする</li> <li>②家庭学習の定着</li> <li>③読書活動の推進</li> <li>④学んだことを生活に生かす実践力の育成</li> </ul>
	7 戸田南小学校	8 喜沢小学校	9 笹目東小学校	10 新曽北小学校	11 美女木小学校	12 芦原小学校
キーワード等	<p>○ユニバーサルデザイン</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>視覚的に分かりやすい提示</li> <li>ICT機器の効果的な活用</li> </ul> <p>○道徳授業の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>考える道徳や本校の道徳授業の進め方の確立・発展</li> </ul>	<p>○ベネッセ「ミライシード」を取り入れた授業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>話し合いや学び合いを活性化させた授業</li> </ul> <p>○新しい取組の検証・改善</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①スイッチタイム（仮称） <ul style="list-style-type: none"> <li>授業開始時（国・算）3分間の基礎的学習の時間を設定</li> <li>問題や出題方法等、取組を記録し随時検証・改善</li> </ul> </li> <li>②家庭学習の充実 <ul style="list-style-type: none"> <li>保護者への啓発の強化</li> </ul> </li> </ol>	<p>○ベネッセ「ミライシード」を取り入れた授業</p> <p>○学力向上推進委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>7月21日から、9月中旬までに4回実施</li> <li>本校の課題の分析、改善策の協議、実践のサイクル</li> <li>後期も見直しを継続するため2か月に1回程度予定</li> </ul>	<p>○模擬授業・研究授業の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各教科各3回行うことにより、校内課題研究も充実させていきたい。</li> </ul>	<p>○アクティブ・ラーニングを取り入れた授業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>思考力・表現力等、総合的な国語力の育成</li> <li>考える活動、自分の考えを書く活動を多く取り入れた授業</li> <li>児童のさまざまな考えを引き出したり思考を深めたりするような発問の工夫</li> </ul> <p>○問題解決型授業の展開</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各教科等で進めている話し合い活動（3人での話し合い）等、学び合いを取り入れた授業の展開</li> </ul>	<p>○ベネッセ「ミライシード」を取り入れた授業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>充実した話し合い活動や意見の交流</li> </ul> <p>○算数的活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>具体物の操作による感覚の醸成</li> <li>ICTの活用と視覚に訴えかける提示</li> </ul>

学力向上を図るための各学校の取組・新しい取組 [学力向上対策会議 資料]

中学校編

	1 戸田中学校	2 戸田東中学校	3 美笹中学校	4 喜沢中学校	5 新曽中学校	6 笹目中学校
キーワード等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○アクティブ・ラーニングを取り入れた授業                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・協調学習、ジグソー法を多く取り入れた授業</li> <li>・言語活動の充実・話し合い活動の積極的な購入</li> </ul> </li> <li>○ICTを活用した授業                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ICTを活用した資料提示の研究</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○話し合い活動の充実                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・書く活動との両立</li> </ul> </li> <li>○数学的活動の充実                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・数学的な思考力・表現力の育成</li> <li>・ノートに計算方法や過程を記述させ、周りに伝える活動</li> </ul> </li> <li>○問題解決型授業の展開                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・問題解決をしながら、既習事項を確認できる活動や教材の開発</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○言語活動の充実                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒が発言する機会を増やし、自分の意見を述べるができる授業</li> </ul> </li> <li>○「書く活動」の設定                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・話し合い活動で出された意見を書いて論理的にまとめる活動</li> </ul> </li> <li>○家庭学習の習慣化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○話し合い活動の充実                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・協調学習による話し合いの活性化</li> </ul> </li> <li>○スモールティーチャー                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒同士の教え合いの活発化のため、生徒の中から「教師役」を設定</li> </ul> </li> <li>○ICTを活用した授業                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT機器の効果的な活用方法の研究</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○協調学習を取り入れた授業                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・話し合い活動の充実による授業の活性化</li> </ul> </li> <li>○学力調査の分析                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・個を生かす指導の工夫</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○協調学習を取り入れた授業                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・話す・聞く活動の充実</li> </ul> </li> <li>○ICTを活用した授業                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ICTを活用した資料提示の研究</li> </ul> </li> <li>○校内研修の充実</li> </ul>

<キーワード分類>

○ アクティブ・ラーニング 「言語活動の充実」「話し合い活動」 「協調学習」「問題解決型授業」 を含む	戸田第二小学校 美女木小学校 戸田中学校 新曽中学校	新曽小学校 戸田東中学校 笹目中学校	美谷本小学校 美笹中学校	戸田東小学校 喜沢中学校
○ ICT	戸田第一小学校	戸田中学校	喜沢中学校	笹目中学校
○ ユニバーサルデザイン	笹目小学校	戸田南小学校		
○ ベネッセ「ミライシード」	喜沢小学校	笹目東小学校	芦原小学校	
○ 学力調査の分析	戸田第一小学校	美谷本小学校	戸田東小学校	新曽中学校
○ 学校での取組	校内研修の充実	笹目小学校	笹目中学校	
	算数・数学的活動の充実	芦原小学校	戸田東中学校	
	その他	戸田第二小学校(環境づくり) 戸田南小学校(道徳授業の充実) 笹目東小学校(学力向上推進委員会) 美笹中学校(書く活動・家庭学習)	新曽小学校(朝自習の活用) 喜沢小学校(新しい取組の検証・改善) 新曽北小学校(模擬・研究授業の充実) 喜沢中学校(スモールティーチャー)	

## 平成27年度 小・中学校「土曜ジャンプアップ プラン」事業

1. 事業名 「土曜ジャンプアップ プラン」
2. 目的 市内小・中学校の学習意欲はあるが、きっかけができていない児童・生徒を対象として、土曜日に地域の民間企業（塾）講師による学習支援を実施し、学力の向上を図る
3. 実施日時 11月～2月までの土曜日、8～10回程度  
午前10時から11時50分まで
4. 日程案 11 / 7（土）、14（土）、21（土）  
12 / 12（土）、19（土）  
1 / 9（土）、16（土）、23（土）  
2 / 6（土）、20（土） ※小・中学校により変動あり
5. 対象校 美谷本小学校、笹目小学校の6年生 各校10人程度  
美笹中学校の1～3年生 10人程度
6. 教科 (小学校) 算数  
(中学校) 数学
7. 会場 美笹中学校  
※美谷本小、笹目小の児童は徒歩で来校する
8. 費用 無償
9. 募集方法 生涯学習課で作成した募集通知(案)を基に、各学校で小学校用・中学校用の通知を作成して、保護者へ配布する。参加希望の保護者は、学校へ申し込み、各校とりまとめ後、別紙の書式で市教委生涯学習課へ報告する。  
なお、募集の際、実態に応じて各学校より児童・生徒に参加を促す場合もある。
10. 講師 (株) 埼英スクール、(株) エデュケーショナルネットワーク（栄光グループ）  
※教材については、学校と相談の上、児童・生徒の実態に応じ、塾で作成・準備を行う
11. その他
  - ・美笹中の鍵の開け閉めや児童・生徒の把握のために、3校の教頭が分担しながら適時関わることとする
  - ・その他詳細は学校と講師（塾）で協議の上、実施する

## 知のリソースの活用について

## 1 子供たちの未来について

平成27年12月 野村総合研究所と英オックスフォード大学との共同研究より

今後10年～20年以内に日本で働く人の仕事の49%は人工知能（AI）やロボットで代替できるようになる。

○抽象的な概念を整理・創出するための知識が要求される職業、他者との協調や、他者の理解、ネゴシエーション、サービス志向性が求められる職業は、人工知能等での代替は難しい傾向にある。

## 【人工知能やロボット等による代替可能性が低い職業の例】

アナウンサー、映画監督、社会教育主事、幼稚園、小中高大などの教員、学校カウンセラー、保育士、学芸員、演奏家、ケアマネージャー、医師、作詞作曲家、美容師など

○必ずしも特別の知識・スキルが求められない職業に加え、データの分析や秩序的・体系的操作が求められる職業については、人工知能等で代替できる可能性が高い傾向にある。

## 【人工知能やロボット等による代替可能性が高い職業の例】

受付係、学校事務員、給食調理士、行政一般事務職（国縣市町村）、銀行窓口、警備員、スーパー店員、測量士、電車やバスの運転士など

仕事の多くは機械に任せて労働力を補う。人はより独創的な役目を担う。

とだっ子には、これらの人工知能等での代替は難しい、コミュニケーション能力やプレゼンテーション能力などといった、いわゆる「21世紀型スキル」を身に付けて欲しい。

## 2 21世紀型スキルを身につけるための「知のリソース」の活用について

### ○「知のリソース」とは

今後、市の財政が厳しくなっても、できるだけ費用をかけず、他の自治体をもリードする先導的・先進的な教育を推進するため、文部科学省や埼玉県教育委員会、大学や様々な研究機関、民間企業の最先端の知見やマンパワーを教育施策に活用すること、つまり、産官学民と連携した教育シンクタンクをつくり活用していくこと

### ○本市ですでに「知のリソース」を活用している教育施策について

- ・ 東京大学、青山学院大学、お茶の水女子大学などの大学やベネッセコーポレーションなどの企業と連携した、学校における様々な授業改善
- ・ 文部科学省や国立情報学研究所など国の研究機関と連携した共同研究開発事業や、地域の学習塾による学習支援事業など

### ○「知のリソース」を活用した施策（具体例）

#### 「新しい学びの創造」

- ・ 東京大学と連携したいわゆるアクティブ・ラーニングの1つの学習指導法である「協調学習」を全小・中学校に導入開始
- ・ ベネッセコーポレーションとの包括連携による、ICTを活用した新しい学びの実証研究
- ・ 国立情報学研究所と連携した「Reading Skill」の共同研究 など

#### 「指導力のある教職員の育成」

- ・ 大手の学習塾と連携した若手教員の研修事業
- ・ 言語研究所の所長による all in English の英語研修
- ・ 文部科学省などと連携し、現在、全国的に大きな課題となっている「教員の負担軽減の研究」 など

### 「新たな教育行政への転換」

- ・日本の教育経済学の第一人者である慶應義塾大学准教授の直接的な指導を受け、教育政策の費用対効果を統計的に分析・評価したり、客観的な根拠（エビデンスベース）に基づき、選択と集中の観点で教育施策を見直したりする取組
- ・文部科学省の職員がチームとなって、本市の教育全般に直接アドバイスをいただく取組 など

### 「生涯学習の充実」

- ・青山学院大学、埼玉大学、目白大学、岐阜女子大学などとの連携により、市民大学や子ども大学のメニューの一層の多様化や内容の充実化 など

### ○知のリソースの有効活用により期待される効果

- ・日々の授業が楽しくわかりやすくなるなど、教員の授業力の向上
- ・児童生徒の学びが主体的になり、学習意欲が向上し、21世紀型の学力の一層の向上
- ・低コストでトライアルを重ねることができ、効果が期待できる施策に集中的に予算や人を投入することで、より効果的な教育活動を促進

**「戸田市の教育を受けてよかった」、「戸田市で今後も学び続けたい」と言ってもらえるような多くの効果を期待**

# 報告事項

平成27年第12回教育委員会(定例会)

平成27年12月17日(木)

戸田市役所3階 教育委員室

# 1 報告事項

ページ

- ① 平成27年第5回戸田市議会定例会（12月）教育関連一般質問 件名・概要について…… 1
- ② 「第3次戸田市教育振興計画（案）」のパブリックコメントの募集について……別紙  
（教育総務課）
- ③ 平成28年度中学校学校選択制に係る抽選結果について…… 3  
（学務課）
- ④ 平成27年度第62回埼玉県歯科保健コンクール審査結果について…… 4  
（学務課）
- ⑤ 戸田市児童生徒作品展について…… 5  
（指導課）
- ⑥ 戸田市算数・数学フェスティバルについて…… 7  
（指導課）
- ⑦ 平成27年度文化財保護訓練・防火点検の実施について…… 9  
（生涯学習課）
- ⑧ 平成28年度戸田市立図書館の蔵書点検に伴う特別整理期間について…… 10  
（図書館・郷土博物館）
- ⑨ 第16回昔のくらし展の開催について…… 11  
（図書館・郷土博物館）
- ⑩ その他

平成27年第5回戸田市議会定例会（12月）教育関連一般質問 件名・概要について

**熊木照明議員（志政クラブ）**

**1 教育行政について**

- (1) 不登校について。
  - ①本市の不登校の現状は。
  - ②安否確認は。
  - ③不登校の児童生徒への教育相談体制は。

**竹内正明議員（公明党）**

**1 教育行政について**

平成27年6月議会における教育長就任挨拶の中で、「文科省や県教育局、大学やさまざまな研究機関、民間企業などと積極的に連携して、『知のリソース』を有効活用していくようにしたい」とあった。

- (1) 「知のリソース」とは具体的にどのようなものか。
- (2) 既に「知のリソース」を活用している教育施策はあるか。
- (3) 今後、実施を予定している教育施策はどのようなものか。

**3 図書館での「読書通帳」の導入について**

- (1) 平成25年12月議会で、借りた本の記録が預金通帳のように記録される「読書通帳」について、図書館での導入を提案した。現状はどうか。
- (2) 「読書通帳」は子供たちに読書の意欲を高める効果があり、他自治体でも広がりを見せている。明年の市制施行50周年に合わせて導入してはどうか。

**三輪なお子議員（公明党）**

**1 防災対策について**

- (1) 地域の防災力を高める取り組みについて。
  - ②今後の防災訓練の充実について。
    - (イ) 児童生徒・保護者・地域住民が防災拠点で訓練するための、小中学校・地域の運動会を活用した防災関連の競技についての現況と今後の取り組みについて。

## **石川清明議員（公明党）**

### **1 公立小中学校の消防設備点検について**

- (1) 小中学校の消防設備点検の実施状況は。
- (2) 小中学校の消防設備点検の点検結果は。
- (3) 消防設備点検結果の問題点と対応について。

## **真木大輔議員（戸田の会）**

### **1 建築基準法に基づく建築点検について**

- (1) 学校施設を含む市内の公共施設における、建築基準法に基づいた建築点検の実施状況について。

「第3次戸田市教育振興計画(案)」のパブリックコメントの  
募集について



## 「第3次戸田市教育振興計画（案）」について ご意見を募集します

戸田市では、教育に関する施策について、総合的かつ計画的な推進を図るため、「第3次戸田市教育振興計画」を策定します。

つきましては、広く市民の皆様の考えを反映させるため、下記のとおりご意見を募集いたします。

### 記

#### 1 ご意見募集期間

平成28年1月4日（月）から平成28年2月2日（火）まで  
※最終日の窓口受付は、午後5時15分まで

#### 2 案の概要

市のホームページ（<http://www.city.toda.saitama.jp/>）並びに担当課（教育総務課・市役所3階）、市政情報室（市役所3階西側）、各福祉センター、笹目コミュニティセンター（コンパル）、戸田公園駅前行政センター2階、新曽南多世代交流館（さくらパル）及び上戸田地域交流センター（あいパル）でご覧いただけます。

#### 3 関係資料

別添 第3次戸田市教育振興計画（案）

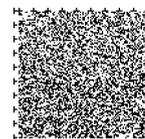
#### 4 ご意見の提出先

戸田市 教育委員会事務局 教育総務課

〒335-8588 戸田市上戸田1-18-1

FAX 048-443-9033

Eメール kyo-somu@city.toda.saitama.jp



## 5 ご意見を提出する際の留意事項

提出に当たって使用する言語は日本語でお願いいたします。

提出に当たっては、住所・氏名（法人にあつては、名称・所在地等の連絡先）を明記してください。記載が無い場合は、提出意見として取り扱えない場合もあります。

## 6 提出されたご意見の公表

提出されたご意見については、それに対する市の考え方を付して、内容を公開することを予定しています（個別の回答はいたしません）。その際に、住所・氏名等は公表いたしません。

なお、ご意見の内容は要約し、掲載する場合があります。また、似た内容のご意見が複数寄せられた場合には、まとめて掲載する場合がありますので、予めご了承ください。

## 7 第3次戸田市教育振興計画（案）についての問い合わせ先

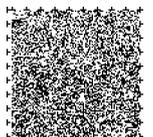
戸田市 教育委員会事務局 教育総務課

電話 048-441-1800（内線326）

## 戸田市市民パブリック・コメント制度についての問い合わせ先

戸田市 総務部 庶務課

電話 048-441-1800（内線363）



# 第3次戸田市教育振興計画

## ～概要版～

生き生きと 共に育む 教育のまち 戸田

～とだっ子 やり抜く力で 未来に夢を～



戸田市・戸田市教育委員会

## ■計画策定の趣旨■

近年、あらゆる分野においてグローバル化や情報化の進展などにより、世界全体が急速に変化する中、我が国では、今後も出生率の大きな改善が見込まれず、高齢化の一層の進行・人口の減少が見込まれます。また、地域のつながりの希薄化や社会規範の低下、学力・体力の二極化、いじめ、不登校など、依然多岐に渡る事項が教育課題として指摘されています。他方、未曾有の被害をもたらした東日本大震災を契機に、命を守るための取組が加速するとともに、人と人とのつながりの重要性が再認識されるなど、人々の意識に大きな変化をもたらし、教育分野においても、一人一人の「生きる力」を確実に伸ばす取組の推進が求められています。

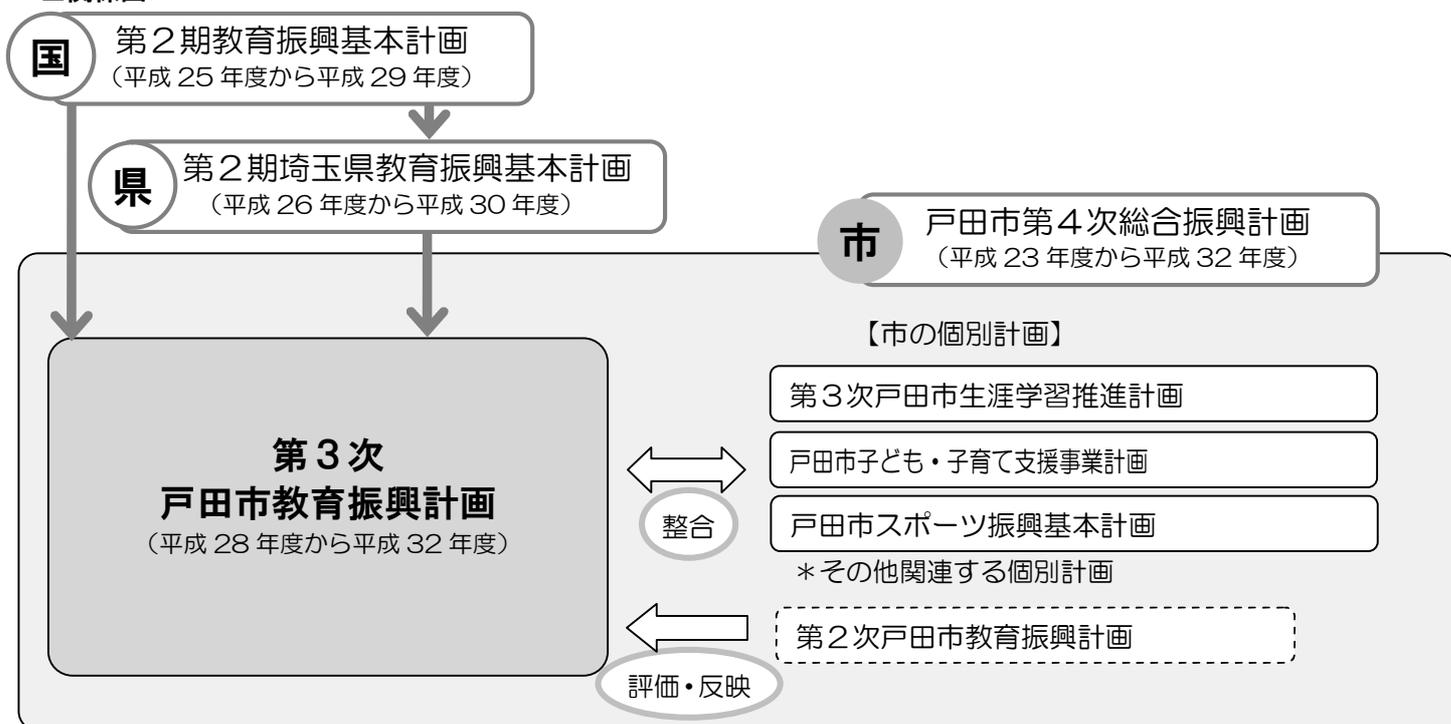
そのようなめまぐるしく変化する社会・経済情勢や、教育を取り巻く状況の変化等を踏まえ、本市では、教育基本法第17条第2項の規定に基づき、平成17年に「戸田市子ども教育ビジョン 小・中学校教育プラン（戸田市教育振興計画）」を、平成23年に「第2次戸田市教育振興計画」を策定し、子供たち一人一人がそれぞれの状況に応じてたくましく生きる力を地域ぐるみで育む、教育のまちづくりを推進してきました。

このたび、本市において、第2次戸田市教育振興計画の計画期間が平成27年度末に終了することから、法改正や、国・埼玉県の動向を考慮するとともに、市の各種関連計画との整合性を図りつつ、平成28年度を計画初年度とする「第3次戸田市教育振興計画」（以下「本計画」という。）を新たに策定いたしました。

## ■計画の位置付け■

本計画は、教育基本法第17条の規定に基づいて策定する、戸田市における教育振興のための施策に関する基本的な計画です。また、国・埼玉県に関連計画を考慮するとともに、戸田市第4次総合振興計画を基盤として、市の教育に関連する計画との整合を図りつつ策定します。

### ■関係図



## ■計画の期間・対象■

本計画の期間は平成 28 年度から平成 32 年度の5年間とします。なお、計画期間中、状況の変化により見直しの必要性が生じた場合には、適宜計画の見直しを行うこととします。また、本計画の対象は、学校教育を中心としつつ、すべての年齢層を対象とします。

	平成 22	平成 23	平成 24	平成 25	平成 26	平成 27	平成 28	平成 29	平成 30	平成 31	平成 32
教育振興計画											
				第2次			第3次				

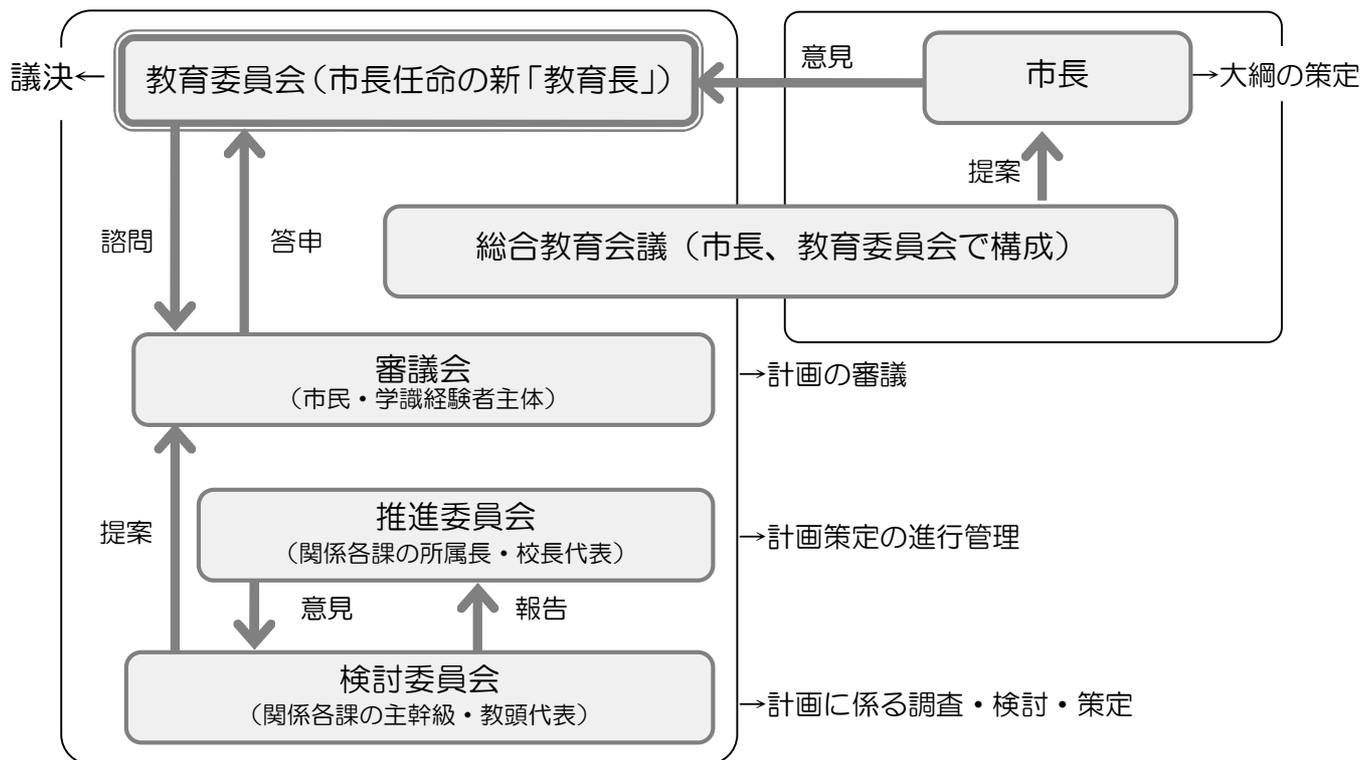
## ■計画策定体制■

本計画は、市民 1,300 人、小・中学生 1,789 人、教職員 505 人をそれぞれ対象に実施したアンケート調査や、各種団体等へのヒアリング調査、パブリックコメントの実施等を通じ、広く市民、地域の意見の反映に努めました。そして、庁内の検討機関である「戸田市教育振興計画検討委員会」・「戸田市教育振興計画推進委員会」において協議を重ね、計画案を策定し、「戸田市教育振興計画審議会」にて計画内容を審議しました。

また、国の法改正に伴い、平成 27 年 4 月より、「総合教育会議」が新設されました。総合教育会議では、教育行政の大綱の策定、教育の条件整備など重点的に講ずべき施策等の協議・調整等を行います。大綱は、本市の教育行政を推進するための基本指針となるもので、本計画は大綱と整合性を図り、具体的な施策を定めたものです。

最終的には、教育委員会における議決をもって、本計画の策定を行いました。

### ■計画の策定体制



### ■市民意見の反映

アンケート調査	小・中学生、教職員、市民を対象に市の教育に関するアンケートを実施
団体等ヒアリング調査	教育にかかわる各種団体等より、それぞれの立場から現状や課題についてヒアリングを実施
パブリックコメント	計画素案に対する市民意見募集を、市のホームページ等を通じて実施

## ■計画の基本理念とキャッチフレーズ■

戸田市の教育をめぐる課題と対応の方向性およびこれまでの教育分野における取組、今後の教育をめぐる社会の動向等を踏まえ、本計画の基本理念とキャッチフレーズを次のとおり定めます。

### 【基本理念】

生き生きと 共に育む 教育のまち 戸田

### 【キャッチフレーズ】

～とだっ子 やり抜く力で 未来に夢を～

## ■基本目標■

本計画の基本理念に基づき、施策展開を進める上での方向性を示す基本目標を、次のとおりとします。

### 基本目標1 やり抜く力を育む教育を推進する

#### ～確かな学力と生徒指導の充実を図る～

基礎的・基本的な知識・技能の定着と、習得した知識・技能を十分に活用できる確かな学力や、問題に直面した際に解決するために思考を働かせ、行動していく力を育成します。

また、健全な生活習慣を身に付け、思いやりの心と規範意識をもって主体的に行動する、心豊かで健康的な子供を育てる教育を推進します。

そして、一人一人の様々な違いについて理解し、互いを尊重し支え合う共生の心や、自ら考え、行動する、国際社会や地域社会で活躍できる人材の育成を目指します。

### 基本目標2 よりよい教育環境を整備する

#### ～産官学民及び家庭・地域と連携し、知のリソースの活用を図る～

文部科学省や県教育委員会、民間企業や大学など、産官学民との連携を図り、楽しくわかり、学びあい、理解が深まる授業づくりなどの教員の指導力向上、相談への対応力向上をはじめとした教職員の資質向上や、教職員が子供と向き合い、成長を十分にサポートできる体制づくりを推進します。

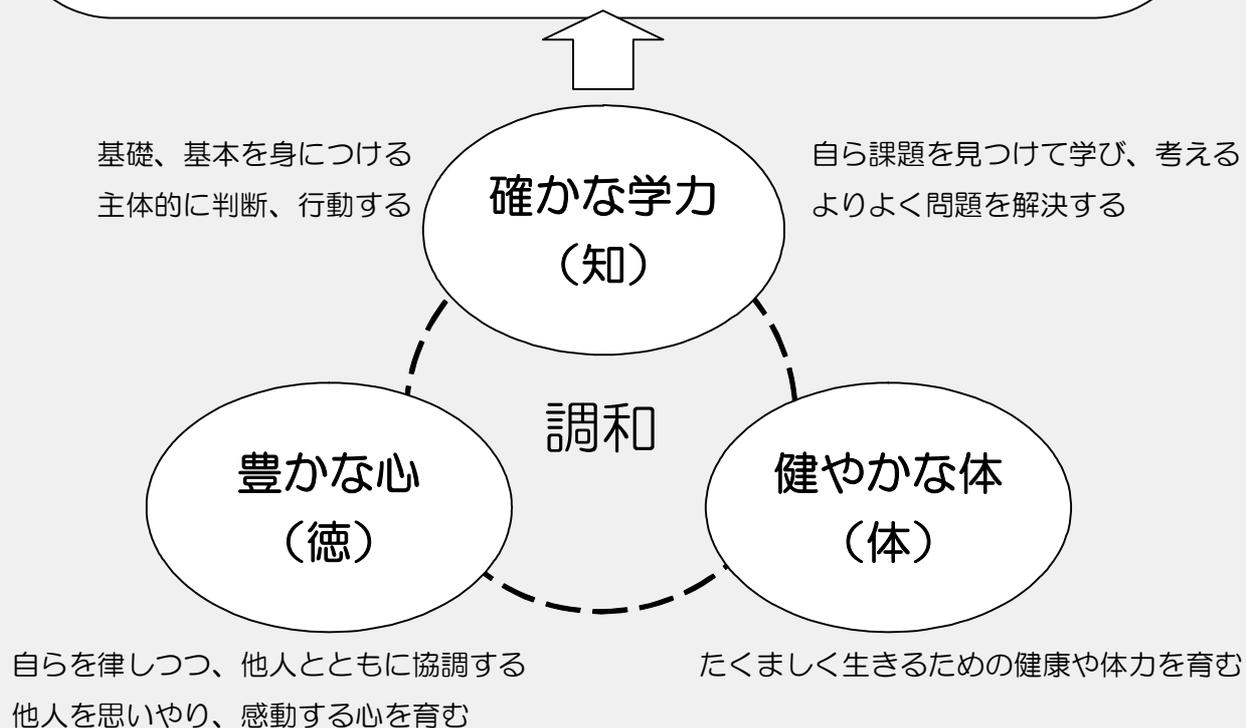
また、各学校の環境や特色を活かした安心・安全な学校づくりと、ICT 環境の整備充実をはじめとした効果的な学びを支援する施設・設備の充実を目指します。そして、開かれた学校づくりや施設開放、学びの機会の確保を通じて、誰もが安心して快適に学べる、よりよい学習環境・教育環境の整備を目指します。

## ■目指す児童生徒像■

本計画の基本理念と基本目標に基づき、目指す児童生徒像を次のとおりとします。

### 目指す児童生徒「とだっ子」像

希望を持ち、思いやり、未来を拓くため  
最後までやり抜く児童生徒



## ■キャッチフレーズについて■

とだっ子が、IQ や学力テストなどで測れる学力などの「認知能力」だけでなく、好奇心や自制心、やり抜く力などの「非認知能力」を身につけ、夢や希望を持ち、21 世紀を主体的に生き抜いてほしいとの思いから定めるものです。

やり抜く力は、自ら設定したゴールに向けて、努力し続けることができる力のことで、このような「非認知能力」は、人生の成功に非常に重要であることが諸外国の研究で示されています。

## ■ 施策の体系 ■

基本目標	施策の方向	施策
1 よりの 確かな学力と生徒指導の充実を図る	1 確かな学力の育成	1 楽しく、わかり、のばす授業の充実
		2 学習意欲の向上と学習習慣の確立
		3 学習機会の確保と学習支援
	2 豊かな心の育成	4 情操を豊かにする教育の充実
		5 道徳的実践力や規範意識・社会性の育成
		6 生徒指導と相談・支援体制の充実
	3 健やかな体の育成	7 健康教育、食育、学校安全の推進
		8 健康づくり・体力向上の推進
	4 国際社会で活躍できる人材の育成	9 能動的に課題を見つけ対応する力の育成
		10 国際社会で活かせるコミュニケーション力の育成
2 よりの 産官学民及び家庭・地域と連携し、知のリソースの活用を図る	5 新しい学びの創造	11 民間の教育力の活用
		12 学習支援器材の充実
	6 教員の資質向上・支援	13 教員の指導力の向上
		14 教員が児童生徒と向き合える体制づくり
		15 保護者・地域からの信頼の醸成
	7 学校施設・設備の充実	16 安全・安心な教育環境の確保
		17 ICT 環境の充実
	8 特別支援教育の充実	18 特別支援教育の充実
		19 相談・支援体制の強化
	9 家庭・地域の教育力向上	20 就学前教育への支援
		21 家庭教育への支援
22 保護者同士の交流・学習機会の充実		
10 家庭・学校・地域の連携	23 教育関連組織・団体活動への支援	
	24 子供の安全な居場所づくり	
	25 青少年の健全育成	
	26 戸田市らしい教育の推進	
11 生涯学習・生涯スポーツの振興	27 生涯学習活動の振興	
	28 文化・スポーツ活動環境の整備	

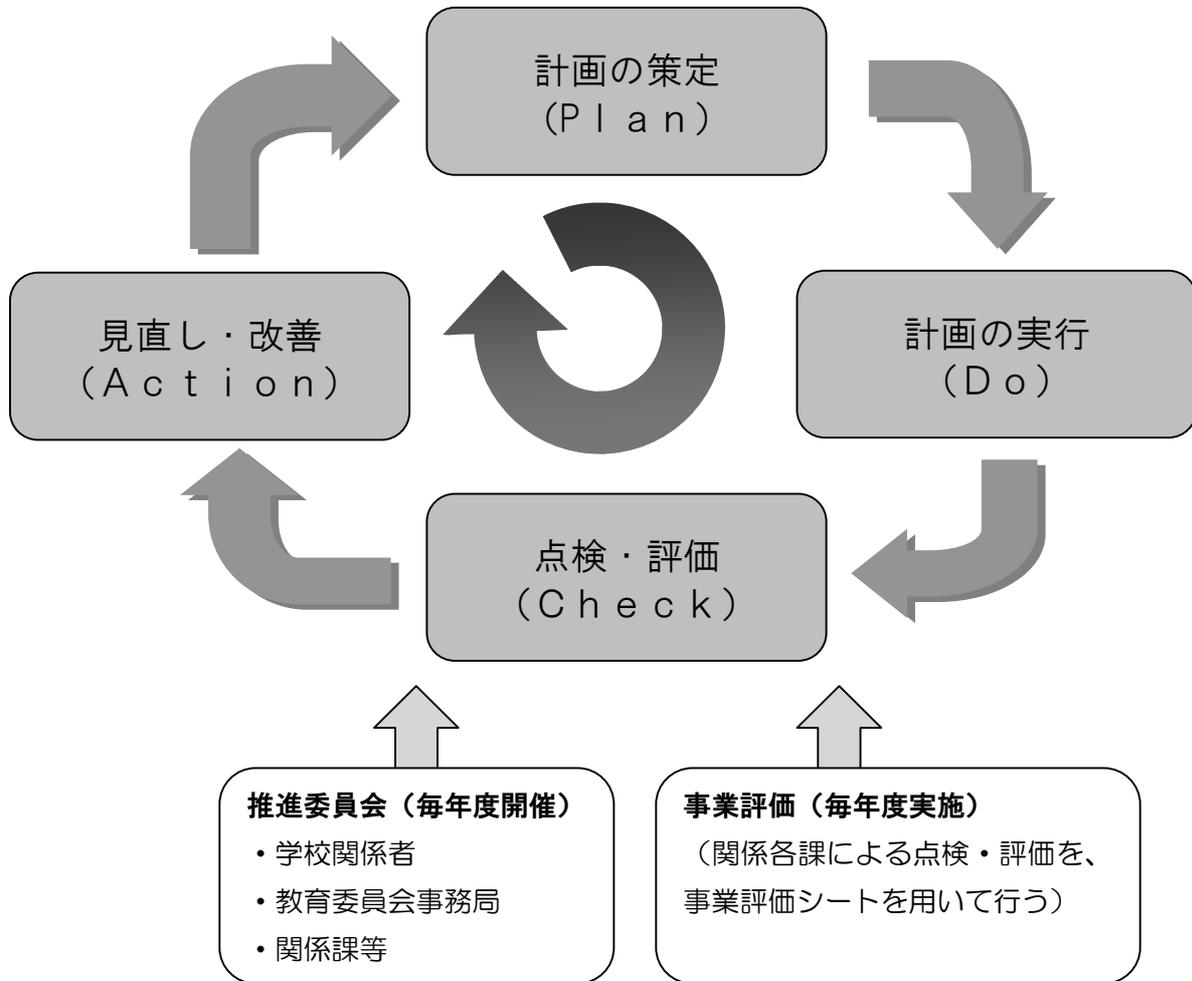
## 主な取組

- 学力向上に向けた取組 ・ 指導力の向上に向けた取組 ・ アクティブ・ラーニングの推進 ・ 協調学習の推進
- 家庭での学習への情報提供や支援
- 放課後等を活用した学習支援 ・ 就学支援
- 情操を育む体験・交流活動（自分や他者をいたわる気持ちの涵養 等）
- 道徳の授業の充実 ・ ボランティア活動 ・ 社会体験活動の充実
- 生徒指導の充実 ・ 児童生徒・保護者への相談・支援体制の充実
- 健康教育の充実 ・ 学校における食育の推進 ・ 学校安全の推進
- 体力向上の推進 ・ 部活動の充実
- アクティブ・ラーニングの実施（再掲） ・ 協調学習の推進（再掲） ・ 情報教育の推進（ICT 教育等） ・ ESD の推進
- 国語教育の充実 ・ 外国語教育の充実 ・ 情報教育の推進（ICT 教育等）（再掲）
- 学習塾等と連携した教育支援
- ICT 機器等の積極活用
- 教科指導力の向上に向けた取組 ・ 保護者・地域とのコミュニケーション力強化に向けた取組
- 多忙への対応 ・ 教員の健康管理・相談支援（問題や悩みへの対応含む）
- 学校応援団の充実 ・ 学校評価の推進 ・ 保護者・地域とのコミュニケーション力強化に向けた取組（再掲）
- 教育施設・設備の充実 ・ 学校安全の充実
- ICT 環境の充実
- 特別支援教育の推進 ・ 共に学ぶ環境づくり
- 早期発見・療育支援、保護者への支援
- 保育園、私立幼稚園への支援 ・ 学びへの興味の醸成
- 適切な生活習慣確立に向けた支援 ・ 家庭への情報提供・相談支援の充実
- 保護者同士の交流・学習機会の充実
- 子ども会活動への支援 ・ PTA 活動等への支援
- 学童保育の充実 ・ 放課後子ども教室の充実 ・ 既存施設の積極的な活用
- 家庭・学校・地域と連携した青少年の健全育成
- 地域の人材・団体・施設等と連携した学習の推進 ・ 自然環境を活かした体験学習の推進
- 市の多様な生涯学習関連施設を活用した学習の推進 ・ 生涯学習団体への支援
- 地域資源を活かした文化・スポーツの推進 ・ 放課後・土曜日の学校施設の開放 ・ 文化活動団体・スポーツ活動団体との連携強化

## ■計画の推進に向けて■

本計画の推進に向けて、学校関係者・教育委員会事務局・関係課等で構成する推進委員会を設置します。また、計画の進行管理に当たっては、PDCAサイクルに沿って行います。計画内容に沿って事業を推進する中で、事業評価の実施を通じて毎年度の進捗について関係各課にてチェックを行います。そして実施された事業評価をもとに、推進委員会において改善に向けた検討を行います。さらに、推進委員会の検討内容をもとに、関係課による次年度予算に反映するための実務的検討を行います。

### ■PDCA サイクルに基づく計画の推進イメージ



### 第3次戸田市教育振興計画 ～概要版～

発行・編集：戸田市・戸田市教育委員会

発行年月日：平成28年3月

〒335-8588 埼玉県戸田市上戸田1丁目18番1号

電話：048-441-1800 (代)

FAX：048-443-9033

# **第3次戸田市教育振興計画 (素案)**

**戸田市・戸田市教育委員会**

# 目 次

<b>第1編 総論</b> .....	<b>1</b>
<b>第1章 計画の策定に当たって</b> .....	<b>2</b>
第1節 策定の背景と趣旨.....	2
第2節 計画の位置づけ.....	4
第3節 計画の期間・対象.....	5
第4節 計画の策定体制.....	6
第5節 国・県の取組.....	7
第6節 市の取組.....	9
第7節 第2次計画の評価.....	10
<b>第2章 戸田市の教育等を取り巻く状況</b> .....	<b>21</b>
第1節 人口等の状況.....	21
(1) 人口の推移・推計.....	21
第2節 幼稚園・保育園・学校等の状況.....	22
(1) 幼稚園の状況.....	22
(2) 保育園の状況.....	23
(3) 小学校の状況.....	25
(4) 中学校の状況.....	26
(5) 特別支援学校等の在籍の状況.....	27
(6) 外国籍児童生徒の状況.....	28
(7) 教員の状況.....	29
第3節 子供たちを取り巻く状況.....	30
(1) 学習の状況.....	30
(2) 体力・運動能力の状況.....	32
(3) 生活習慣の状況.....	34
(4) 教育相談の状況.....	35
(5) 地域の安全の状況.....	36
(6) 青少年の健全育成の状況.....	36
第4節 生涯学習・生涯スポーツの状況.....	37
(1) 文化会館の利用状況.....	37
(2) 公民館の活動状況.....	37
(3) 図書館の状況.....	38
(4) 郷土博物館・彩湖自然学習センターの状況.....	38
(5) スポーツ施設等の利用状況.....	39
(6) スポーツ活動の状況.....	40
第5節 アンケート等からみる戸田市の教育の現状.....	41

(1) アンケートの概要.....	41
(2) アンケート結果より.....	42
第6節 戸田市の教育をめぐる課題と対応の方向性.....	62
<b>第3章 計画の基本理念と取組の方向性.....</b>	<b>68</b>
第1節 計画の基本理念とキャッチフレーズ.....	68
第2節 計画の基本目標.....	69
第3節 目指す児童生徒像.....	70
<b>第2編 施策の展開.....</b>	<b>71</b>
<b>施策の体系.....</b>	<b>72</b>
<b>基本目標1 やり抜く力を育む教育を推進する.....</b>	<b>74</b>
<b>施策の方向1 確かな学力の育成.....</b>	<b>74</b>
<b>施策の方向2 豊かな心の育成.....</b>	<b>78</b>
<b>施策の方向3 健やかな体の育成.....</b>	<b>81</b>
<b>施策の方向4 国際社会で活躍できる人材の育成.....</b>	<b>85</b>
<b>基本目標2 よりよい教育環境を整備する.....</b>	<b>88</b>
<b>施策の方向5 新しい学びの創造.....</b>	<b>88</b>
<b>施策の方向6 教員の資質向上・支援.....</b>	<b>90</b>
<b>施策の方向7 学校施設・設備の充実.....</b>	<b>93</b>
<b>施策の方向8 特別支援教育の充実.....</b>	<b>95</b>
<b>施策の方向9 家庭・地域の教育力向上.....</b>	<b>97</b>
<b>施策の方向10 家庭・学校・地域の連携.....</b>	<b>99</b>
<b>施策の方向11 生涯学習・生涯スポーツの振興.....</b>	<b>102</b>
<b>計画の推進に向けて.....</b>	<b>104</b>
<b>資料編.....</b>	<b>105</b>
<b>用語解説.....</b>	<b>106</b>



# 第1編 総論

---

# 第1章 計画の策定に当たって

---

## 第1節 策定の背景と趣旨

近年、あらゆる分野においてグローバル化や情報化の進展などにより、世界全体が急速に変化する中、我が国では、今後も出生率の大きな改善が見込まれず、高齢化の一層の進行・人口の減少が見込まれます。また、地域のつながりの希薄化や社会規範の低下、学力・体力の二極化、いじめ、不登校など、依然多岐にわたる事項が教育課題として指摘されています。

他方、平成23年3月に発生し、未曾有の被害をもたらした東日本大震災を契機に、命を守るための取組が加速するとともに、人と人とのつながりの重要性が再認識されるなど、人々の意識に大きな変化をもたらし、教育分野においても、一人一人の「生きる力」を確実に伸ばす取組の推進が求められています。

そのようなめまぐるしく変化する社会・経済情勢や、教育を取り巻く状況の変化等を踏まえ、本市では、平成23年度から平成27年度を計画期間とする、「第2次戸田市教育振興計画」を策定し、子供たち一人一人がそれぞれの状況に応じてたくましく生きる力を地域ぐるみで育む、教育のまちづくりを推進してきました。

この間、国では、改正教育基本法を踏まえた新学習指導要領の平成23年度からの段階的实施、平成25年4月の障害者総合支援法の施行、同年9月のいじめ防止対策推進法の施行など、教育分野に関連する様々な改正が行われ、平成25年6月には第2期の教育振興基本計画が策定されています。

また、埼玉県では、平成21年度から平成25年度を計画期間とする「生きる力と絆の埼玉教育プラン」に基づき、「教育に関する3つの達成目標」や「埼玉の子ども70万人体験活動」、「学校応援団」の推進など、県独自の施策を積極的に進め、平成26年度からは第2期計画へと移行しています。

このたび、本市において、第2次戸田市教育振興計画の計画期間が平成27年度末に終了することから、教育基本法に基づき、法改正や、国・埼玉県の動向を考慮するとともに、市の各種関連計画との整合性を図りつつ、平成28年度を計画初年度とする「第3次戸田市教育振興計画」（以下「本計画」という。）を新たに策定いたしました。

本計画では、基本理念とキャッチフレーズ、基本目標、目指す児童生徒像を次のとおり定めます。  
詳しくは、本文 68 ページから 70 ページをご覧ください。

## 基本理念

生き生きと 共に育む 教育のまち 戸田

## キャッチフレーズ

～とだっ子 やり抜く力で 未来に夢を～

## 基本目標

- 1 やり抜く力を育む教育を推進する  
～確かな学力と生徒指導の充実を図る～
- 2 よりよい教育環境を整備する  
～産官学民及び家庭・地域と連携し、知のリソースの活用を図る～

## 目指す児童生徒「とだっ子」像

希望を持ち、思いやり、未来を拓くため  
最後までやり抜く児童生徒

## キャッチフレーズについて

とだっ子が、IQ や学力テストなどで測れる学力などの「認知能力」だけでなく、好奇心や自制心、やり抜く力などの「非認知能力」を身につけ、夢や希望を持ち、21 世紀を主体的に生き抜いてほしいとの思いから定めるものです。

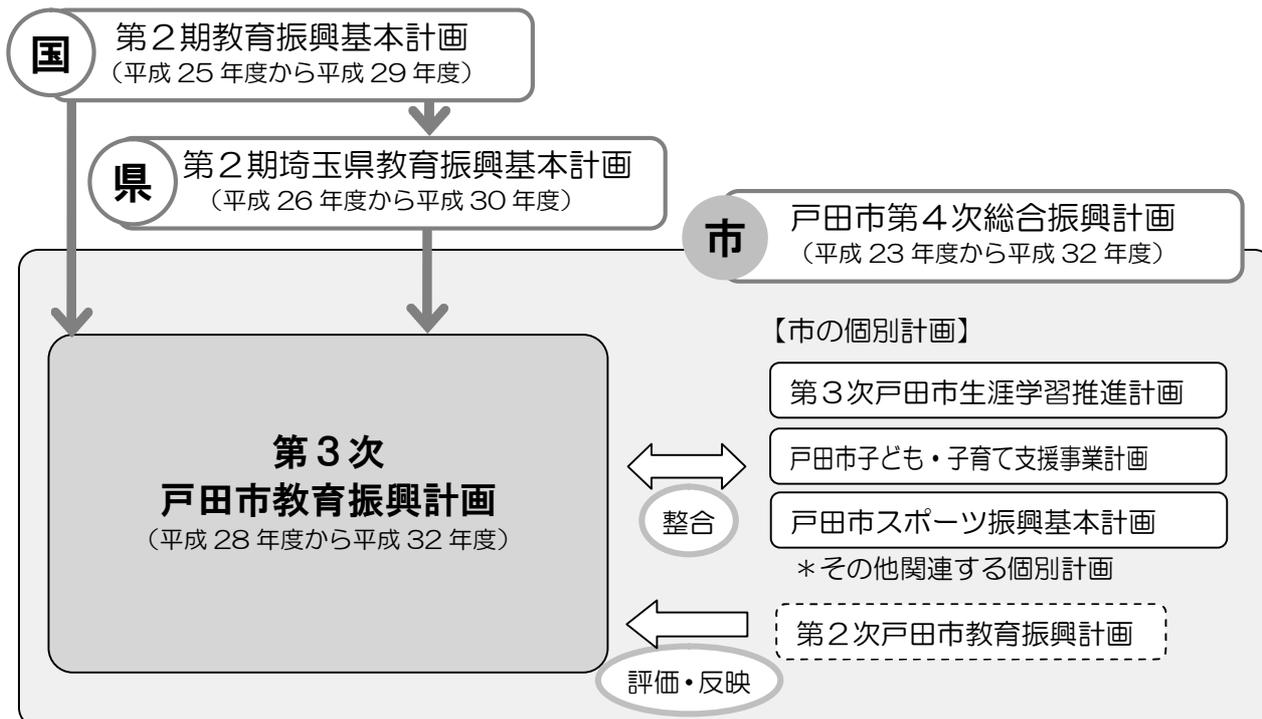
やり抜く力は、自ら設定したゴールに向けて、努力し続けることができる力のことで、このような「非認知能力」は、人生の成功に非常に重要であることが諸外国の研究で示されています。

## 第2節 計画の位置づけ

本計画は、教育基本法第17条の規定に基づいて策定する、戸田市における教育振興のための施策に関する基本的な計画です。

また、国・埼玉県に関連計画を考慮するとともに、戸田市第4次総合振興計画を基盤として、市の教育に関連する計画との整合を図りつつ策定します。

### ■関係図



### ■教育基本法 抜粋

第17条 政府は、教育の振興に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、教育の振興に関する施策についての基本的な方針及び講ずべき施策その他必要な事項について、基本的な計画を定め、これを国会に報告するとともに、公表しなければならない。

2 地方公共団体は、前項の計画を参酌し、その地域の実情に応じ、当該地方公共団体における教育の振興のための施策に関する基本的な計画を定めるよう努めなければならない。

### 第3節 計画の期間・対象

本計画の期間は平成 28 年度から平成 32 年度の5年間とします。なお、計画期間中、状況の変化により見直しの必要性が生じた場合には、適宜計画の見直しを行うこととします。また、本計画の対象は、学校教育を中心としつつ、すべての年齢層を対象とします。

	平成 22	平成 23	平成 24	平成 25	平成 26	平成 27	平成 28	平成 29	平成 30	平成 31	平成 32	
教育振興計画			第2次				第3次					
総合振興計画		第4次										
生涯学習推進計画			第3次									
子ども・子育て支援事業計画												
スポーツ振興基本計画												

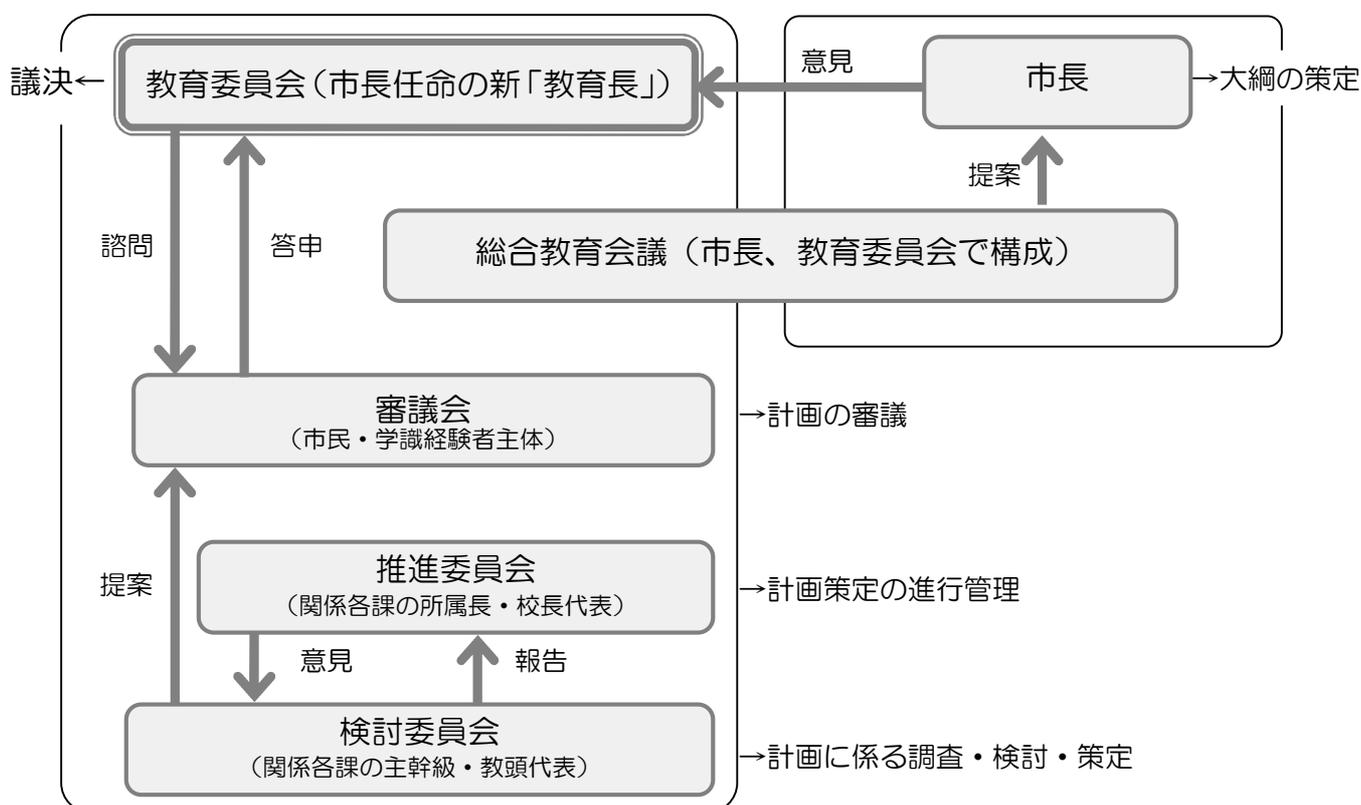
## 第4節 計画の策定体制

本計画は、市民 1,300 人、小・中学生 1,789 人、教職員 505 人をそれぞれ対象に実施したアンケート調査や、各種団体等へのヒアリング調査、パブリックコメントの実施等を通じ、広く市民、地域の意見の反映に努めました。そして、庁内の検討機関である「戸田市教育振興計画検討委員会」・「戸田市教育振興計画推進委員会」において協議を重ね、計画案を策定し、「戸田市教育振興計画審議会」にて計画内容を審議しました。

また、国の法改正に伴い、平成 27 年 4 月より、「総合教育会議」が新設されました。総合教育会議では、教育行政の大綱の策定、教育の条件整備など重点的に講ずべき施策等の協議・調整等を行います。大綱は、本市の教育行政を推進するための基本指針となるもので、本計画は大綱と整合性を図り、具体的な施策を定めたものです。

最終的には、教育委員会における議決をもって、本計画の策定を行いました。

### ■計画の策定体制



### ■市民意見の反映

アンケート調査	小・中学生、教職員、市民を対象に市の教育に関するアンケートを実施
団体等ヒアリング調査	教育にかかわる各種団体等より、それぞれの立場から現状や課題についてヒアリングを実施
パブリックコメント	計画素案に対する市民意見募集を、市のホームページ等を通じて実施

## 第5節 国・県の取組

### (1) 国の取組

国では、平成 18 年 12 月に、およそ 60 年ぶりとなる教育基本法の改正が行われました。そしてこの教育基本法改正に沿う形で、平成 19 年以降、学校教育法をはじめとする様々な教育関連法が改正されるとともに、平成 20 年の教育振興基本計画の策定、平成 21 年の学習指導要領、教育要領の改訂などが行われています。

また、平成 25 年には第 2 期の教育振興計画が策定されています。この第 2 期計画では、学校間や、学校教育と職業生活等との円滑な接続を重視し、「社会を生き抜く力の養成」など、生涯の各段階を貫く 4 つの教育の方向性を設定しています。また、第 1 期では必ずしも十分でなかった成果目標と、その達成度を客観的に計測するための成果指標を設定しています。

そして、同じく平成 25 年にはいじめ防止に関する法律の制定、平成 27 年には教育委員会の位置づけを大きく変える法改正などがなされています。

#### ■近年の国の取組

年月	事項
平成 2 年 6 月	生涯学習振興法の制定
平成 18 年 12 月	教育基本法の改正
平成 19 年 6 月	学校教育法、教職員免許法及び教育公務員特例法、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正
平成 20 年 2 月	新しい時代を切り拓く生涯学習の振興方策について（答申）
平成 20 年 3 月	学習指導要領の改訂（小・中学校）、教育要領の改訂（幼稚園）
平成 20 年 6 月	社会教育法、図書館法、博物館法の改正
平成 20 年 7 月	教育振興基本計画の策定
平成 21 年 3 月	学習指導要領の改訂（高等学校、特別支援学校）
平成 22 年 4 月	子ども・若者育成支援推進法の施行
平成 22 年 7 月	子ども・若者ビジョンの策定
平成 23 年 8 月	スポーツ基本法の施行
平成 24 年 7 月	共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育 <sup>*</sup> システム構築のための特別支援教育 <sup>*</sup> の推進（報告）
平成 24 年 8 月	子ども・子育て関連 3 法成立
平成 25 年 6 月	第 2 期教育振興基本計画の策定
平成 25 年 6 月	いじめ防止対策推進法の制定
平成 26 年 4 月	次世代育成支援対策推進法の延長
平成 27 年 4 月	地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行

※インクルーシブ教育：障がいの有無に関わらず、誰もが地域の学校で学べる教育のことです。

※特別支援教育：学習障がい、注意欠陥多動性障がい、高機能自閉症を含めた障がいのある児童生徒の自立や社会参加に向けて、その一人一人の教育的ニーズを把握して、その持てる力を高め、生活の困難を改善または克服するために、適切な教育や指導を通じて必要な支援を行う教育のことです。

## (2) 県の取組

埼玉県では、平成 21 年に、埼玉県教育振興基本計画（生きる力と絆の埼玉教育プラン）を策定し、「生きる力を育て絆を深める埼玉教育」を基本理念に、「子どもを認め、鍛え、はぐくむ」、「一人一人の学びと夢を応援する」、「県民の教育力を結集する」の3つの観点を掲げ、教育の推進を図ってきました。この第1期計画では、市町村と連携し、「教育に関する3つの達成目標」、「埼玉の子ども 70 万人体験活動」、「学校応援団」の推進といった独自の取組を積極的に進めています。

翌平成 22 年には、埼玉教育プランの実施計画として、「いつでもどこでも県民だれもが自由に学習することができ、その成果が適切に評価される生涯学習社会」を目指した埼玉県生涯学習推進計画を策定しています。

また平成 26 年には、第1期計画の柱を継承しつつ、近年の社会状況の変化等をふまえて、第2期の教育振興基本計画を策定しています。この第2期計画では、特に一人一人の知・徳・体の成長に着目し、「よさを伸ばす」、「わからないところをわかるようにする」など、一人一人を確実に伸ばす教育に重点を置いて取り組もうとしています。

### ■近年の埼玉県の取組

年月	事項
平成 21 年 2 月	埼玉県教育振興基本計画（生きる力と絆の埼玉教育プラン）の策定
平成 22 年 3 月	埼玉県生涯学習推進計画の策定
平成 26 年 7 月	埼玉県教育振興基本計画（第2期生きる力と絆の埼玉教育プラン）の策定

## 第6節 市の取組

### (1) 市の取組

本市では、全国に先駆けて小学校での英語教育活動を実施する「国際理解教育推進特区」の認定を受け、小学校1年生からの英語教育をいち早く導入しています。また、国、県に先立つ平成17年3月に、第1次の戸田市教育振興計画を策定し、教育に関する各種施策の推進に当たってきました。

生涯学習に関しては、平成9年に戸田市生涯学習推進基本構想（とだエコプラン）を策定し、10年間にわたる生涯学習活動推進の取組を進めてきました。また平成19年には第2次、平成24年には第3次の計画を策定しています。

市内小・中学校では、“とだっ子”たちの確かな学力を育成するため、指導用デジタル教科書をはじめとするICT（情報通信技術）機器を活用して、「わかりやすく」「楽しく」学べる先進的な教育を実施しています。

#### ■近年の本市の取組

年月	事項
平成9年3月	「戸田市生涯学習推進基本構想（とだエコプラン）」を策定
平成15年5月	「国際理解教育推進特区」に認定
平成17年3月	戸田市子ども教育ビジョン、戸田市小・中学校教育プラン（戸田市教育振興計画）の策定
平成19年3月	戸田市生涯学習推進計画（第2次）の策定
平成23年3月	第2次戸田市教育振興計画の策定
平成24年3月	第3次戸田市生涯学習推進計画の策定
平成26年5月	戸田市いじめ防止基本方針の策定
平成27年3月	戸田市スポーツ推進計画の策定
平成27年3月	戸田市子ども・子育て支援事業計画の策定

## (2) 近年の新規・拡充施策

本市では時代の要請に応え、様々な教育施策を新規に設定、あるいは拡充しています。直近3か年（平成25年度から平成27年度）の新規・拡充施策は次のとおりです。

### ■平成25年度

新規	<ul style="list-style-type: none"> <li>小学生職業疑似体験に補助金を支給し、活動を支援</li> <li>緊急地震速報のチャイム音の利用等による定期的な防災訓練の実施（小・中）</li> <li>応急手当普及員講習会の開催</li> </ul>
拡充（充実）	<ul style="list-style-type: none"> <li>戸田市生徒指導支援センター事業の充実</li> </ul>

### ■平成26年度

新規	<ul style="list-style-type: none"> <li>放課後家庭学習の充実（パソコン等を活用した学習）</li> <li>「戸田市いじめ防止基本方針」の策定によるいじめ問題の未然防止・早期発見・早期対応等の推進</li> <li>コーディネーショントレーニング<sup>※</sup>等の実技研修会の実施</li> <li>小中一貫教育検討委員会の設置</li> <li>教務担当研修会における「小中一貫教育推進ガイド」の活用研修の実施</li> </ul>
拡充（充実）	<ul style="list-style-type: none"> <li>小・中学校理科支援員（観察・実験アシスタント PASEO）の配置</li> <li>特別支援教育<sup>*</sup>・通級による指導の充実</li> <li>インターネットトラブル・ネットいじめ・ネット依存等への対応研修会の実施</li> <li>高度利用緊急地震速報端末による定期的な防災訓練の実施（全小・中学校）</li> </ul>

### ■平成27年度

新規	<ul style="list-style-type: none"> <li>英語教育連携事業（青山学院大学との包括連携）</li> <li>文部科学省 英語教育教科推進事業</li> <li>授業のユニバーサルデザイン<sup>※</sup>化を進めるための研修会の実施</li> <li>特別支援教育<sup>*</sup>リーダー育成研修会の実施</li> <li>「いじめ対応プログラム」の実施（青山学院大学との包括連携）</li> <li>スクールソーシャルワーカー<sup>※</sup>の配置</li> </ul>
拡充（充実）	<ul style="list-style-type: none"> <li>サイエンスフェスティバル 2015～子ども大学とだ～の実施（青山学院大学との包括連携）</li> <li>特別支援教育<sup>*</sup>・通級による指導の充実</li> <li>ネットトラブル・ネットいじめ・ネット依存等への対応研修会の実施</li> <li>高度利用緊急地震速報端末による定期的な防災訓練（全小・中学校）</li> </ul>

資料：戸田市教育委員会「指導の重点・主な施策」（平成25年度・平成26年度・平成27年度）

※コーディネーショントレーニング：運動神経などと一般的に言われ、これまで身に付け方が分からなかった能力を、対象者のレベルに合わせて向上させるトレーニング方法のことです。

※ユニバーサルデザイン：性別、年齢、障がいの有無などにかかわらず、すべての人が使いやすい施設や生活環境をデザインするという考え方のことです。

※スクールソーシャルワーカー：いじめ、不登校、非行や児童虐待などの問題に対して、子供や家庭に働きかけるとともに、外部の関係機関等とも連携しながら解決を図る専門家のことです。

## 第7節 第2次計画の評価

第2次計画（平成23年度から平成27年度）では、「生き生きと 共に育む 教育のまち 戸田」を基本理念として設定し、その基本理念の実現に向けて体系化された3つの柱（基本目標）を基に、次の4つの重点施策と関連する目標指標を設定しました。

重点施策1 確かな学力の育成	重点施策3 よりよい教育環境の整備
重点施策2 豊かな心の育成	重点施策4 家庭・地域の教育力の向上

上記4つの重点施策について、施策評価、事務事業評価及び「戸田市第4次総合振興計画後期基本計画協働会議提言書」（平成27年3月）の記載を基に、重点施策ごとの進捗状況等を整理します。

### 重点施策1 確かな学力の育成

戸田市では、これまでも確かな学力の育成に向けて、児童生徒の実態に応じた様々な取組を実施し、成果を挙げてきました。また、個別指導のための学習支援員や、英語力向上に向けた外国語指導助手（ALT）を全校に配置し、児童生徒一人一人に応じたきめ細やかな指導の充実に努めてきました。

#### ●平成26年度の施策評価・事務事業評価

##### ■第2次計画での目標指標

目標指標		平成22年度 時点	平成27年度 目標
授業の内容がわかる 児童生徒の割合	小学校	88%	90%
	中学校	70%	80%
授業に進んで取り組んで いる児童生徒の割合	小学校	85%	90%
	中学校	73%	80%



##### ■施策評価・事務事業評価の関連指標

指標名		平成22年度 実績	平成24年度 実績	平成25年度 実績
授業が分かる調査	小学生	88%	89%	88%
	中学生	70%	75%	75%
授業に対して取り組む 姿勢に係る調査	小学生	85%	87%	87%
	中学生	73%	80%	79%

目標指標の進捗⇒平成27年度の目標値達成に向けて、概ね着実に改善が進んでいます。

平成 26 年度の施策評価の中では、「確かな学力の育成」の取組に関して、次の課題と対応策を挙げています。

課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「授業がわかり、興味・関心や意欲をもって取り組んでいる児童生徒の割合」に関する調査では、小・中学校ともに、前年同様程度の数値となっており、一層の充実を図る必要がある。</li> <li>・小・中学校とも学年が上がるごとに各指標が低下する傾向にあり、各学校における授業の工夫が必要である。</li> <li>・国・県の調査から、個に応じた指導と基礎学力定着及び授業規律の徹底を図る必要がある。</li> <li>・学習指導要領実施への対応については、量的な面（授業時数）は達成されている。今後、質的な面において、その趣旨を一層反映させる必要がある。</li> </ul>
対応策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校訪問や校内研修への指導主事の派遣及び指導課が主催する教職員の研修会の充実による教員の資質向上。特に若手教員や臨時採用教員への指導の充実を図る。</li> <li>・確かな学力向上推進委員会及び英語教育研究推進委員会等の設置による小中連携を踏まえた全市的な学力向上の研究を実施する。</li> <li>・学習指導要領の実施に伴う教育体制の整備。非常勤職員（ALT、わくわくティーチャー・小中学学習支援サポーター等）の効果的活用。デジタル教材や共通教材など ICT 環境の整備と効果的な活用について研究する。</li> </ul>

#### ●戸田市第 4 次総合振興計画後期基本計画協働会議提言

また、「戸田市第 4 次総合振興計画後期基本計画協働会議提言書」（平成 27 年 3 月）の中で、学力について、次のとおり現状・課題を整理しています。

現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学力テストに関しては、小学校は全国平均より高いが、中学校になると低くなる。中学入学時の私立学校への入学などが一因として考えられる。</li> </ul>
対応策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・親が地元の学校に通わせようという気持ちを持てるような取組を進める。そのためには市としての理念、方針をより明確に打ち出す。</li> </ul>

●平成 26 年度全国学力・学習状況調査 戸田市教育委員会調査結果概要より

小学校では、国語、算数ともに、主に知識に関する問題（A 問題）及び主に活用に関する問題（B 問題）ともに、全国及び県平均を上回っています。このことから、基礎的・基本的な知識及び技能の定着が図られていること、活用する力の習得が図られていることがうかがえます。

■小学校 A・B 問題の平均正答率(%)

	戸田市	埼玉県	全国
国語 A	74.7	72.5	72.9
国語 B	57.6	55.5	55.5
算数 A	79.8	76.9	78.1
算数 B	60.0	57.8	58.2

中学校では、国語、数学ともに、全国及び県平均をやや下回っています。基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図るために取組を行うとともに、習得した知識及び技能を活用する活動を授業に積極的に取り入れる必要があります。

■中学校 A・B 問題の平均正答率(%)

	戸田市	埼玉県	全国
国語 A	79.0	79.4	79.4
国語 B	50.7	51.5	51.0
数学 A	65.1	66.2	67.4
数学 B	58.8	59.3	59.8

## 重点施策2 豊かな心の育成

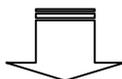
戸田市では、思いやりのある豊かな人間性と社会性を育むため、地域と連携しながら、様々な体験学習を進めてきました。また、英語をはじめとする各教科等を通じたコミュニケーション能力の育成を推進してきました。

### ●平成26年度の施策評価・事務事業評価

#### ■第2次計画での目標指標

目標指標	平成22年度 時点	平成27年度 目標
通学合宿の年間実施回数	4回	9回
規律ある態度の達成度* (3つの達成目標から全項目の平均値)	小学校 86%	90%
	中学校 83%	85%

\*小・中学校の子供たちを対象とし、「学力」、「規律ある態度」、「体力」の3つの分野で学習指導要領に基づき、その学年で確実に身に付けさせたい基礎的・基本的な内容です。



#### ■施策評価・事務事業評価の関連指標

指標名	平成22年度 実績	平成24年度 実績	平成25年度 実績
通学合宿の年間実施回数	4回	4回	3回

目標指標の進捗⇒通学合宿の実施回数については、平成22年度以降横ばいとなっており、平成27年度の目標値達成に向けて一層の取組の推進が必要となっています。

平成26年度の施策評価の中では、「豊かな心の育成」の取組に関して、次の課題と対応策を挙げています。

課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>近年、青少年の体験学習の機会が減少しており、その「機会」の提供が求められている。</li> </ul>
対応策	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の方の参画を得ながら、学習やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動などの取組を支援していく。</li> </ul>

●戸田市第4次総合振興計画後期基本計画協働会議提言

また、「戸田市第4次総合振興計画後期基本計画協働会議提言書」(平成27年3月)の中で、豊かな心の育成について、次のとおり現状・課題を整理しています。

現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・戸田市の小学生は、「人の気持ちが分かる人間になりたい」と思う割合が全国や埼玉県と比べて、やや低い傾向にある(「平成26年度全国学力・学習状況調査」より)。</li> <li>・芸術文化活動は人間が生きていく上で必要なものであると捉えられていない。</li> </ul>
対応策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学力だけでなく、人を思いやる心や創造性、独創性を育む教育の推進</li> <li>・芸術等に触れる機会を増やすことで、感性や価値観が磨かれ、豊かな生活や、様々な立場の人とのつながりを広げる。</li> </ul>

●平成26年度全国学力・学習状況調査 戸田市教育委員会調査結果概要より

小学生では、「学校のきまりを守っている」について、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の合計が92.2%で、全国平均を上回っています。

「人の気持ちが分かる人間になりたい」について、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の合計が93.4%で、多くの児童は肯定的な回答ですが、全国及び県平均をやや下回っています。引き続き相手を思いやる気持ちを各学校や家庭で育てていく必要があります。

■小学生児童質問紙調査(肯定的な項目2項目「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の合計)(%)

	戸田市	埼玉県	全国
学校のきまりを守っている	92.2	93.1	90.5
人の気持ちが分かる人間になりたい	93.4	95.6	94.4

中学生では、「学校の規則を守っている」について、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の合計が92.8%で、全国及び県平均をやや下回っています。

「人の気持ちが分かる人間になりたい」について、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の合計が95.3%で、多くの児童は肯定的な回答ですが、県平均をやや下回っています。引き続き相手を思いやる気持ちを各学校や家庭で育てていく必要があります。

「将来の夢や目標を持っていますか」について、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の合計が73.8%で、全国及び県平均を上回っています。

■中学生生徒質問紙調査(肯定的な項目2項目「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の合計)(%)

	戸田市	埼玉県	全国
学校の規則を守っている	92.8	93.7	93.0
人の気持ちが分かる人間になりたい	95.3	95.7	95.3
将来の夢や目標を持っていますか	73.8	72.0	71.4

### 重点施策3 よりよい教育環境の整備

戸田市では、教育センターを中心とする相談機能の充実とともに、校務の情報化に向けた機器整備など、開かれた学校づくりと教育環境の整備を実施してきました。また、学校応援団など地域に信頼され、支えられる開かれた学校づくりと、安全快適な学習環境づくりを進めてきました。

#### ●平成 26 年度の施策評価・事務事業評価

##### ■第2次計画での目標指標

目標指標	平成 22 年度 時点	平成 27 年度 目標
施設維持保全改修*実施学校数	0校	14校

\*地球環境に配慮しながら、できるだけ長く校舎を使うため、改修工事の優先順位づけを計画的に行い、より安全で経済的・効果的に施設を維持保全することです。



##### ■施策評価・事務事業評価の関連指標

指標名	平成 22 年度 実績	平成 24 年度 実績	平成 25 年度 実績
維持保全改修の実施校数	0校	5校	8校

平成 23 年度は 2 校、平成 24 年度から 3 校ずつ大規模改修の実施を計画しています。

目標指標の進捗⇒平成 27 年度の目標値達成に向けて、計画通り改修が進んでいます。

平成 26 年度の施策評価の中では、「教育環境の充実」の取組に関して、次の課題と対応策を挙げています。

課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校施設は、築 50 年を超える校舎も存在しており、計画的な大規模改修が必要となる。また、文部科学省より非構造部材の耐震化対策を進めるよう指示があった。</li> </ul>
対応策	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校施設については、非構造部材の耐震化も組み込みながら、校舎や屋内運動場等の大規模改修を計画的に実施していく。ファシリティマネジメント*が平成 26 年度から財務部資産管理課により始まったので、調整を進めて改修を進捗させたい。</li> </ul>

※ファシリティマネジメント：公共施設を従来のように維持管理していくだけではなく、行政における「経営資源」として捉え、総合的に企画、管理、活用する新たな施設の維持管理手法のことです。

## 重点施策4 家庭・地域の教育力の向上

戸田市では、市民大学をはじめとする様々な機会を通じて、多様な交流や学習の機会づくりに努めてきました。また、学習を通じて身に付けたことを家庭や地域で活かすための支援を行ってきました。

### ●平成26年度の施策評価・事務事業評価

#### ■第2次計画での目標指標

目標指標	平成22年度 時点	平成27年度 目標
地域子育て支援拠点つどいの広場事業 設置数	6か所	9か所
市民大学の認定講座数	19講座	25講座



#### ■施策評価・事務事業評価の指標

指標名	平成22年度 実績	平成24年度 実績	平成25年度 実績
地域子育て支援拠点事業 広場開設箇所数（累計）	6か所	8か所	8か所
市民大学該当講座数*	19講座	34講座	39講座

\*「家庭・地域の教育力の向上」に関する市民大学講座数

目標指標の進捗⇒つどいの広場の開設箇所数は、平成27年度の目標値達成に向けて、着実に増加しています。  
市民大学の認定講座数については、平成27年度目標を大きく上回って推移しています。

平成26年度の施策評価の中では、「家庭・地域の教育力の向上」の取組に関して、次の課題と対応策を挙げています。

課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民大学は、市長マニフェストの項目「図書館・郷土博物館の生涯学習の拠点化（市民大学の拡充）」の実現に向けて、市民との協働による講座づくりや市民大学運営委員会等の組織体制を整備していく必要がある。</li> </ul>
対応策	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民大学については、生涯学習課主催の講座会場や市民の講座企画会議等の活動場所に、図書館・郷土博物館を加える。併せて、講座カリキュラムに引き続き「生涯学習ボランティア養成講座」を加え、人材育成と人材発掘を図る。</li> </ul>

### ●戸田市第4次総合振興計画後期基本計画協働会議提言

また、「戸田市第4次総合振興計画後期基本計画協働会議提言書」（平成27年3月）の中で、家庭・地域の教育力の向上について、次のとおり現状・課題を整理しています。

現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て世代は、地域とのつながりや信頼関係が薄いことが多い。</li> <li>・市内では様々な芸術文化活動を行っている団体があるが、それぞれの活動につながりが無い。</li> <li>・文化・スポーツ分野が教育委員会の所掌でなくなってから、学校側の協力が得られにくくなったり、行政側の人事異動があると、活動内容等について初めから話さなくてはならないなどの弊害がある。</li> </ul>
対応策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て世代と地域が信頼し合うことで、地域での子育てを広げていくこと、また、その意識を醸成する。</li> <li>・自然の中で、のびのびと子供たちが育つ教育を行う。</li> <li>・現在、多様な活動に分散している子供たちを、子ども会を中心にまとめ、子供たち同士の連携や活動の活性化につなげていく。</li> <li>・行政内部の各部署だけでなく、民間の活動とのつながりも広がるよう、柔軟に連携を図っていく。</li> <li>・市内の芸術文化活動団体それぞれの活動について、情報を共有し、団体間の交流を活発にしていく。</li> </ul>

### ●平成26年度全国学力・学習状況調査 戸田市教育委員会調査結果概要より

小学生では、「毎日朝食を食べている」について、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の合計が96.6%で、全国平均は上回っているものの、県平均をやや下回っています。

普段の携帯電話等の利用時間について、2時間以上の児童の割合が全国及び県平均を上回っています。過度な利用とならないよう、情報教育を進めるとともに、家庭でも使用のルールづくりが大切です。

#### ■小学生児童質問紙調査(肯定的な項目2項目「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の合計)(%)

	戸田市	埼玉県	全国
毎日朝食を食べている	96.6	97.2	96.0
普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか(ゲームをする時間は除く) * 2時間以上の児童の割合	32.1	29.0	30.3

中学生では、「毎日朝食を食べている」について、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の合計が93.7%で、全国平均は上回っているものの、県平均をやや下回っています。

普段の携帯電話等の利用時間について、2時間以上の生徒の割合が全国及び県平均を上回っています。携帯電話やスマートフォンの適切な利用について学校や家庭の取組を充実していく必要があります。

■中学生生徒質問紙調査(肯定的な項目2項目「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の合計)(%)

	戸田市	埼玉県	全国
毎日朝食を食べている	93.7	94.5	93.5
普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか(ゲームをする時間は除く)*2時間以上の生徒の割合	39.8	34.4	32.7



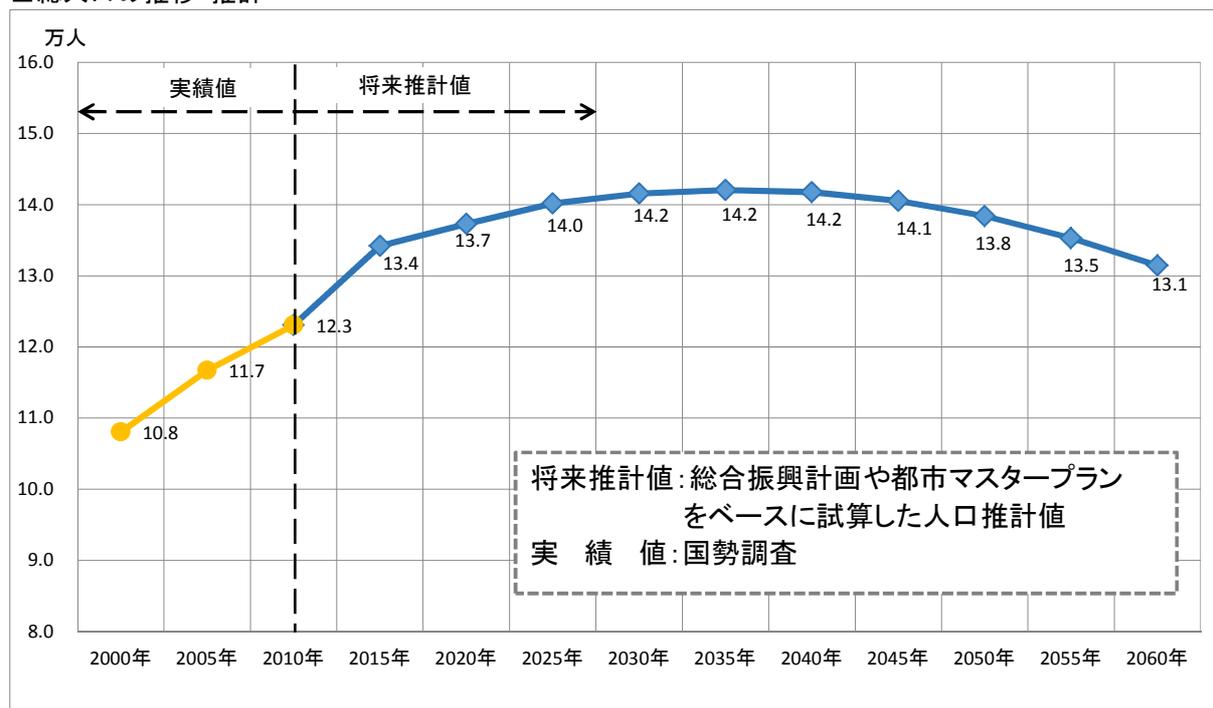
## 第2章 戸田市の教育等を取り巻く状況

### 第1節 人口等の状況

#### (1) 人口の推移・推計

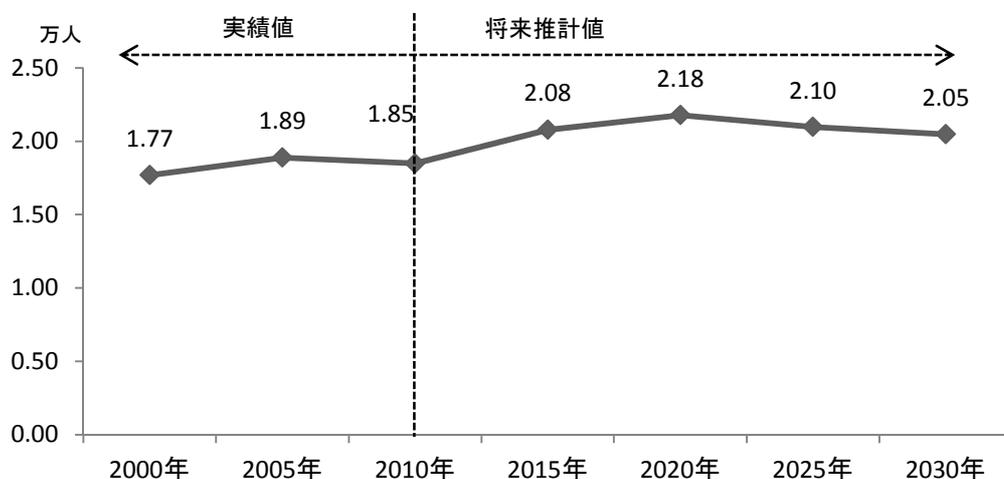
戸田市では、当面人口は増加し続けると予想されています。0～14歳の子供人口はほぼ横ばいですが、高齢化に伴い、人口構造は今後急激に変化すると見込まれます。

##### ■総人口の推移・推計



資料: 戸田市まち・ひと・しごと創生総合戦略に係る人口ビジョンによる「ベース推計」「実績値」

##### ■15歳未満人口の推移・推計



資料: 実績値: 国勢調査 / 将来推計値: 戸田市教育委員会

## 第2節 幼稚園・保育園・学校等の状況

### (1) 幼稚園の状況

平成27年5月1日現在、戸田市には10の私立幼稚園があり、園児数は2,621人、学級数は100学級となっています。幼稚園児童数は平成23年以降、増加傾向となっています。

#### ■幼稚園児童数・学級数の推移

	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
園数*	10	10	10	10	10
児童数	2,612	2,681	2,731	2,707	2,621
学級数	98	99	100	100	99

\* 全て私立の幼稚園

資料：学校基本調査・保育幼稚園課(各年5月1日現在)

#### ■幼稚園園児数

	定員	園児数			
		3歳	4歳	5歳	合計
戸田幼稚園	175	29	56	59	144
戸田第一幼稚園	270	69	91	91	251
つつじ幼稚園	315	105	104	100	309
まきば幼稚園	385	99	120	127	346
戸田ひまわり幼稚園	300	88	117	121	326
ささめ幼稚園	240	51	60	60	171
戸田東幼稚園	400	118	138	126	382
カトリア幼稚園	240	55	58	75	188
はごろも幼稚園	385	98	88	109	295
戸田東第二幼稚園	210	61	69	79	209
合計	2,920	773	901	947	2,621

資料：保育幼稚園課(平成27年5月1日現在)

## (2) 保育園の状況

保育園児童数は平成 23 年以降、増加が続いており、平成 27 年 4 月 1 日現在、児童数は 2,439 人となっています。また、待機児童は 34 人となっています。

### ■保育園児童数・待機児童数の推移

	平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年
園数*	17	19	21	24	27
児童数	1,690	1,843	1,997	2,192	2,439
待機児童数	44	19	34	26	34

\* 公立・私立の合計

資料：保育幼稚園課(各年4月1日現在)

■保育園の児童数

		0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
公立	下戸田保育園	0	12	18	22	24	24	100
	新曽保育園	5	16	22	21	25	25	114
	喜沢南保育園	6	12	18	22	23	24	105
	笹目東保育園	0	10	18	18	24	24	94
	上戸田南保育園	8	16	18	20	20	19	101
	新曽南保育園	6	11	18	16	24	24	99
	笹目川保育園	10	16	22	19	25	25	117
私立	きざわ保育園	9	18	19	19	20	18	103
	ささめ保育園	6	16	18	22	24	23	109
	あけぼの保育園	1	12	12	12	13	13	63
	戸田公園駅前さくら草保育園	11	13	20	20	20	22	106
	戸田駅前保育所	10	10	11	12	13	13	69
	戸田こども園	6	18	19	21	21	21	106
	北戸田Jキッズステーション	8	19	20	20	20	20	107
	戸田駅前さくら草保育園	13	19	24	23	29	28	136
	桑の実戸田公園保育園	12	16	18	20	20	20	106
	とだ虹保育園	10	16	20	23	23	24	116
	太陽の子下戸田保育園	8	16	15	16	16	15	86
	げんき保育園	11	15	18	20	20	20	104
	太陽の子新曽北保育園	5	12	14	15	15	14	75
	よつば保育園	6	8	15	9	9	0	47
	あけぼの第2保育園	2	12	17	13	13	0	57
	太陽の子とだ笹目保育園	5	12	20	13	15	0	65
	こどもの国さくら草保育園	11	20	20	21	21	19	112
	ニチイキッズ上戸田保育園	4	12	12	15	16	4	63
	にいぞ虹保育園	6	12	13	13	12	3	59
	ちびっこランドすみれ保育園	5	9	6	0	0	0	20
合計		184	378	465	465	505	442	2,439

資料：保育幼稚園課(平成27年4月1日現在)

### (3) 小学校の状況

平成27年5月1日現在、戸田市には12の公立小学校があり、児童数は7,597人、学級数は248学級です。

#### ■小学校児童数・学級数の推移

	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
校数	12	12	12	12	12
児童数	7,393	7,410	7,466	7,491	7,597
学級数	243	245	249	246	248

小学校：1・2年生 35人学級、3～6年生 40人学級  
資料：学校基本調査・学務課(各年5月1日現在)

#### ■小学校児童数の推計

	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年	平成32年
児童数	7,870	8,204	8,400	8,694	8,953

資料：学務課(各年5月1日現在)

#### ■小学校別の児童数・学級数

小学校名	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特支	合計	学級数
戸田第一小学校	166	158	149	131	144	146	18	912	29(3)
戸田第二小学校	170	172	170	141	160	172	15	1,000	31(3)
新曽小学校	113	121	115	104	94	110	0	657	20
美谷本小学校	55	53	57	48	49	55	0	317	12
笹目小学校	52	50	64	49	46	47	9	317	14(2)
戸田東小学校	144	131	112	116	95	83	0	681	21
戸田南小学校	119	122	106	136	133	133	0	749	23
喜沢小学校	54	65	61	60	66	55	0	361	12
笹目東小学校	124	116	130	123	118	136	12	759	26(3)
新曽北小学校	122	116	116	130	107	119	17	727	24(3)
美女木小学校	101	88	86	79	86	70	3	513	17(1)
芦原小学校	114	125	92	102	93	78	0	604	19
合計	1,334	1,317	1,258	1,219	1,191	1,204	74	7,597	248(15)

\* 学級数の欄中()内の数は、特別支援学級(特支)の学級数で内数  
資料：学校基本調査・学務課(平成27年5月1日現在)

## (4) 中学校の状況

平成 27 年 5 月 1 日現在、戸田市には 6 つの公立中学校があり、生徒数は 3,339 人、学級数は 100 学級です。平成 23 年度から平成 25 年度までは、生徒数、学級数ともに減少傾向でしたが、平成 26 年度より増加傾向に転じ、平成 27 年以降も増加傾向で推移すると見込まれます。

また、戸田市では、平成 17 年度から、学習意欲を高め、特色ある学校づくりを推進するため、保護者・生徒が自ら進学先の中学校を選択できる学校選択制を取り入れています。

平成 27 年度の入学希望申し込み結果をみると、通学区内での希望者が 1,161 人、通学区外からの希望者が 125 人となっています。

### ■中学校生徒数・学級数の推移

	平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年
校数	6	6	6	6	6
生徒数	3,252	3,213	3,165	3,239	3,339
学級数	100	98	95	96	100

中学校：1 年生 38 人学級、2・3 年生 40 人学級  
資料：学校基本調査・学務課（各年 5 月 1 日現在）

### ■中学校生徒数の推計

	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	平成 31 年	平成 32 年
生徒数	3,369	3,334	3,348	3,405	3,517

資料：学務課（各年 5 月 1 日現在）

### ■中学校別の生徒数・学級数

中学校名	1 年	2 年	3 年	特支	合計	学級数
戸田中学校	237	253	232	22	744	23(4)
戸田東中学校	138	121	141	0	400	12
美笹中学校	102	101	98	0	301	9
喜沢中学校	143	142	156	11	452	14(2)
新曽中学校	251	309	288	0	848	23
笹目中学校	219	194	158	23	594	19(4)
合計	1,090	1,120	1,073	56	3,339	100(10)

\* 学級数の欄中( )内の数は、特別支援学級(特支)の学級数で内数  
資料：学校基本調査・学務課（平成 27 年 5 月 1 日現在）

### ■中学校の学校選択制

	平成 23 年度 入学	平成 24 年度 入学	平成 25 年度 入学	平成 26 年度 入学	平成 27 年度 入学
通学区外から 入学した生徒数	117	131	130	139	125

資料：学務課

## (5) 特別支援学校等の在籍の状況

特別支援学校への在籍者数については、平成 27 年度に小学校 50 人、中学校 24 人となっています。

特別支援学級への在籍者数については、平成 23 年から平成 27 年にかけて小学校は横ばい、中学校は平成 26 年より増加傾向となっています。

### ■特別支援学校(\*1)在籍者数

		1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
小学校	和光南特別支援学校	8	4	8	2	9	6	37
	和光特別支援学校	3	4	0	0	1	1	9
	その他特別支援学校	0	2	1	0	0	1	4
	合計	11	10	9	2	10	8	50
中学校	和光南特別支援学校	7	2	6				15
	和光特別支援学校	2	1	1				4
	その他特別支援学校	0	1	4				5
	合計	9	4	11				24

(\*1) 知的、肢体不自由、視覚、聴覚、病弱等の障がいのある子供を対象として専門性の高い教育を行う学校です。幼稚部・小学部・中学部・高等部で、1～6人に教員1人が配置され、弾力的な教育課程を編成して指導を行います。戸田市には設置されていないため、在籍児童生徒は、和光特別支援学校[肢体不自由]と和光南特別支援学校[知的障がい及び自閉症※・情緒障がい※]等に通学しています。

資料:学務課(平成27年5月1日現在)

### ■特別支援学級(\*2)在籍者数の推移

		平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年
小学校	知的障がい	48	47	55	46	40
	自閉症※・情緒障がい※	23	18	22	26	34
	合計	71	65	77	72	74
中学校	知的障がい	24	24	19	29	37
	自閉症※・情緒障がい※	16	14	14	14	19
	合計	40	38	33	43	56

(\*2) 幼稚園・小学校・中学校・高等学校に設置されている学級です。知的障がい、自閉症※・情緒障がい※等、障がいの種別ごと8人までの少人数学級で、特別の教育課程を編成し、一人一人に応じた教育を行います。戸田市では、小学校6校に知的障がい8学級、自閉症※・情緒障がい※7学級、中学校3校に、知的障がい6学級、自閉症※・情緒障がい※4学級の合計25学級が設置されています。

資料:学務課(各年5月1日現在)

※**自閉症**：3歳位までに現れ、他人との社会的関係を形成することが難しく、言葉の発達の遅れや特定のものにこだわることを特徴とする行動の障がいのことです。

※**情緒障がい**：情緒の現れ方を、自分の意志でコントロールできないことが継続する障がいのことです。

■通級指導教室(発達障がい※・情緒障がい※)(\*3)への通級児童数

	平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年
通級児童数	10	13	17	27	35

(\*3)通常の学級に在籍し、ほとんどの授業を通常の学級で受けながら、週1~8単位時間(1単位時間は45分間)障がいの状態に応じた特別の指導をこの教室へ通級して、個別に受けます。対象となるのは、自閉症※・情緒障がい※・学習障がい(LD)※・注意欠陥多動性障がい(ADHD)※です。戸田市では小学校2校に各1教室設置しており、1人あたり週2単位時間程度指導しています。

資料:指導課(各年5月1日現在)

■通級指導教室(難聴・言語)(\*4)への通級児童数

	平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年
通級児童数	93	103	95	101	102

(\*4)通常の学級に在籍し、ほとんどの授業を通常の学級で受けながら、週1~8単位時間、障がいの状態に応じた特別の指導をこの教室へ通級して、個別に受けます。対象となるのは、難聴・言語障がい(ことばやきこえに軽度の障がいがある児童)です。戸田市では小学校2校に、計4教室設置しており、1人あたり週1単位時間程度指導しています。

資料:指導課(各年5月1日現在)

■あすなろ学園(児童発達支援センター)利用者数(戸田市の利用人数のみ)

	平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年
通園児童数	31	28	23	28	28
カンガルー通園児数	3	9	11	9	24
合計	34	37	34	37	52

学園独自事業…定期通園(通称:カンガルー通園)

資料:障害福祉課(各年5月1日現在)

※**発達障がい**: 自閉症やアスペルガー症候群その他の広汎性発達障がい、学習障がい、注意欠陥多動性障がいなど、脳機能の障がいのことです。

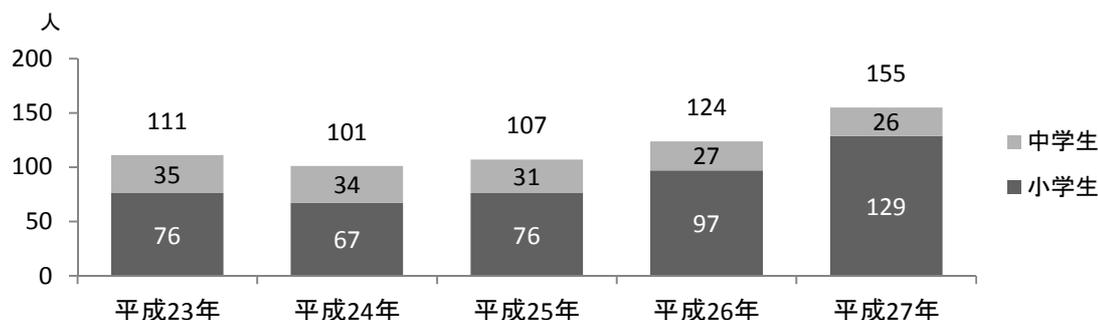
※**学習障がい(LD)**: Learning Disabilities の略。基本的には全般的な知的発達に遅れはないが、聞く、話す、読む、書く、計算する、または推論する能力のうち特定のものの習得と使用に困難を示す状態のことです。

※**注意欠陥多動性障がい(ADHD)**: Attention Deficit Hyperactivity Disorder の略。年齢あるいは発達に不釣り合いな注意力や衝動性、多動性を特徴とする行動の障がいのことです。

## (6) 外国籍児童生徒の状況

平成 23 年度から平成 27 年度にかけて、外国籍児童生徒数は小・中学校合わせて 100 人前後で推移していましたが、平成 26 年度より急激な増加傾向となっています。現在、日本語指導をはじめ、きめ細かなケアが図られています。

### ■外国籍児童生徒数の推移

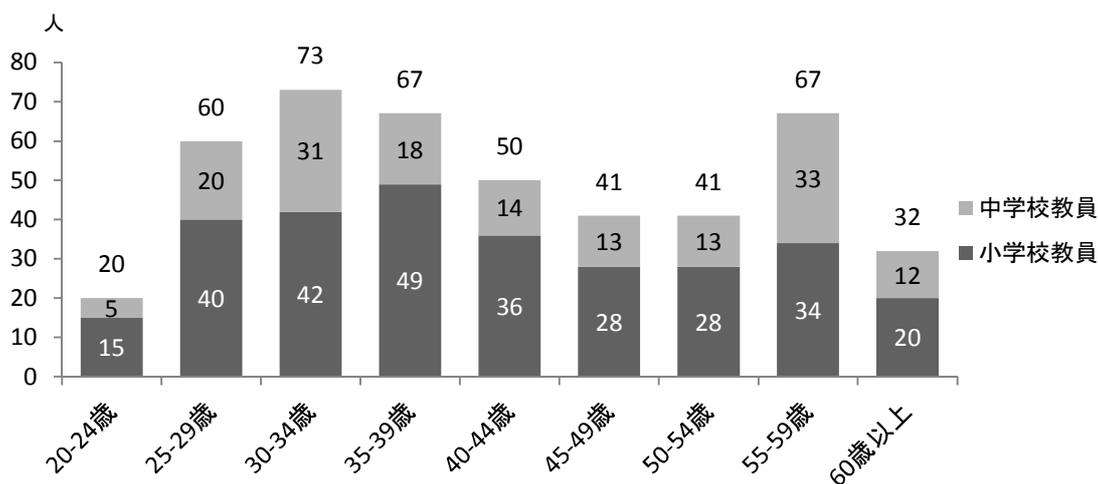


資料:学務課(各年4月6日現在)

## (7) 教員の状況

戸田市の教員については、小学校では 35～39 歳の年齢層が最も多くなっています。中学校では 55～59 歳の年齢層が最も多い一方で、40 歳代の中間層が少なくなっています。

### ■小・中学校教員数



資料:学務課 (教員数〔臨時採用を除く〕は、平成 27 年5月1日現在、年齢は平成 28 年3月31日現在)

## 第3節 子供たちを取り巻く状況

### (1) 学習の状況

平成26年度全国学力・学習状況調査によると、小学生の教科（国語、算数）に関しては、ほとんどの項目において、全国、埼玉県の平均正答率を上回っています。

一方、中学生の教科（国語、数学）に関しては、全国、埼玉県の平均正答率をわずかですが下回る項目が多くなっています。

#### ■小学生の教科に関する調査結果(平均正答率)

		戸田市	埼玉県	全国
小学校 国語 A	話すこと・聞くこと	73.6	71.2	72.4
	書くこと	75.8	72.5	72.2
	読むこと	72.1	69.8	68.5
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	75.2	73.1	73.7
小学校 国語 B	話すこと・聞くこと	54.9	52.7	51.2
	書くこと	36.8	34.3	34.4
	読むこと	58.8	56.7	57.3
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	69.7	68.9	69.8
小学校 算数 A	数と計算	83.3	81.3	81.8
	量と測定	77.3	73.5	74.8
	図形	72.7	70.0	71.8
	数量関係	83.2	79.1	81.3
小学校 算数 B	数と計算	62.8	60.5	61.3
	量と測定	58.9	56.8	56.5
	図形	66.0	66.1	65.7
	数量関係	58.7	55.9	56.2

資料：平成26年度全国学力・学習状況調査 戸田市教育委員会調査結果概要

■中学生の教科に関する調査結果(平均正答率)

		戸田市	埼玉県	全国
中学校 国語 A	話すこと・聞くこと	73.8	72.9	72.3
	書くこと	84.3	84.1	83.4
	読むこと	83.9	83.9	82.9
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	77.0	78.0	78.7
中学校 国語 B	話すこと・聞くこと	出題されず		
	書くこと	41.0	41.7	41.0
	読むこと	49.7	49.9	49.2
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	56.0	56.7	56.8
中学校 数学 A	数と式	74.9	76.4	77.4
	図形	64.5	65.6	66.4
	関数	55.3	56.4	58.0
	資料の活用	57.3	56.5	59.1
中学校 数学 B	数と式	52.0	54.8	56.9
	図形	58.5	58.9	58.6
	関数	64.8	64.0	64.4
	資料の活用	54.5	54.9	55.9

資料:平成 26 年度全国学力・学習状況調査 戸田市教育委員会調査結果概要

## (2) 体力・運動能力の状況

平成 23 年度から平成 25 年度の外遊び・運動・スポーツの頻度については、小学生で運動習慣「あり」が8割半ばとほぼ横ばい、中学生で約7割と上昇傾向となっています。

体力テスト結果をみると、小学生、中学生ともに県平均を下回る項目が多くみられます。

### ■外遊び・運動・スポーツの頻度

		①ほとんど毎日する (週に3日以上)	②ときどきする (週に1～2日程度)	③たまにする (月に1～3日くらい)	④しない	運動習慣「あり」 (①+②)	運動習慣「なし」 (③+④)
小学生	平成 23 年度	50.6	34.9	10.2	4.0	85.5	14.5
	平成 24 年度	48.7	35.3	12.0	4.0	84.0	16.0
	平成 25 年度	49.7	35.3	11.1	3.9	85.0	15.0
中学生	平成 23 年度	52.5	13.8	15.7	18.1	66.3	33.7
	平成 24 年度	53.8	12.9	17.3	15.9	66.7	33.3
	平成 25 年度	54.4	14.8	14.6	16.2	69.2	30.8

\* 学校の体育の授業以外に外遊びや運動・スポーツを1時間以上する日数(自分が入っているスイミングや、体操教室、剣道教室等スポーツの習い事の日数も含む)

資料:教育に関する3つの達成目標「体力に関するアンケート」結果

■体力テスト県平均値と戸田市平均値との比較(平成26年度)

男		小学校						中学生		
		1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	1年生	2年生	3年生
握力(kg)	県平均	9.32	10.95	12.72	14.50	16.66	19.44	23.93	29.75	35.19
	市平均	9.08	10.61	12.39	13.98	16.35	19.14	23.49	28.59	35.51
上体起こし(回)	県平均	12.17	15.06	17.34	19.39	21.41	23.31	26.11	30.56	32.92
	市平均	11.35	15.11	17.29	19.48	21.75	22.69	25.49	29.52	31.24
長座体前屈(cm)	県平均	26.54	28.09	29.97	31.68	34.11	36.20	41.65	46.68	50.57
	市平均	24.87	27.52	30.04	31.54	33.61	36.69	37.43	41.48	47.52
反復横とび(点)	県平均	28.41	32.25	36.50	40.69	44.46	47.34	49.22	52.94	55.37
	市平均	28.43	32.41	37.28	40.62	44.80	47.11	47.78	51.21	54.46
持久走(分・秒)	県平均	-	-	-	-	-	-	6' 50" 15	6' 16" 25	6' 04" 79
	市平均	-	-	-	-	-	-	6' 55" 80	6' 25" 08	6' 10" 93
20mシャトルラン(回)	県平均	21.21	31.20	40.45	49.36	57.96	66.08	75.83	88.30	91.78
	市平均	20.08	31.24	41.86	47.98	54.78	62.02	-	-	-
50m走(秒)	県平均	11" 51	10" 68	10" 11	9" 68	9" 28	8" 88	8" 53	7" 89	7" 50
	市平均	11" 59	10" 60	10" 10	9" 73	9" 40	8" 92	8" 61	8" 00	7" 48
立ち幅とび(cm)	県平均	116.27	128.30	138.59	147.62	156.94	167.01	181.98	199.69	214.08
	市平均	114.00	129.37	139.28	149.22	158.11	167.88	180.16	197.56	212.82
ボール投げ(m)	県平均	8.37	11.55	15.06	18.67	22.20	25.68	18.20	21.62	24.52
	市平均	8.30	11.65	15.59	18.82	21.85	25.63	17.16	19.44	23.64

女		小学校						中学生		
		1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	1年生	2年生	3年生
握力(kg)	県平均	8.82	10.42	12.08	13.84	16.29	19.31	22.01	24.82	26.22
	市平均	8.85	10.40	11.73	13.61	16.25	19.05	21.91	24.54	26.21
上体起こし(回)	県平均	11.66	14.45	16.74	18.55	20.31	21.63	23.22	26.82	27.93
	市平均	11.78	14.78	16.41	18.42	20.12	21.03	22.28	26.36	26.77
長座体前屈(cm)	県平均	29.03	31.20	33.51	35.75	38.81	41.69	45.68	48.99	51.18
	市平均	27.90	30.44	33.34	36.20	38.96	42.20	43.56	47.01	49.29
反復横とび(点)	県平均	27.03	30.64	34.74	38.66	42.27	44.60	45.45	47.26	47.73
	市平均	27.30	31.07	34.64	38.76	42.85	44.66	44.37	46.94	46.59
持久走(分・秒)	県平均	-	-	-	-	-	-	4' 48" 65	4' 36" 27	4' 39" 52
	市平均	-	-	-	-	-	-	4' 54" 48	4' 37" 58	4' 44" 70
20mシャトルラン(回)	県平均	18.17	25.02	31.67	39.18	47.32	53.49	59.43	64.82	64.18
	市平均	17.43	25.04	31.00	36.51	43.21	47.66	-	-	-
50m走(秒)	県平均	11.81	10.98	10.40	9.95	9.51	9.14	8.98	8.65	8.59
	市平均	11.85	10.91	10.45	9.96	9.62	9.26	9.07	8.72	8.62
立ち幅とび(cm)	県平均	108.82	121.15	131.82	141.28	151.22	159.36	167.28	174.47	177.25
	市平均	107.39	123.48	132.79	144.19	152.69	160.60	166.30	175.42	176.67
ボール投げ(m)	県平均	5.85	7.65	9.69	11.69	13.94	15.95	11.96	13.69	14.73
	市平均	5.89	7.93	9.89	12.09	13.86	15.56	11.19	12.31	13.61

資料:平成26年度埼玉県児童生徒の新体力テスト結果

### (3) 生活習慣の状況

生活習慣については、小学生で達成率が県平均を下回る項目が多くなっていますが、小学6年生で県平均を上回る項目がいくつか見られます。

中学生ではほとんどの項目で県平均を上回っています。

#### ■「あいさつ」「ていねいな言葉づかい」「靴そろえをする」などの生活習慣について

達成率 (%)		小学生						中学生		
		1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	1年生	2年生	3年生
登校時刻を守る	県	91.5	91.8	95.4	95.4	95.1	95.0	97.7	97.0	95.8
	市	90.8	89.3	92.2	93.0	93.9	93.1	98.2	96.3	97.4
靴そろえをする	県	89.0	84.9	89.4	88.2	87.0	88.0	86.7	87.8	88.9
	市	86.6	79.2	83.5	87.9	87.1	89.2	90.7	91.5	92.1
整理整頓をする	県	82.8	78.1	87.2	86.1	85.0	85.1	83.3	83.8	84.2
	市	80.1	73.0	82.5	81.6	81.4	82.9	87.8	84.9	89.6
あいさつをする	県	85.1	80.7	88.3	86.6	85.0	84.1	86.0	84.2	84.9
	市	84.6	75.1	87.5	85.6	80.1	80.2	87.3	86.1	87.5
返事をする	県	93.1	89.2	94.1	92.2	89.7	87.9	86.6	85.6	85.4
	市	92.4	86.8	92.4	92.3	87.6	86.9	89.5	89.9	88.3
ていねいな言葉づかいをする	県	87.7	84.0	90.4	88.7	87.7	87.9	89.1	89.4	90.3
	市	85.8	83.6	89.4	89.7	88.2	88.1	90.8	92.1	91.8
やさしい言葉づかいをする	県	91.4	88.5	88.3	85.5	85.5	84.9	85.1	86.9	89.4
	市	90.9	85.7	87.1	85.2	82.7	83.6	89.7	89.4	91.5
学習準備をする	県	82.4	73.5	85.4	82.3	85.2	83.3	86.6	85.9	87.1
	市	74.0	60.5	85.2	81.9	83.2	85.5	89.3	86.5	86.3

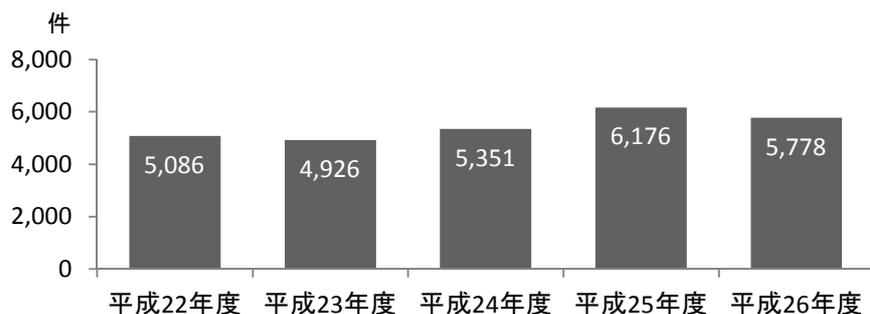
資料：平成 25 年度「教育に関する3つの達成目標」(埼玉県教育委員会)  
平成 26 年度「規律ある態度定着状況調査」(戸田市教育委員会)

## (4) 教育相談の状況

教育相談件数については、平成 22 年度から平成 26 年度にかけて、およそ 5,000 件から 6,000 件の間で推移しています。

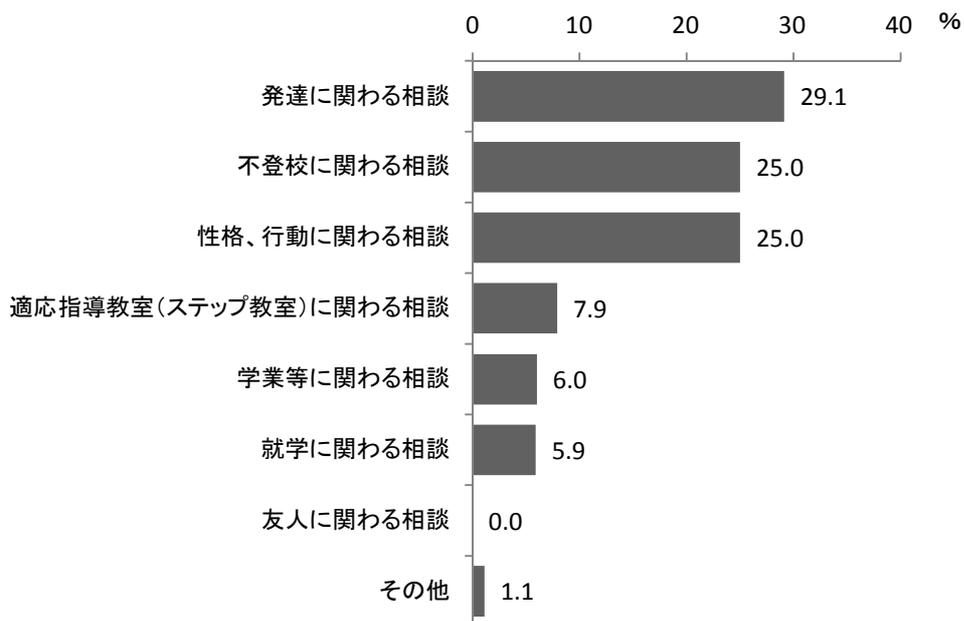
平成 26 年度で主な相談内容をみると、「発達に係わる相談」、「不登校に関わる相談」、「性格、行動に関わる相談」が上位を占めています。

### ■相談件数の推移



資料: 指導課

### ■主な相談の内容(平成 26 年度)

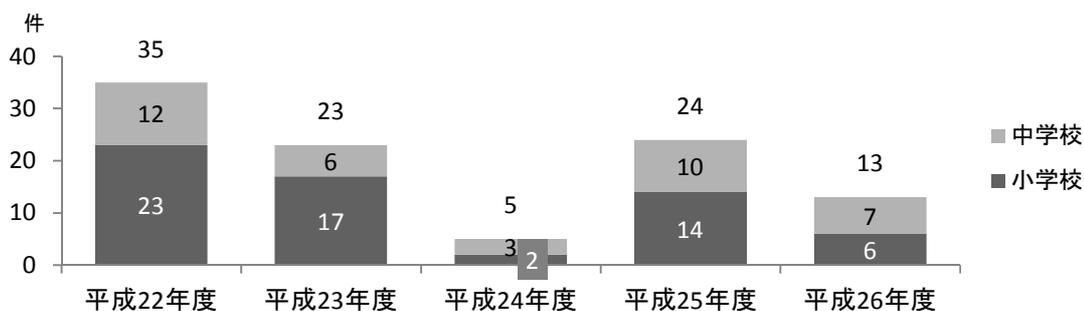


資料: 指導課

## (5) 地域の安全の状況

平成 22 年度から平成 26 年度にかけて、各小・中学校から教育委員会に報告された不審者事案の件数については、年度ごとにばらつきがありますが、直近の平成 26 年度では小学校 6 件、中学校 7 件となっています。

■各小・中学校から教育委員会に報告された不審者事案の件数



資料:指導課

## (6) 青少年の健全育成の状況

平成 25 年に刑法犯で検挙・補導された少年は、戸田市を含む埼玉県全体で 4,388 人と、前年の平成 24 年と比較して 716 人減少しています。総数では、平成 21 年以降減少傾向を維持していますが、再犯者率が 39.0%と過去 10 年間で最も高くなっています。

■刑法犯少年の推移(埼玉県全体)

		平成 21 年	平成 22 年	平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年
全国	刑法犯少年(人)	108,311	103,573	94,312	79,393	69,061
埼玉県	刑法犯少年(人)	7,148	6,862	6,041	5,104	4,388
	刑法犯に占める少年の割合(%)	35.1	34.0	29.5	26.4	25.1
	再犯率(%)	32.2	33.7	36.5	38.8	39.0

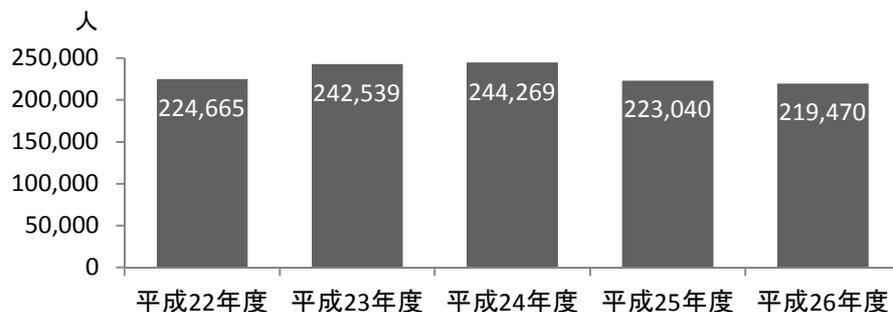
資料:平成 26 年版「少年非行白書」埼玉県警

## 第4節 生涯学習・生涯スポーツの状況

### (1) 文化会館の利用状況

文化会館の利用者数については、平成22年度から平成26年度にかけて、およそ22万人から24万5千人の間で推移しています。

■戸田市文化会館の施設利用者の推移



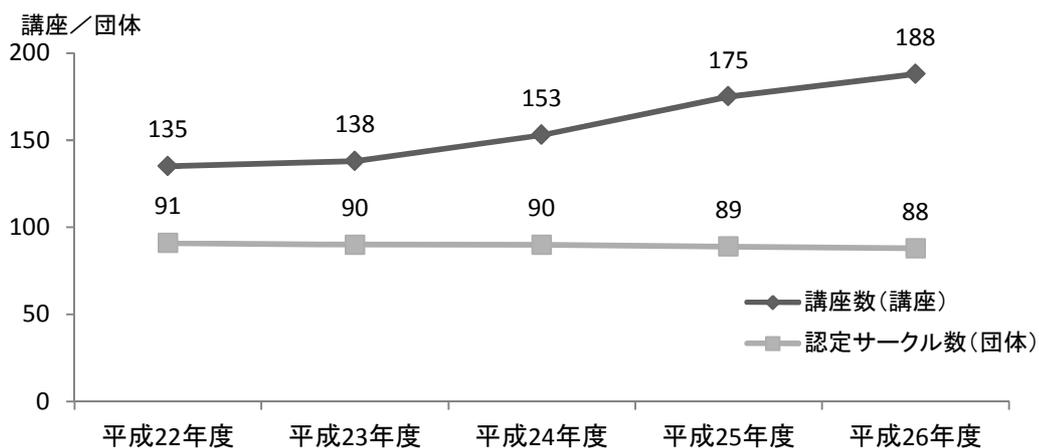
資料:公益財団法人戸田市文化スポーツ財団

### (2) 公民館の活動状況

公民館の講座数については、平成22年度の135講座から平成26年度の188講座へと大きく増加しています。

認定サークル数については、90団体前後で推移しています。

■公民館の事業と認定サークル数(4公民館の合計)



資料:生涯学習課

### (3) 図書館の状況

貸出し点数、登録者数については、平成 22 年度から平成 26 年度にかけて減少傾向となっています。

貸出利用者数については、20 万人前後で推移しています。

また、学校への団体貸出を実施しています。

#### ■図書館利用の推移(団体を含む。)

	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
貸出点数(点)	790,943	768,815	759,674	747,027	725,903
登録者数(人)	34,177	34,031	32,360	31,299	30,736
貸出利用者数(人)	201,409	197,406	200,304	203,171	196,607

資料: 図書館・郷土博物館

### (4) 郷土博物館・彩湖自然学習センターの状況

郷土博物館の利用者数については、およそ1万8千人から2万人の間で推移しています。

彩湖自然学習センターの利用者数については、およそ1万9千人から2万2千人の間で推移しています。

また、小学校3年生と6年生を対象に、教室では行うことのできない体験的な学習を実施しています。

#### ■郷土博物館利用の推移(常設展示室入館者)

	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
入館者数(人)	20,708	18,076	18,186	18,646	19,595
開館日数(日)	318	321	319	324	323
1日平均(人)	65.1	56.3	57.0	57.5	60.7

資料: 図書館・郷土博物館

#### ■彩湖自然学習センター利用の推移

	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
入館者数(人)	22,132	20,505	18,695	19,460	20,709
開館日数(日)	314	326	329	329	328
1日平均(人)	70.5	62.9	56.8	59.1	63.1

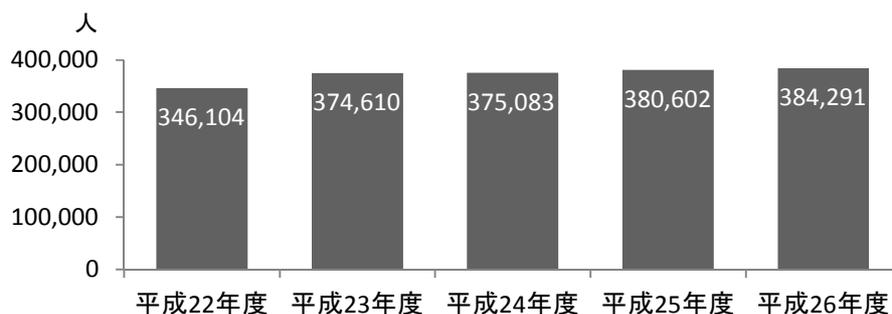
資料: 図書館・郷土博物館

## (5) スポーツ施設等の利用状況

戸田市スポーツセンターの施設利用者については、平成 22 年度以降増加傾向となっており、平成 26 年度ではおよそ 38 万 4 千人となっています。

屋外スポーツ施設利用者については、平成 24 年度から平成 26 年度にかけて、減少傾向となっています。

### ■戸田市スポーツセンターの施設利用者の推移



資料: 公益財団法人戸田市文化スポーツ財団

### ■戸田市屋外スポーツ施設利用者の推移

施設名		平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
彩湖・道満 グリーンパーク	陸上競技場	3,889	1,614	870
	サッカー場 2 面	22,054	19,529	16,912
	ソフトボール場 7 面	31,272	17,039	19,548
	テニスコート 9 面	194,504	227,083	182,347
	野球場 4 面	11,032	9,508	8,869
	小計	262,751	274,773	228,546
北部公園野球場		26,079	10,969	6,109
笹目公園野球場		22,486	9,154	9,214
新田公園野球場		9,196	4,416	5,943
中町テニスコート 2 面		7,668	6,810	6,840
惣右衛門公園サッカー場		26,412	39,803	26,179
合計		354,592	345,925	282,831

\* 戸田市スポーツ施設予約システムによる集計

資料: 文化スポーツ課

## (6) スポーツ活動の状況

生涯スポーツの振興に向けて、子供から大人までが参加できる様々な取組を実施しています。

### ■平成 26 年度 文化スポーツ課事業計画

事業名	対象者
スポーツ・レクリエーション交流	体協・レク協・スポ少等
ボート教室	小学生4年生以上の市民または、在勤・在学者
カヌー教室	市民
市町村交流レガッタ	市民
市民体育祭競技大会	市民
市民体育祭地区大会	市民
市民体カテスト	市民
レクリエーション大会	市民
戸田マラソン大会	5歳以上
ヤクルト少年野球教室	小学生
学校開放	登録団体
スキー教室	小学4～6年生の市民
スポーツ・レクリエーション講座	市民

資料:文化スポーツ課

## 第5節 アンケート等からみる戸田市の教育の現状

### (1) アンケートの概要

教育に関するご意見等を聴き、「戸田市教育振興計画」を策定していく上での基礎資料とし、今後の教育の在り方の参考とさせていただくため、アンケート調査を実施しました。調査概要は次のとおりです。

#### ■今回調査(平成26年8月～9月)

	①小・中学生	②教職員	③市民	計
対象	小学4年～中学3年 各学校各学年1クラス	小・中学校すべての 教職員	16歳～19歳100名、 20代～70代より各 200名ずつ無作為抽出	
配布回収	学校を通じて配布・回収		郵送配布・郵送回収	
調査期間	平成26年8月21日 ～9月11日		平成26年8月20日 ～9月3日	
配布数	1,789件	505件	1,300件	3,594件
回収数	1,728件	458件	426件	2,612件
回収率	96.6%	90.7%	32.8%	72.7%

#### ■前回調査(平成22年4月)

	①小・中学生	②教職員	③市民	計
配布数	1,817件	541件	1,300件	3,658件
回収数	1,674件	398件	503件	2,575件
回収率	92.1%	73.6%	38.7%	70.4%

### ①回答者の属性

#### ■回答者の属性

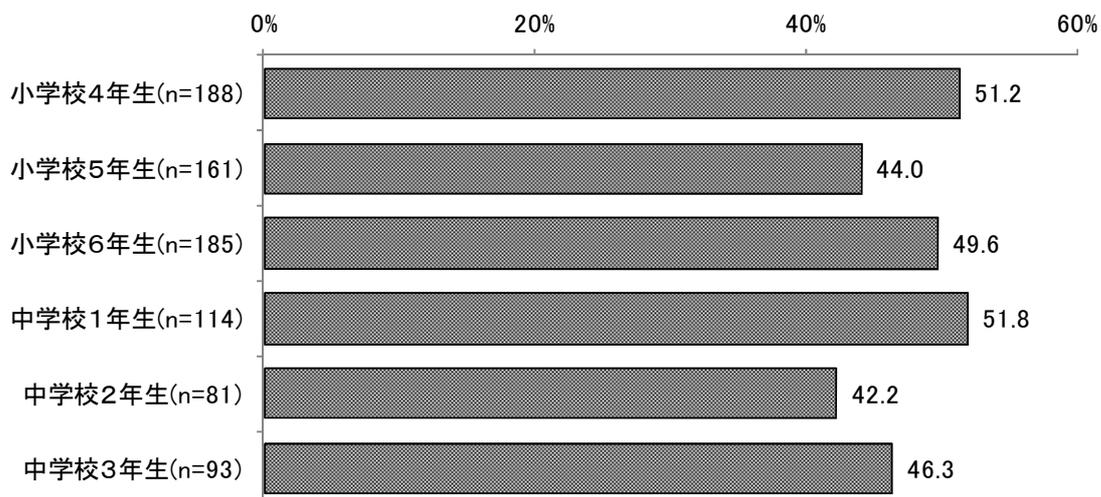
	小・中学生 (%)		教職員 (%)		市民 (%)	
性別	男	51.4	男	46.7	38.5	
	女	48.1	女	53.1	60.6	
	無回答	0.5	無回答	0.2	0.9	
学年・年代	小学校4年生	21.2	10歳代	-	5.6	
	小学校5年生	21.2	20歳代	28.4	8.7	
	小学校6年生	21.6	30歳代	28.2	14.1	
	中学校1年生	12.7	40歳代	17.2	14.3	
	中学校2年生	11.1	50歳代	25.8	16.0	
	中学校3年生	11.6	60歳代	-	21.1	
	無回答	0.5	70歳代	-	20.0	
		無回答	0.4	0.2		

## (2) アンケート結果より

### ①学校の楽しさ(小・中学生)

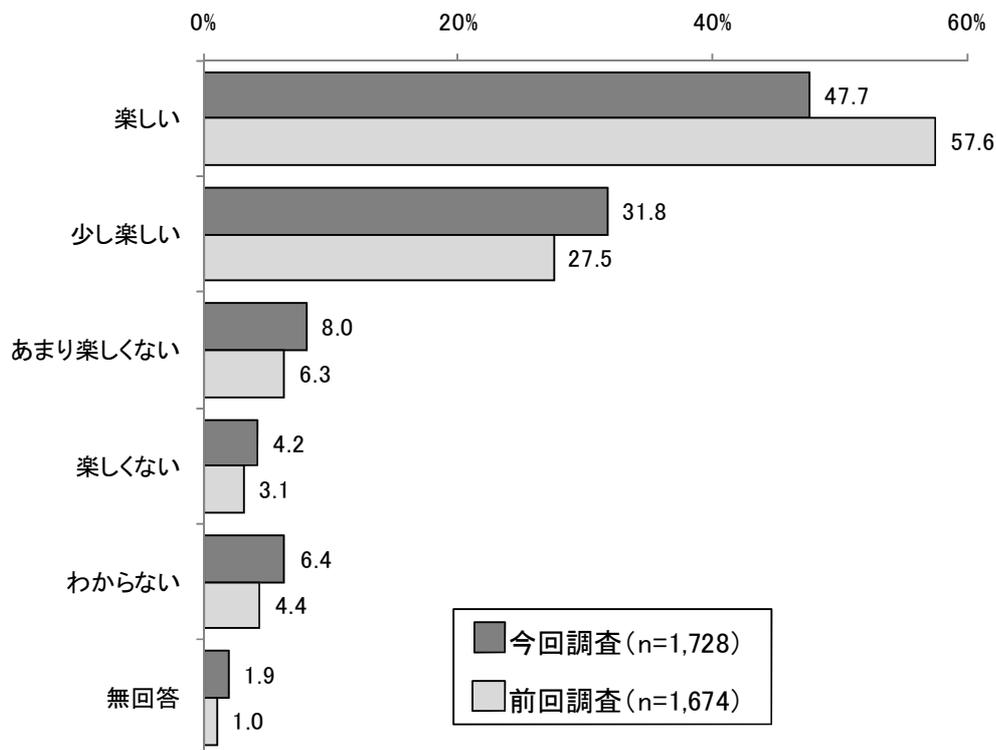
小学生では5年生で「楽しい」の割合が他の学年と比べて低くなっています。また、中学生では2年生で「楽しい」の割合が他の学年と比べて低くなっています。

■あなたは、今の学校の生活が楽しいですか（単数回答） \* 「楽しい」の回答率



### ○前回調査との比較

学校の楽しさについて前回調査結果と比較すると、「楽しい」が減少し、「あまり楽しくない」や「楽しくない」は微増しています。



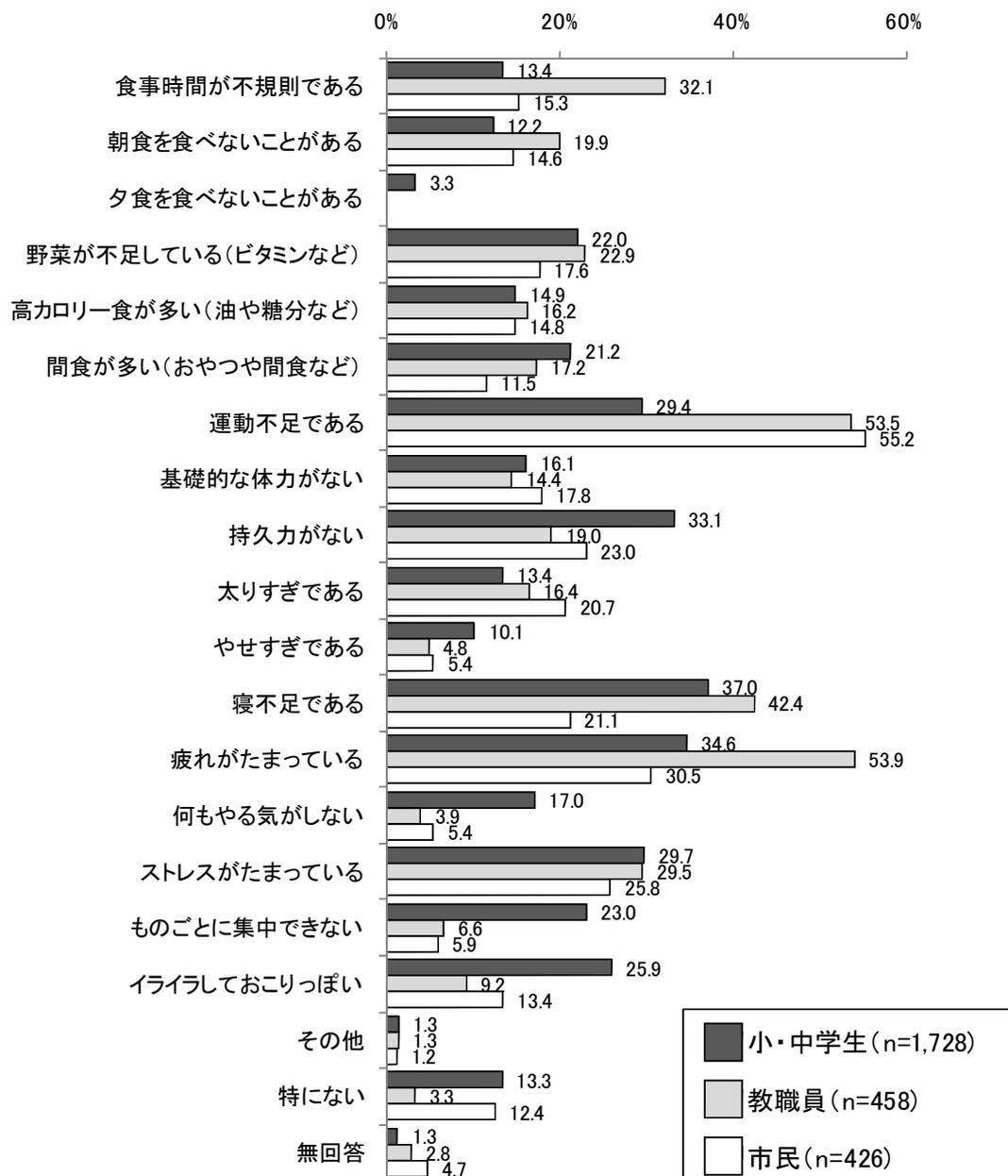
## ②健康や体力に関する問題(小・中学生、教職員、市民)

健康や体力の問題について、小・中学生調査では、「寝不足である」の割合が最も高く、次いで「疲れがたまっている」「持久力がない」となっています。

教職員調査では「疲れがたまっている」の割合が最も高く、次いで「運動不足である」「寝不足である」となっています。

市民調査では、「運動不足である」の割合が最も高く、次いで「疲れがたまっている」「ストレスがたまっている」となっています。

■あなたは、自分の健康や体力について次に示すような問題を感じたりしたことがありますか(複数回答)

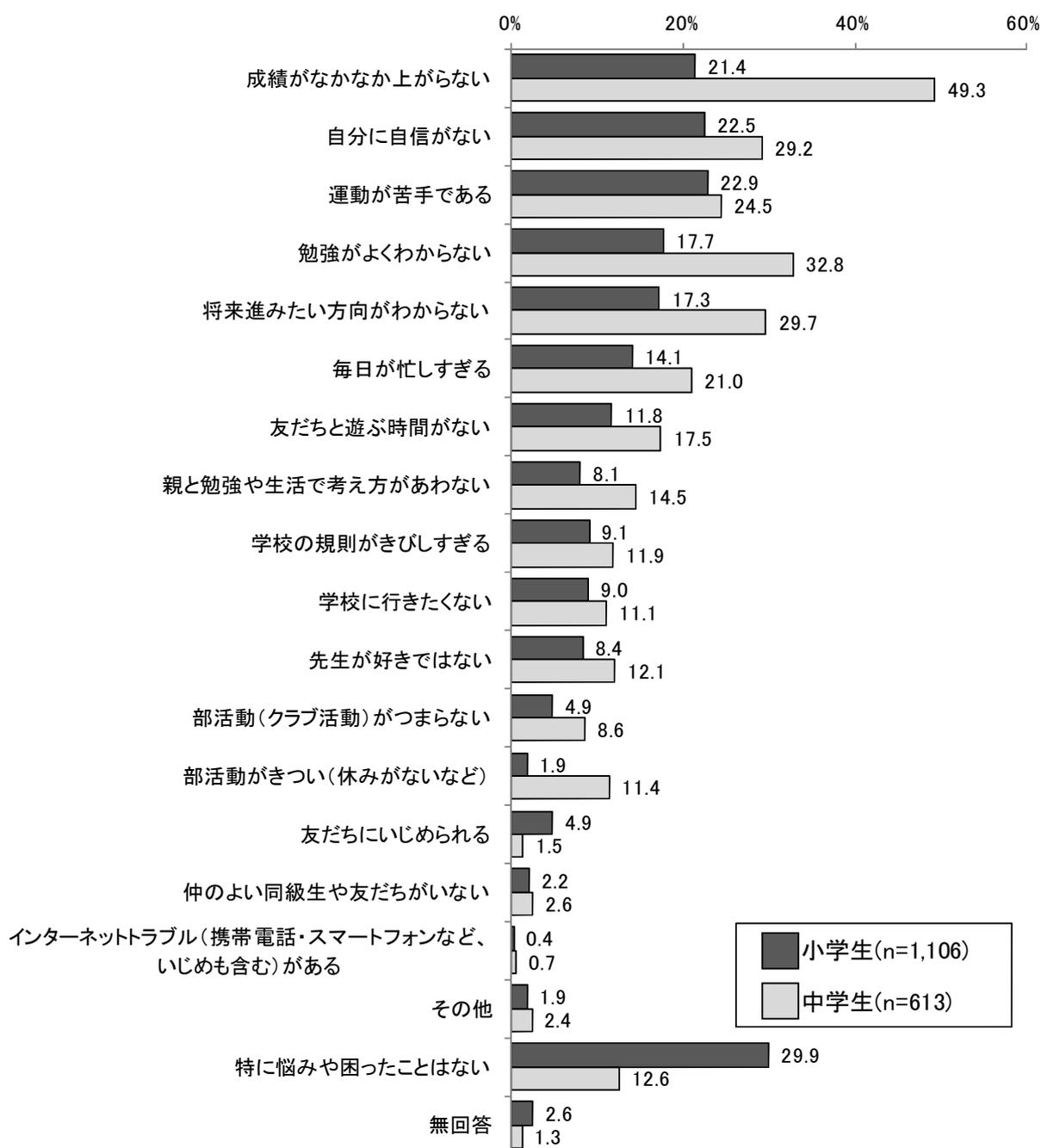


### ③-1 悩みについて(小・中学生)

今の学校生活などでの悩みや困ったことについて、小学生では「特に悩みや困ったことはない」の割合が最も高く、次いで「運動が苦手である」「自分に自信がない」「成績がなかなか上がらない」「勉強がよくわからない」となっています。

中学生では「成績がなかなか上がらない」の割合が最も高く、次いで「勉強がよくわからない」「将来進みたい方向がわからない」「自分に自信がない」「運動が苦手である」となっています。

■あなたは、今の学校の生活などで、なにか悩みや困ったことはありますか(複数回答)

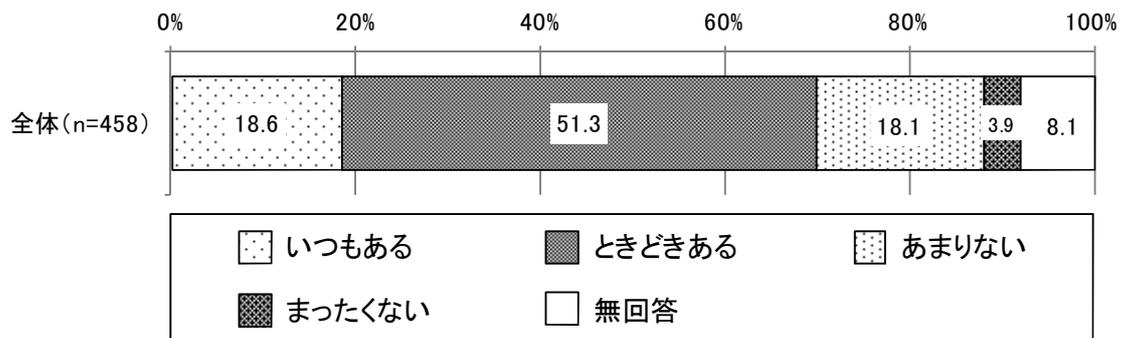


### ③-2 悩みについて(教職員)

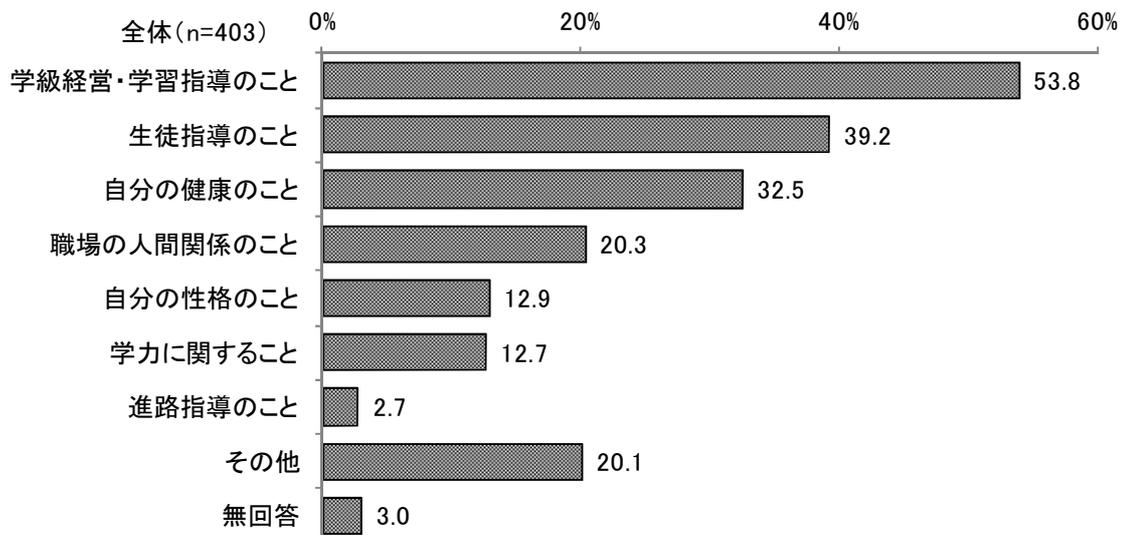
教職員調査において、最近、悩んだり困ったりしたことがあるかについては、「いつもある」「ときどきある」を合わせ、約7割が『ある』となっています。

また、悩んだり困ったりした内容については、「学級経営・学習指導のこと」の割合が最も高く、次いで「生徒指導のこと」「自分の健康のこと」となっています。

■あなたは、最近、悩んだり困ったりしたことがありますか(単数回答)



■悩んだり困ったりしたことはどんなことですか(複数回答)



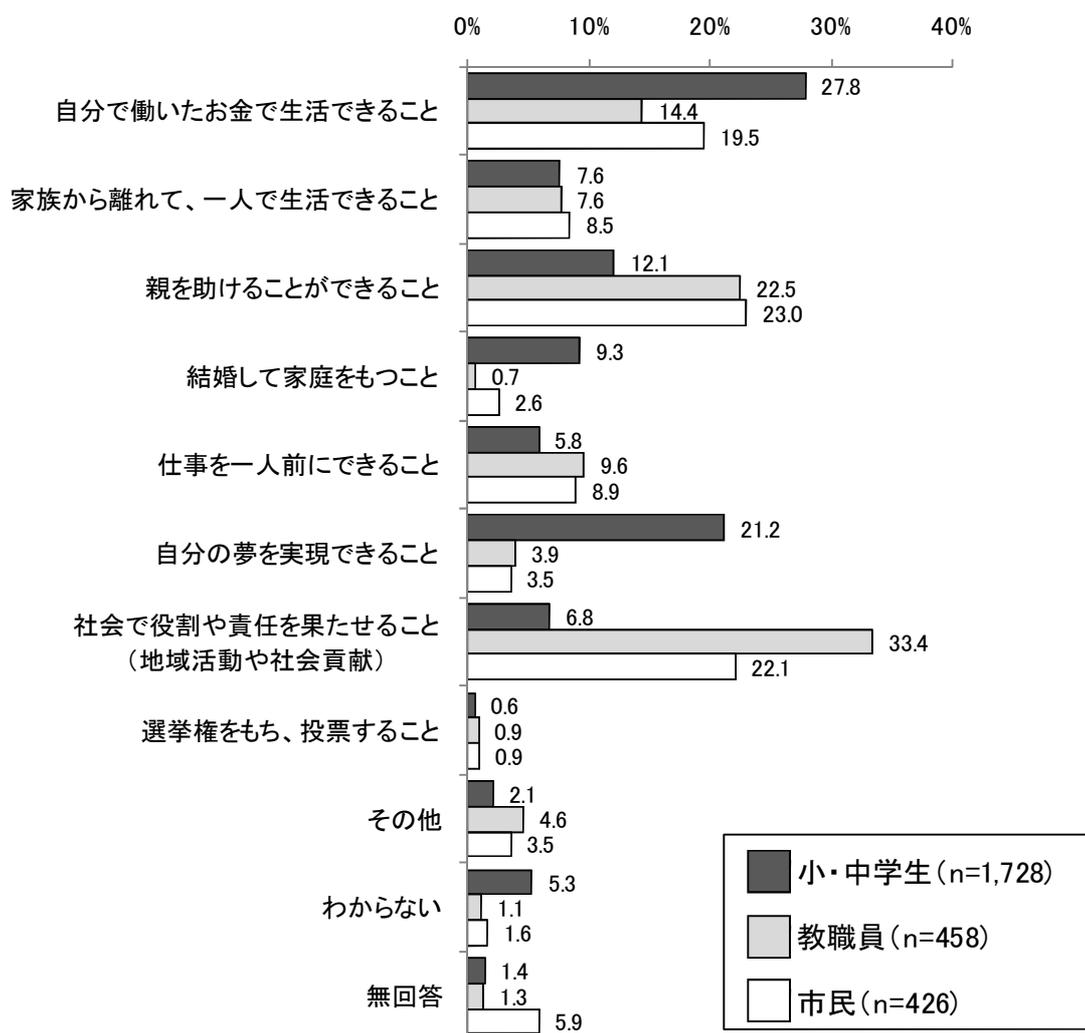
#### ④自立について(小・中学生、教職員、市民)

「子供たちが大人になる」ということは、どういうことと考えるかについて、小・中学生調査では、「自分で働いたお金で生活できること」の割合が最も高く、次いで「自分の夢を実現できること」となっています。

教職員調査では、「社会で役割や責任を果たせるようになること」の割合が最も高く、次いで「親を助けることができること」「自分で働いたお金で生活できること」となっています。

市民調査では、「親を助けることができること」の割合が最も高く、次いで「社会で役割や責任を果たせること」「自分で働いたお金で生活できること」となっています。

■「子供たちが大人になる」ということは、どうこうことと考えますか(単数回答)



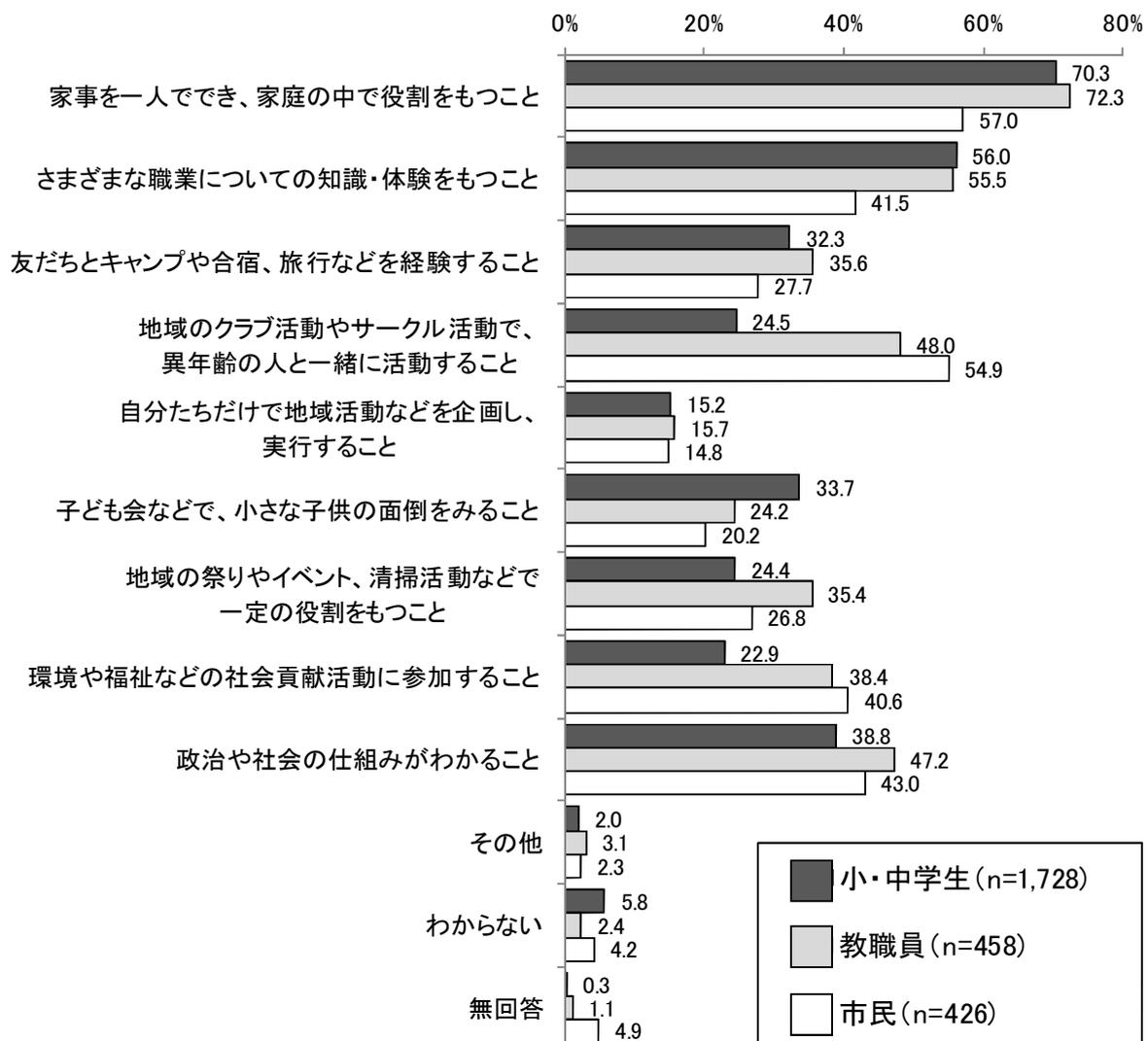
### ⑤大人になるために必要な体験(小・中学生、教職員、市民)

子供が親の保護のもとから離れ、大人になっていくために必要な体験については、小・中学生調査では、「家事を一人ででき、家庭の中で役割をもつこと」の割合が最も高く、次いで「様々な職業についての知識・体験をもつこと」「政治や社会の仕組みがわかること」となっています。

教職員調査では、「家事が一人ででき、家庭の中で役割をもつこと」の割合が最も高く、次いで「さまざまな職業についての知識・体験をもつこと」「地域のクラブ活動やサークル活動で、異年齢の人と一緒に活動すること」となっています。

市民調査では、「家事が一人ででき、家庭の中で役割をもつこと」の割合が最も高く、次いで「地域のクラブ活動やサークル活動で、異年齢の人と一緒に活動すること」「政治や社会の仕組みがわかること」となっています。

■子供が親の保護のもとから離れ、大人になっていくために、どのような体験が必要だと思いますか (複数回答)



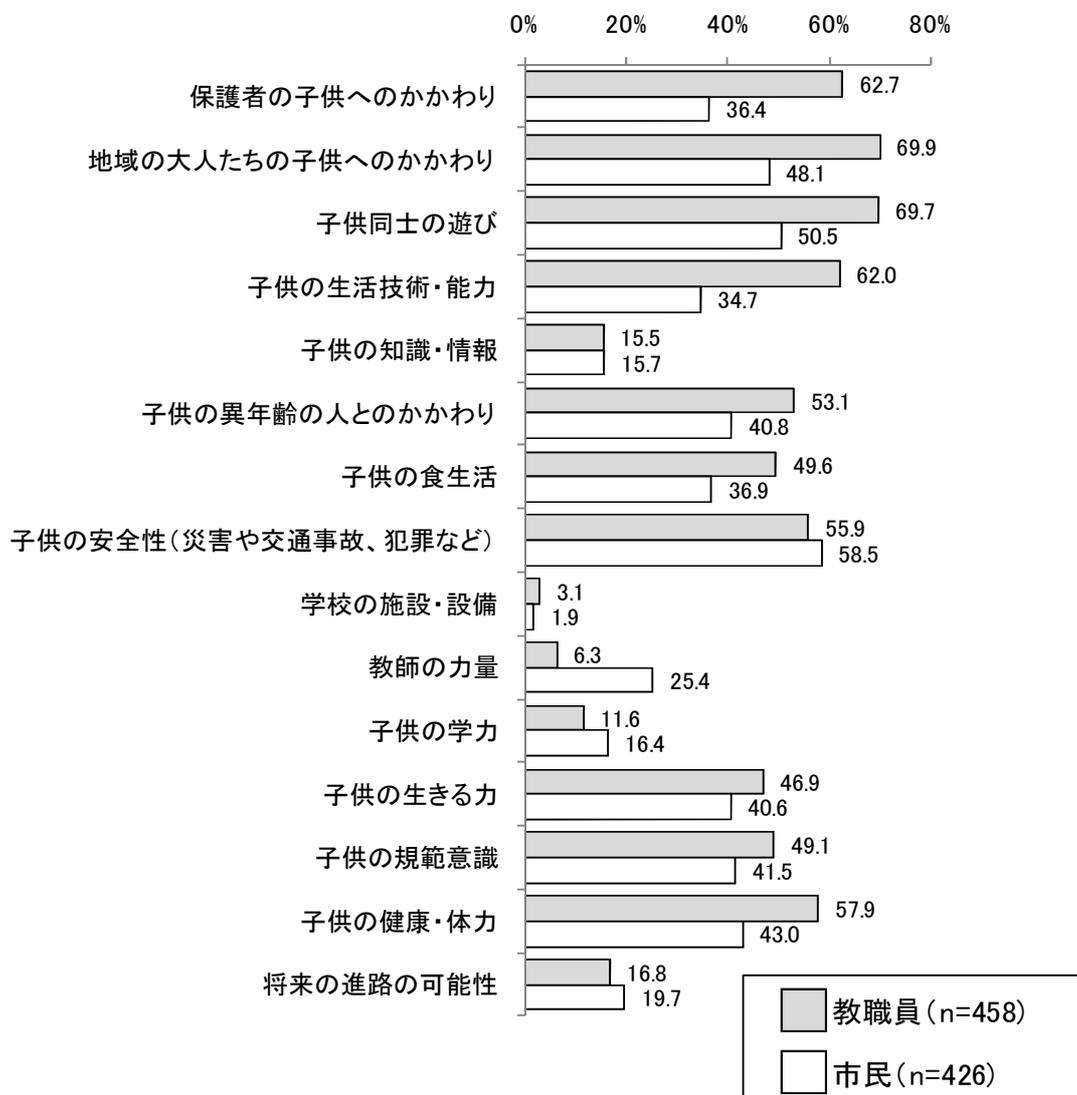
## ⑥子供を取り巻く環境について(教職員、市民)

自分の子供の頃と比べた、子供を取り巻く環境変化について、教職員では「地域の大人たちの子供へのかかわり」「子供同士の遊び」「保護者の子供へのかかわり」「子供の生活技術・能力」で「悪くなった」との回答がそれぞれ6割以上となっています。

市民では、「子供の安全性」「子供同士の遊び」で「悪くなった」との回答がそれぞれ5割以上となっています。

また「教師の力量」については、市民と教職員との間に開きが見られます。

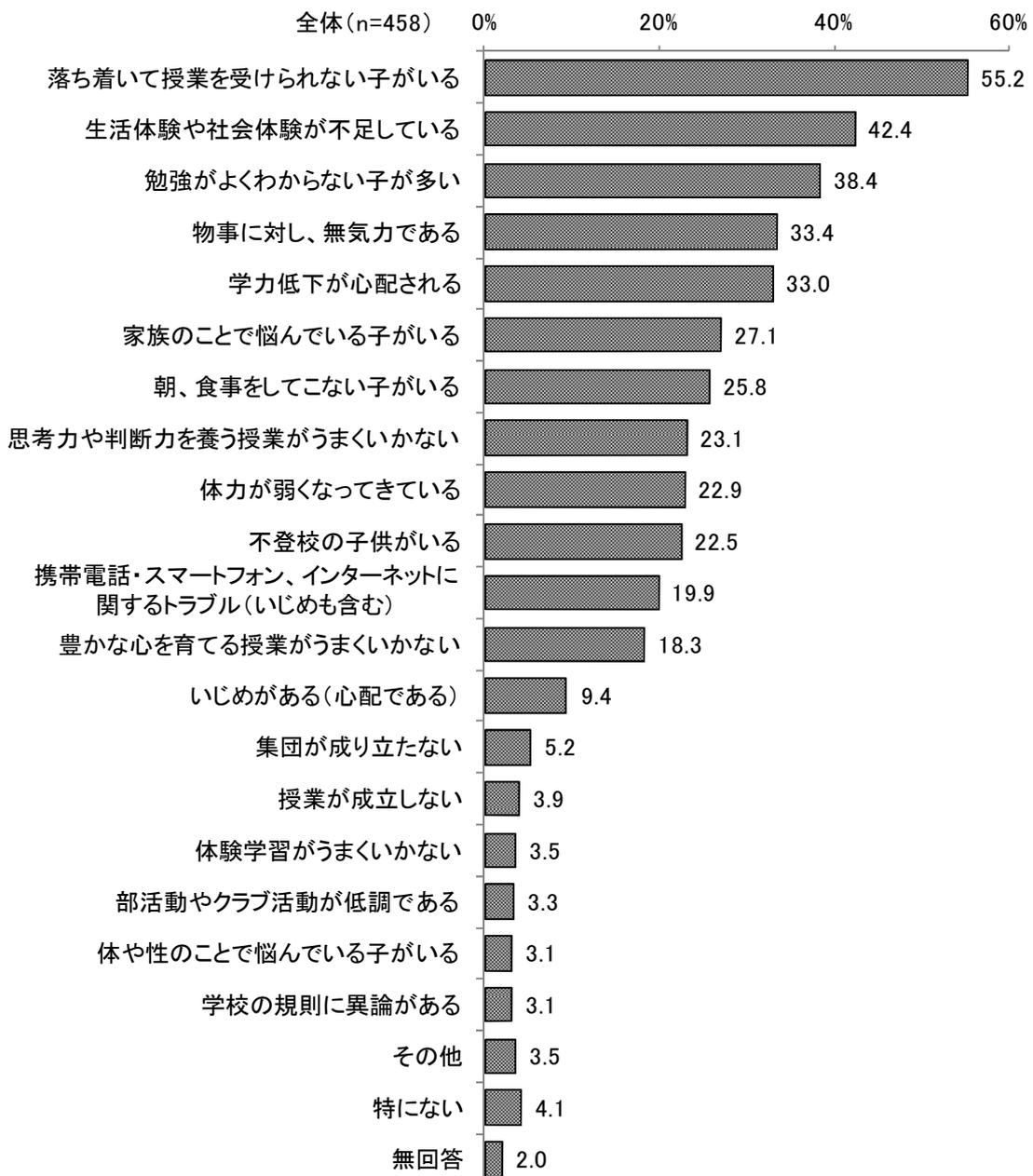
■あなた自身が子供の頃とくらべて、子供を取り巻く様々な環境は良くなってきていますか、悪くなってきていますか(単数回答) \*「悪くなった」の回答率



⑦学級の子供について、困ったことや問題と感ずること(教職員)

担任・担当している学級の子供について、困ったことや問題と感ずることは、「落ち着いて授業を受けられない子がいる」の割合が最も高く、次いで「生活体験や社会体験が不足している」「勉強がよくわからない子が多い」となっています。

■あなたの担任・担当している学級(担任・担当のない人は学校全体)の子供について、何か困ったこと、問題と感ずることはありますか(複数回答)



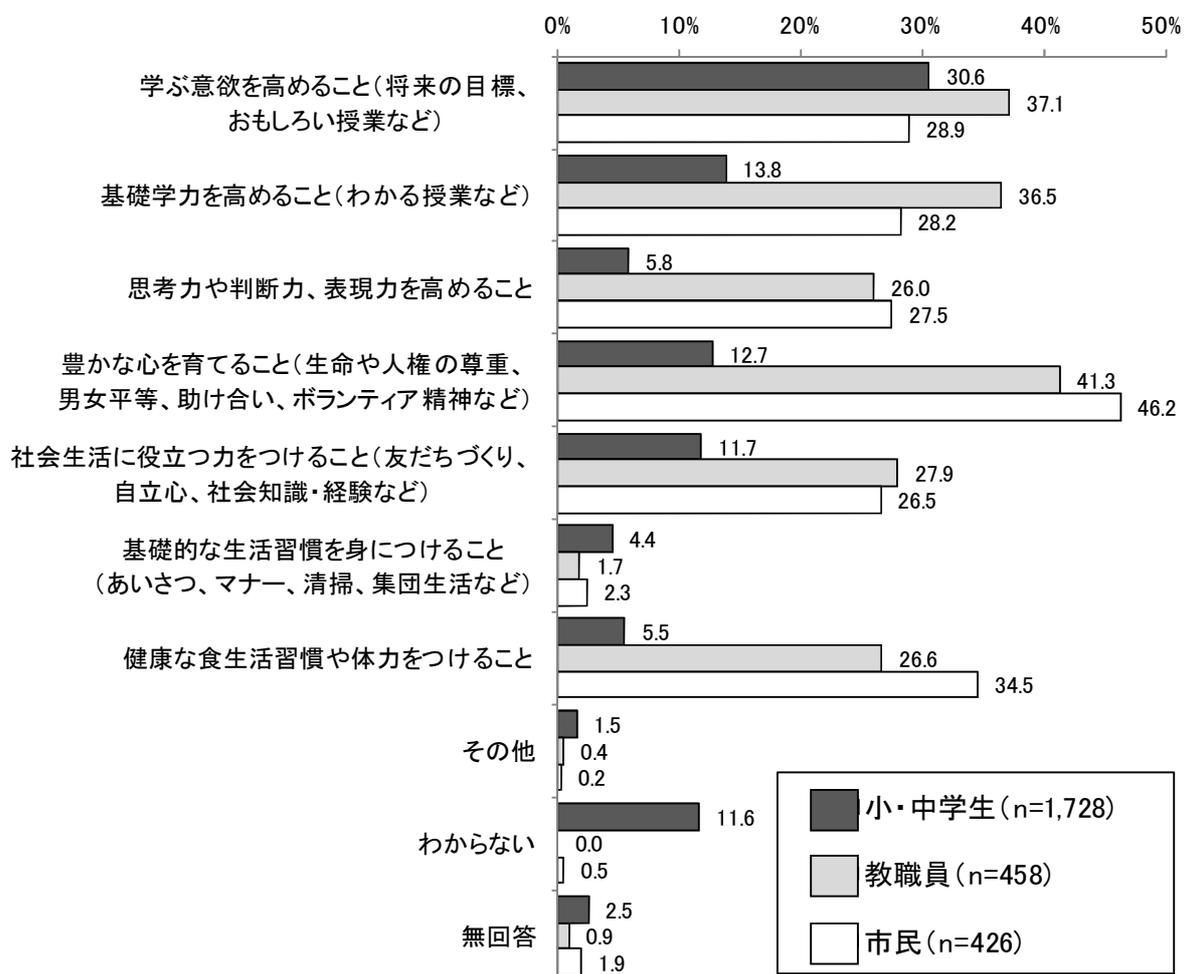
⑧学校教育においても最も重視すべきもの(小・中学生、教職員、市民)

学校に期待することについて小・中学生調査では、「学ぶ意欲を高めること」の割合が最も高く、次いで「基礎学力を高めること」「豊かな心を育てること」となっています。

これからの学校教育において重視しなければならないものについては、教職員調査では、「豊かな心を育てること」の割合が最も高く、次いで「学ぶ意欲を高めること」「基礎学力を高めること」となっています。

市民調査では、「豊かな心を育てること」の割合が最も高く、次いで「健康な食生活や体力をつけること」「学ぶ意欲を高めること」となっています。

■あなたが学校に期待すること／これからの学校教育において最も重視しなければならないものは、どれだと考えますか(複数回答)

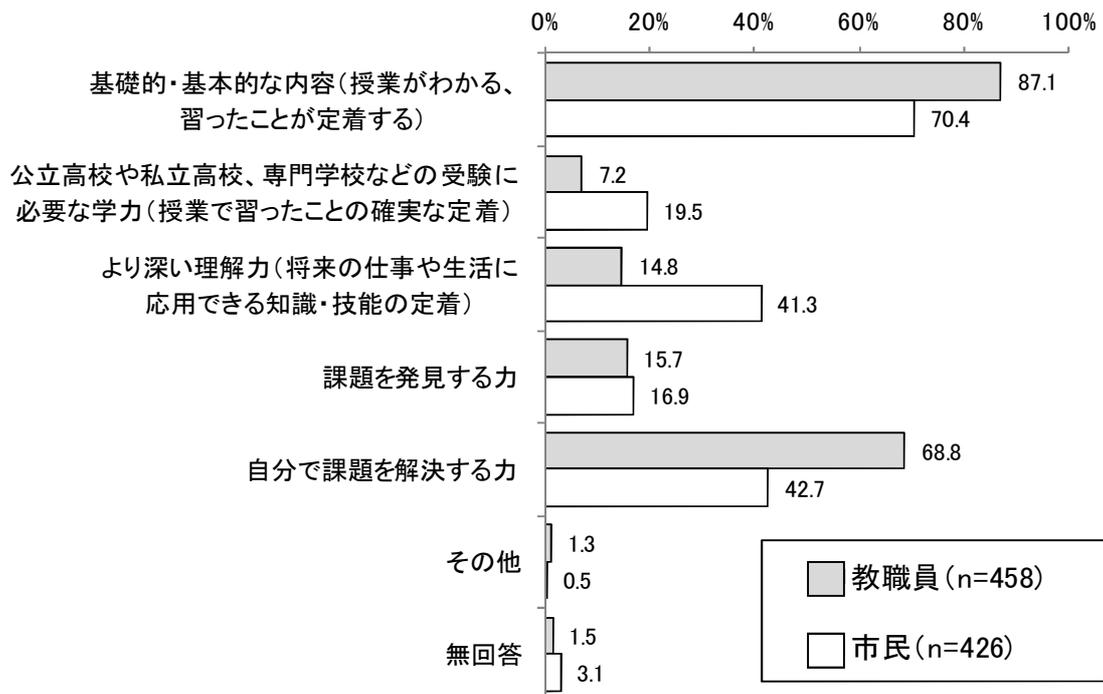


### ⑨学校教育で重視すべき「学力」(教職員、市民)

学校教育で重視すべき「学力」について、教職員調査では、「基礎・基本的な内容」の割合が最も高く、次いで「自分で課題を解決する力」「課題を発見する力」となっています。

市民調査では、「基礎・基本的な内容」の割合が最も高く、次いで「自分で課題を解決する力」「より深い理解力」となっています。

■学校教育で重視すべき「学力」はどのようなものでしょうか(複数回答)



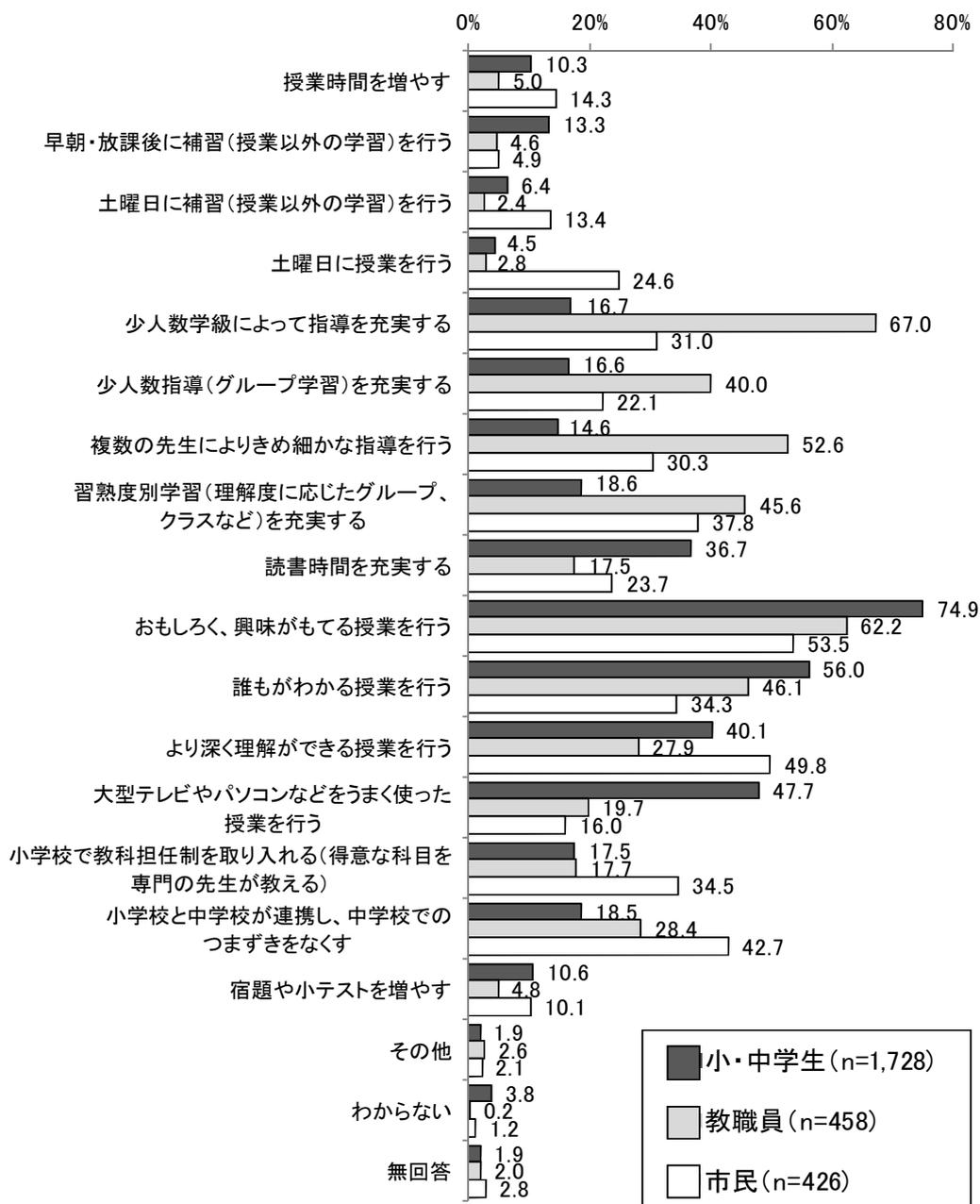
⑩「学力」を高めるために重要な取組(小・中学生、教職員、市民)

「学力」を高めるために重要な取組について、小・中学生調査では、「おもしろく、興味をもてる授業を行う」の割合が最も高く、次いで「誰もがわかる授業を行う」「大型テレビやパソコンなどをうまく使った授業を行う」となっています。

教職員調査では、「少人数学級によって指導を充実する」の割合が最も高く、次いで「おもしろく、興味をもてる授業を行う」「複数の先生によりきめ細かな指導を行う」となっています。

市民調査では、「おもしろく、興味をもてる授業を行う」の割合が最も高く、次いで「より深く理解ができる授業を行う」「小学校と中学校が連携し、中学校でのつまずきをなくす」となっています。

■学校教育で「学力」を高めるために、どのような取組が重要であるとお考えですか(複数回答)



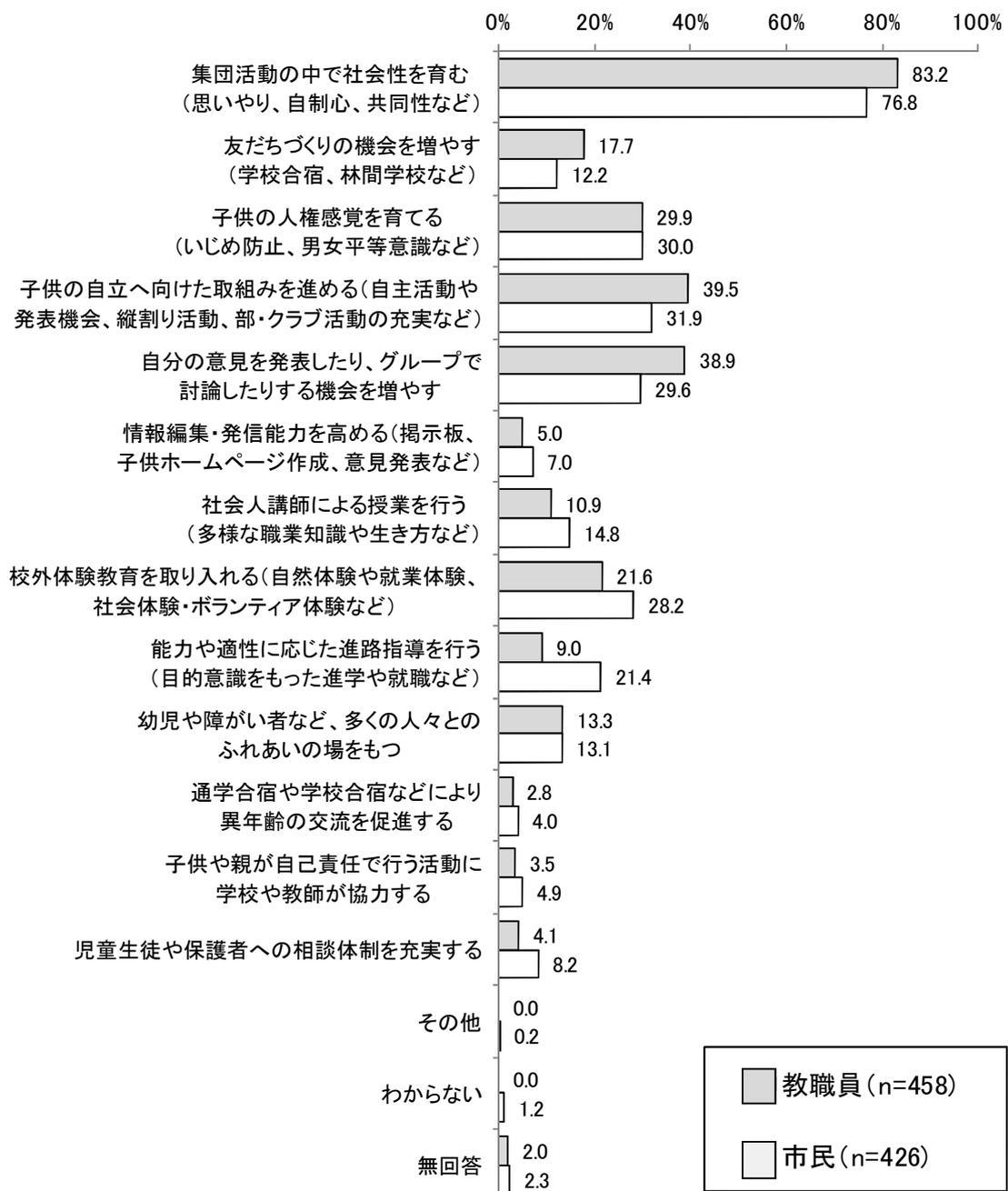
⑪社会生活に役立つ力を身につけるために必要な取組(教職員、市民)

社会生活に役立つ力をつけるために、必要な取組について、教職員調査では、「集団活動の中で社会性を育む」の割合が最も高く、次いで「子供の自立へ向けた取組を進める」「自分の意見を発表したり、グループで議論したりする機会を増やす」「子供の人権感覚を育てる」となっています。

市民調査では、「集団活動の中で社会性を育む」の割合が最も高く、次いで「子供の自立へ向けた取組を進める」「子供の人権感覚を育てる」となっています。

■社会生活に役立つ力を子供につけるために、学校でどのような取組が必要とお考えでしょうか

(複数回答)

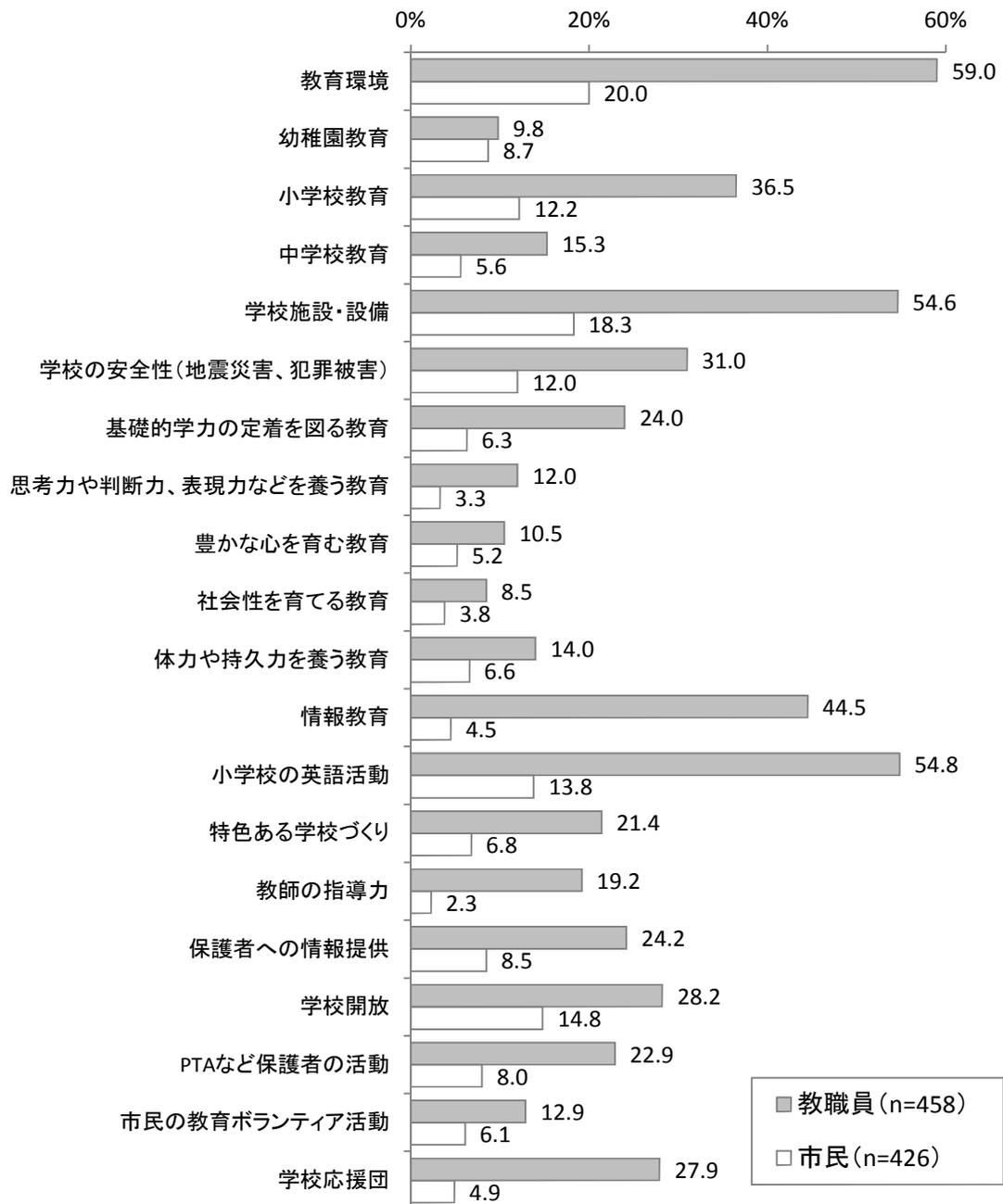


### ⑫-1 戸田市の教育について(教職員、市民)

戸田市の教育への評価について、教職員調査では、「教育環境」「学校施設・設備」「小学校の英語活動」で「良い」が5割以上となっています。

市民調査では、「教育環境」「学校施設・設備」「小学校の英語活動」「学校開放」で「良い」が比較的多くなっています。

■ 戸田市の教育について、どのように評価されるでしょうか(単数回答) \*「良い」の回答率



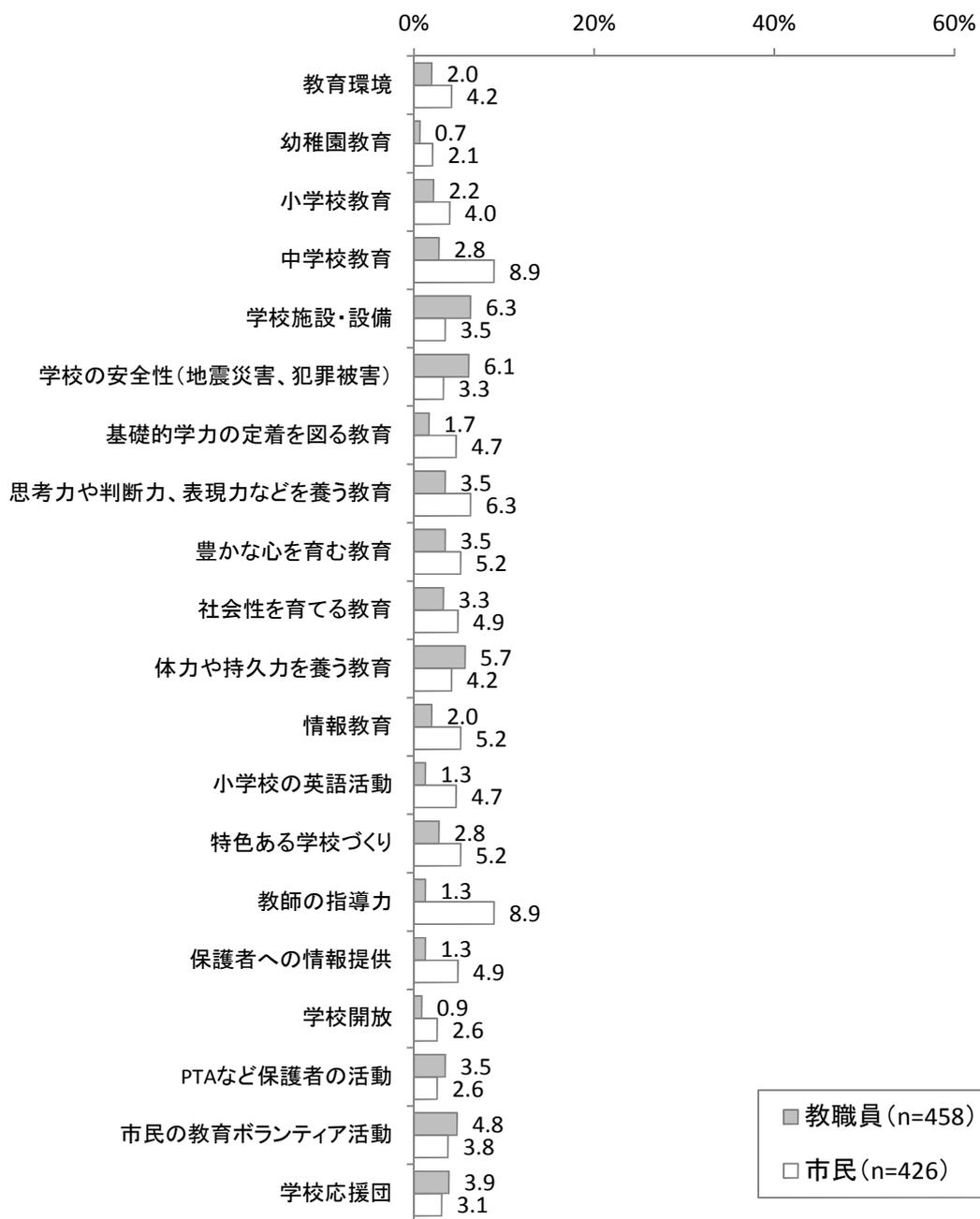
⑫-2 戸田市の教育について(教職員、市民)

戸田市の教育への評価について、教職員調査では、「学校施設・設備」、「学校の安全性」で「悪い」の割合が若干高くなっています。

市民調査では、「教師の指導力」、「中学校教育」で「悪い」の割合が若干高くなっています。

■ 戸田市の教育について、どのように評価されるでしょうか(単数回答)

\* 「悪い」の回答率



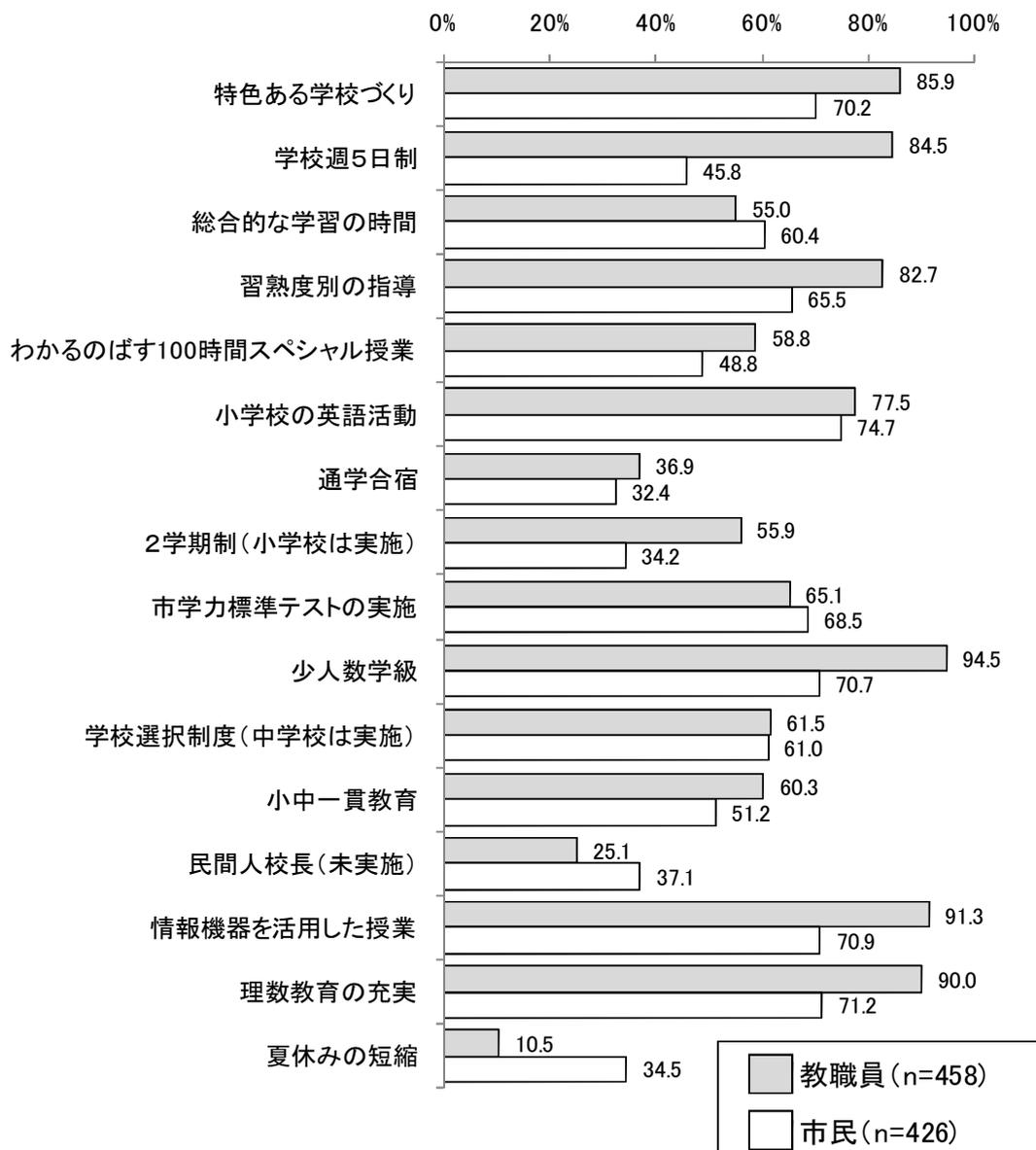
⑬-1 これまでの教育の取組や、今後、検討する教育改革(教職員、市民)

これまでの教育の取組や、今後、検討する教育改革について、教職員調査では、「少人数学級」で「賛成」が9割を超えています。

市民調査では、「特色ある学校づくり」「小学校の英語活動」「少人数学級」「情報機器を活用した授業」「理数教育の充実」で「賛成」が7割を超えています。

■これまでの教育の取組や、今後、検討する教育改革についてどのようにお考えでしょうか(単数回答)

\*「賛成+どちらか」というと賛成」の回答率



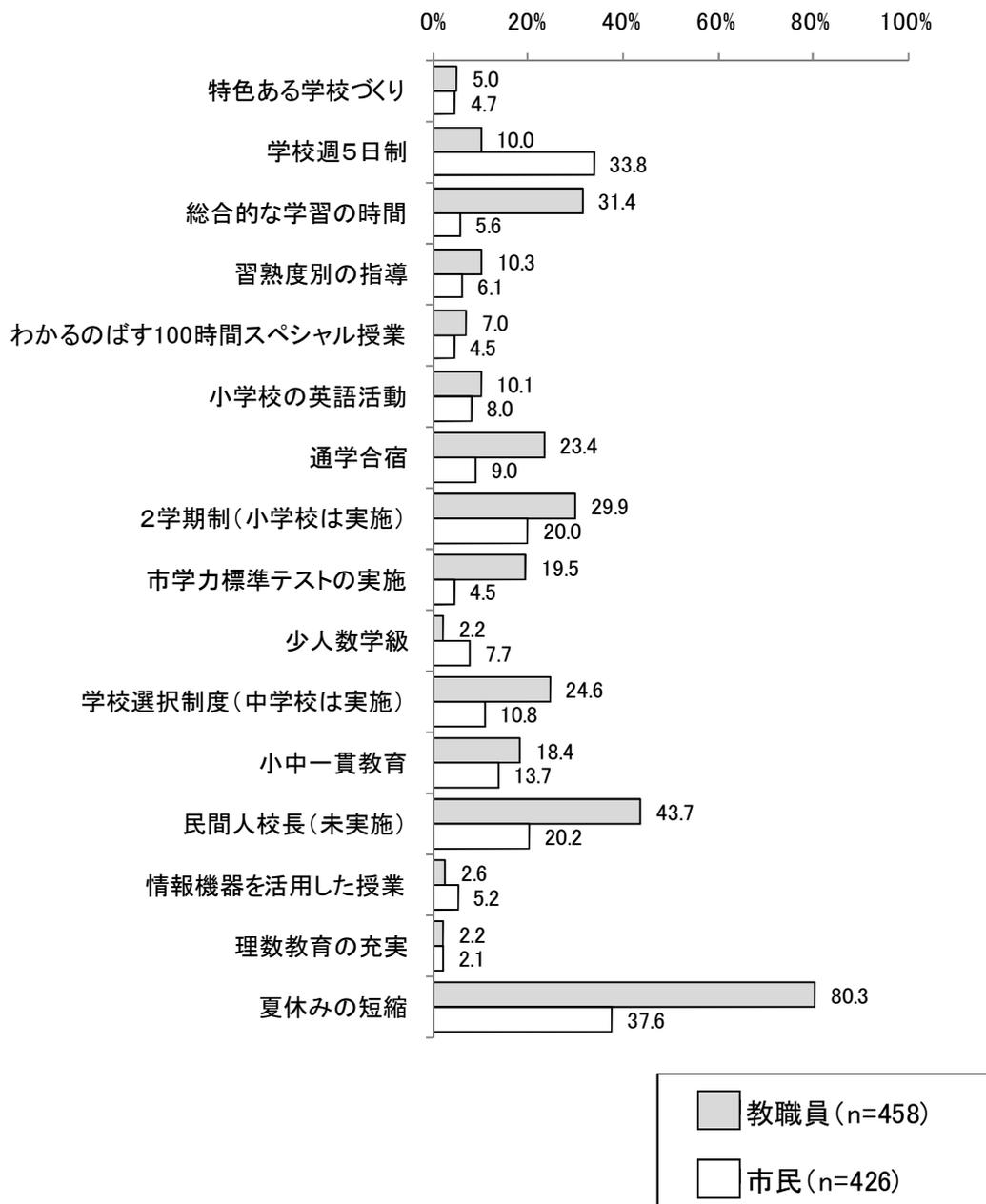
⑬-2 これまでの教育の取組や、今後、検討する教育改革(教職員、市民)

教職員調査では、「夏休みの短縮」で「反対」が約8割と割合が高くなっています。

市民調査では、「学校週5日制」「夏休みの短縮」で「反対」の割合が高くなっています。

■これまでの教育の取組や、今後、検討する教育改革についてどのようにお考えでしょうか(単数回答)

\*「反対+どちらか」というと反対」の回答率

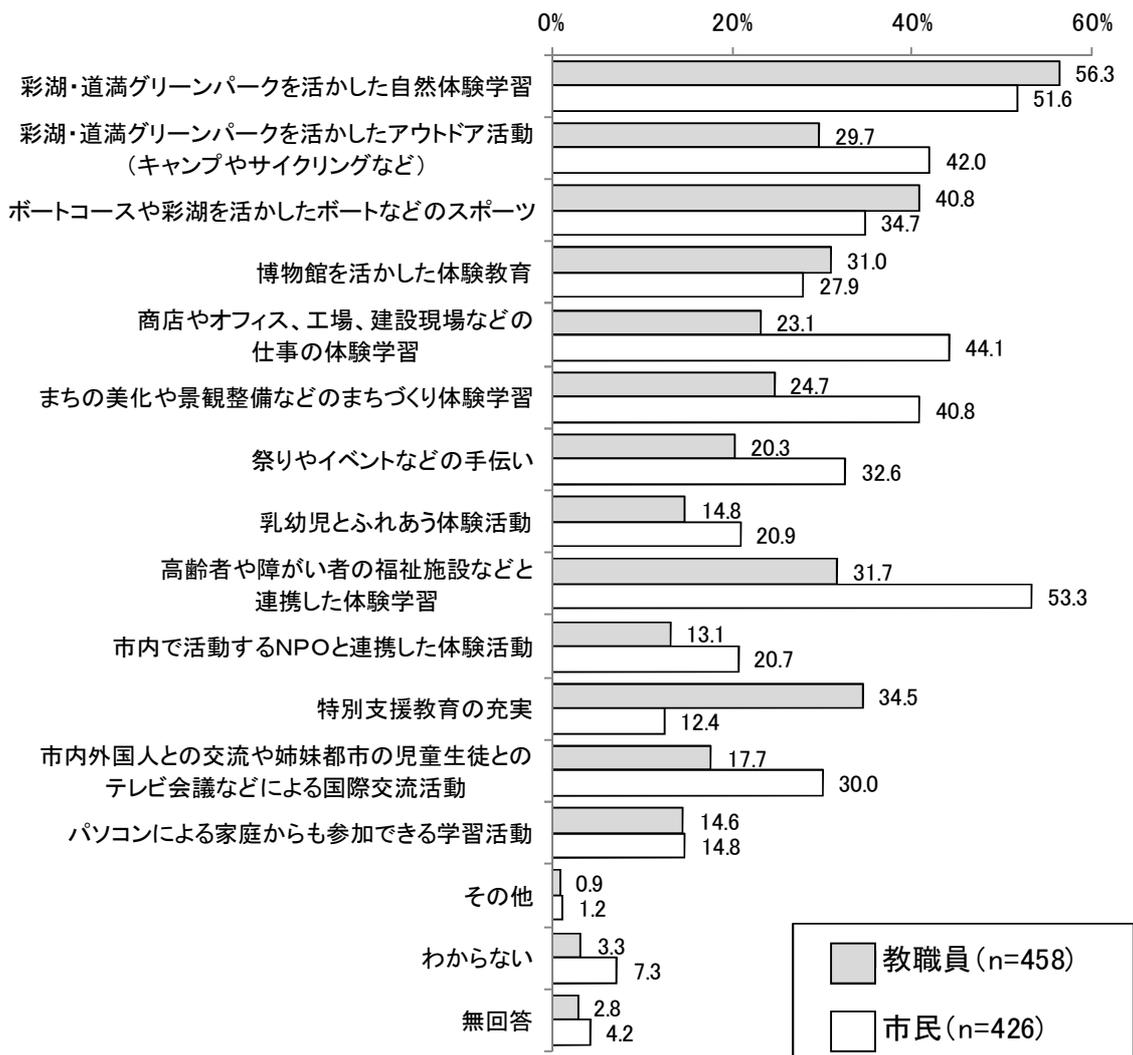


#### ⑭戸田市らしい教育推進の取組(教職員、市民)

戸田市らしい教育推進の取組については、教職員調査では、「彩湖・道満グリーンパークを活かした自然体験学習」の割合が最も高く、次いで「ボートコースや彩湖を活かしたボートなどのスポーツ」「特別支援教育\*の充実」となっています。

市民調査では、「彩湖・道満グリーンパークを活かした自然体験学習」の割合が最も高く、次いで「彩湖・道満グリーンパークを活かしたアウトドア活動」「商店やオフィス、工場、建設現場などの仕事の体験学習」となっています。

#### ■戸田市らしい教育の推進について、どのような取組を進めたらいいとお考えでしょうか(複数回答)



### (3) 団体等ヒアリングの概要

本計画の策定に向けて、市内の教育に関する活動を行っている皆様の意見を把握するために「団体等ヒアリング」を実施しました。調査の概要及びヒアリング結果からみえる主な課題は次のとおりです。

#### ■団体等ヒアリングの概要

分野	対象	日時
(1) 幼稚園・保育園 小学校・中学校	①幼稚園・保育園長、小学校・中学校長	平成26年 12月19日
	②PTA・学校応援団	12月22日
(2) 特別支援教育※	戸田中学校（校長・担任） 美女木小学校（校長・担任）	12月15日 12月16日
(3) 相談関係	家庭児童相談員 教育センター 青少年相談員	12月17日
(4) 地域活動	青少年育成団体連絡協議会 戸田市子ども会連合会	12月25日
	民生委員・児童委員	12月19日

#### ■ヒアリング結果からみえる主な課題

課題の キーワード	内容
社会性・コミュニケーション力	<ul style="list-style-type: none"> <li>遊びがゲーム機中心となっている。</li> <li>他者とのコミュニケーションのとり方など、コミュニケーション力の不足。</li> <li>トラブルへの対処能力の不足、友人関係の希薄化など、社会性やコミュニケーション力が育っていない。</li> <li>子供同士で問題を整理する力を持つこと、それを親が見ることができる環境を作ること、そして学校にも伝えようとする人間関係を作ることが必要。</li> <li>学力だけでなく、心を育てる教育が遅れている。</li> <li>打たれ弱い子が多い。怒られることに慣れてない。</li> <li>誰かに頼っていて自主性がない。</li> <li>集中力がない。</li> <li>忍耐力がない。</li> <li>注意しても聞かない。</li> </ul>
いじめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>LINE を通じての他人への中傷が多い。同じ学校ではなく塾とか部活動を通して生活エリアが広がる。一人の子への中傷がLINE に流れ、広がっていく。学校も手を出せず、対処が難しい。</li> </ul>
不登校	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭の問題で不登校になっているケースもあるが、学校の環境に染まって不登校になるケースが結構ある。学校の環境をいかに直すかが大事。</li> </ul>
非行	<ul style="list-style-type: none"> <li>去年の結果では、学校で発生した暴力行為の件数は減少しているが、小学校の暴力件数が増えてきている。器物損壊にしても生徒間暴力にしても小学生が増えている。小学校での生徒指導が大事。</li> </ul>

課題のキーワード	内容
家庭の教育力向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就寝時間が遅くなるなど、生活習慣の乱れがみられる。</li> <li>・きちんとできている家がほとんどだが、子供に目をかける時間が少ない家庭もある。</li> <li>・させていいことと、そうでないことのけじめを親がつけていない。</li> </ul>
相談体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・虐待・ネグレクト*など、親から離さないといけないケースより、家庭を見守っていかうというケースが多い。DV*や家庭の問題があっても、精神疾患を抱えるなど、多問題化している家庭が増えているので対応に苦慮している。</li> </ul>
家庭・学校・地域の連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校、地域、保護者・PTAがそれぞれつながっていない。</li> <li>・子ども会活動で、親の都合で参加させないケースが少なくない。</li> <li>・子ども会活動は、異年齢の子供同士の交流や、協調性を育むためにも重要。</li> <li>・地域が学校を応援する仕組みをもっとはっきりさせるべき。</li> <li>・学校応援団の活動に対して正当な評価を行うべき。</li> <li>・学校と家庭・行政の連携を強化するためのシステム作り。</li> <li>・地域とつながってくれる校長が必要。</li> </ul>
保護者・学校の連携・信頼醸成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者との関係については、親と担任とのコミュニケーションと信頼関係ができていれば理不尽な要求は出ない。</li> <li>・保護者からの過度な要求をされる具体的な事例もみられる。</li> <li>・問題が重大化しないよう、市に相談・支援の体制づくりが必要。</li> </ul>
教員の資質向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子供の変化についていけない教員が増えてきているなど、教員の二極化が進んでいる。</li> <li>・情報化・国際化に必要なスキルを身に付けるような資質の向上に向けた取組が必要。</li> <li>・非常勤の先生は、スキルアップしたところでやめてしまうことになる。</li> </ul>
教員を支える仕組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先生が真面目過ぎて、問題を一人で抱え込んでしまっている。</li> <li>・学校への批判への対応は簡単ではない。若い先生が意欲を持って教員になったとしても、これだったら辞めようということも起こってくるのではないか。</li> </ul>
子供と向き合う時間の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後子供を残して子供と触れ合う機会はまずない。休み時間に子供の授業の遅れを見ていく。集会で子供と向き合う。</li> <li>・先生たちは延々と書類書きをしている。子供たちと触れ合う時間がない。</li> </ul>
放課後等の活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後をどう活かすか。それを考えるのは先生たち。「みんなで楽しくやることはないか」と先生たちが考え、それに我々（地域）が協力する。大人も子供も楽しくなければやらないし、続かない。</li> <li>・ボール投げの能力が弱いのが、学校の授業では限界がある。放課後の遊びの中でボール投げを取り入れた遊びを考えることが大事。</li> <li>・塾に行けない子を放課後等に学校で学ばせる支援など、児童生徒の学習支援を。</li> </ul>
携帯電話・スマートフォン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校でもスマートフォンをめぐる問題が出てきた。ソーシャルネットワークでのいじめやアダルトサイト、友達同士のトラブルなど様々な弊害が出てきている。スマートフォンをいじる時間が長いほど勉強の時間が少なくなっている。学力とスマートフォンの時間は反比例する。</li> </ul>

※ネグレクト：食事を与えない、適切な医療を受けさせない、自動車や家に置き去りにするなど、子供の生活の面倒を見なかったり、育児をしないで放置したりする行為のことです。

※DV：夫婦間や恋人など親しい間柄での暴力のことです。身体的暴力、性的暴力や言葉による精神的暴力などもDVです。

課題のキーワード	内容
特別支援教育*	<ul style="list-style-type: none"> <li>特別支援の対象となる子供の数が増えてきて、教室が足りない、校舎が足りない。特別支援学級も足りない。通常の学級で通級しながらの通級指導が十分でない。</li> <li>特別支援教育*ができる教員を増やしてほしい。</li> <li>戸田市のすべての学校に特別支援学級ができるといい。</li> <li>支援員に頼っている部分が多いので、その維持拡大を。</li> <li>支援学級が他の学校にも必要。</li> </ul>
発達障がい*	<ul style="list-style-type: none"> <li>発達障がい*の子供が増えてきている。</li> <li>戸田市は、3歳児健診で発達障がい*を見つけているのはよい。早くその早期発見から支援のレールに乗せたい。</li> <li>子供が小学校に入るまでに、保護者に「発達障がい*」がどういうものか知っておいてもらいたい。</li> </ul>
自己肯定感	<ul style="list-style-type: none"> <li>褒められることがない。子供の意欲を高め、認めてもらう機会を作らないといけない。</li> </ul>
運動・活動の場の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>子供たちが管理されている。公園でサッカーもできない、キャッチボールもできない。何をしてもダメだと言われて、それに対して反発が出てくるのではないか。</li> <li>青少年がのびのび使える場所が必要。</li> <li>土日に校庭開放。</li> </ul>
文化活動の振興	<ul style="list-style-type: none"> <li>秋に行事が集中すると、文化的行事よりも体育行事が主になってしまう。体育同様に文化的なものにも対等に力を入れてもらいたい。</li> </ul>
居場所づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>特に中学生の居場所がないのが問題。</li> </ul>
地域でのボランティア活動の活性化	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校が中心になっての小中のボランティア活動はあるが、学校を離れた、地域だけの小中のボランティア活動はない。それが広がるといい。</li> </ul>
安全の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>「子ども110番」プレートは出してあるが、形骸化している。</li> </ul>

#### ■団体等ヒアリングの結果まとめ

第2次計画策定時に実施したヒアリング調査との比較では、概ね同様の課題キーワードが抽出されています。特に、前回調査時にも指摘があった「社会性・コミュニケーション力の不足」を指摘する意見が多くなっています。

新たな課題としては、ゲーム機・携帯電話・スマートフォンの利用に伴う問題がクローズアップされています。

教員については、多忙解消の問題のみならず、子供や保護者との信頼関係を築けない教員の問題など、資質・能力の二極化が指摘されています。

また、特別支援教育について、戸田市の取組の先進性が評価される一方で、全校的な取組へ広げる体制づくりが課題として挙げられています。

## 第6節 戸田市の教育をめぐる課題と対応の方向性

	社会情勢	市の動向・統計・第2期計画の検証	アンケート調査・団体等ヒアリング調査
① 確かな学力の育成 に向けて	<p>※【国】は【国の第2期教育振興基本計画】</p> <p>【国】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●「知識基盤社会」の本格的到来</li> <li>●学習意欲は一部改善するが、算数・数学、理科の関心が低い</li> <li>●保護者の経済力など家庭環境に起因する問題などあり、生活保護等福祉行政などとの連携も求められる</li> </ul>	<p>※【施策評価】は【市で平成26年度に実施した施策評価シート】</p> <p>【施策評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●「授業がわかり、興味・関心や意欲をもって取り組んでいる児童生徒の割合」に関する調査では、小・中学校ともに、前年同様程度の数値となっており、一層の充実を図る必要がある。</li> <li>●小・中学校とも学年が上がるごとに各指標が低下する傾向にあり、各学校における授業の工夫が必要である。</li> <li>●国・県の調査から、個に応じた指導と基礎学力定着及び授業規律の徹底を図る必要がある。</li> <li>●学習指導要領実施への対応については、量的な面（授業時数）は達成されている。今後、質的な面において、その趣旨を一層反映させる必要がある。</li> </ul>	<p>※【アンケート】は【本計画策定にあたって実施した①小・中学生、②教職員、③市民を対象に、平成26年8～9月実施のアンケート調査結果】</p> <p>※【団体等ヒアリング 課題キーワード】は【本計画策定にあたって実施した①幼稚園・保育園・小学校・中学校、②特別支援教育※、③相談関係、④地域活動の4分野の団体等を対象に、平成26年12月に実施したヒアリング調査結果から整理した課題のキーワード】</p> <p>【アンケート】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●学校が「楽しい」の割合が前回比較で減少（57.6%→47.7%）。</li> <li>●今の学校生活などでの悩みや困ったことでは、小学生、中学生で「成績がなかなか上がらない」「勉強がよくわからない」が上位。</li> <li>●担任・担当している学級の子供について、困ったことや問題と感ずることは、「勉強がよくわからない子供が多い」が上位（38.4%）。</li> </ul>
② 豊かな心 の育成 に向けて	<p>【国】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●地域の中での孤立化</li> <li>●規範意識や社会性の育成に課題</li> </ul>	<p>※【施政方針】は【平成27年度の施政方針】</p> <p>【施政方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●近年、青少年の体験学習の機会が減少しており、その「機会」の提供が求められている。</li> <li>●いじめは絶対に許さないという強い姿勢のもと、学校、家庭、地域、関係機関との連携を強化する。</li> </ul> <p>●「戸田市いじめ防止基本方針」策定（H26.5）</p>	<p>【アンケート】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●今の学校生活などでの悩みや困ったことでは、小学生、中学生で「自分に自信がない」「将来進みたい方向がわからない」が上位。</li> <li>●今の学校生活などでの悩みや困ったことでは、「友だちにいじめられる」が小学生で4.9%、中学生で1.5%。</li> <li>●今の学校生活などでの悩みや困ったことでは、「特に悩みや困ったことはない」が小学生で29.9%、中学生で12.6%へと低下。</li> <li>●担任・担当している学級の子供について、困ったことや問題と感ずることは「物事に対し、無気力である」が上位（33.4%）。</li> <li>●社会生活に役立つ力をつけるために必要な取組では、教職員、市民とも「集団活動の中で社会性を育む」が最上位。</li> </ul> <p>【団体等ヒアリング 課題キーワード】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●社会性・コミュニケーション力の不足</li> <li>●いじめ、不登校、非行の問題</li> <li>●スマートフォン等の適正利用</li> <li>●自己肯定感の欠如</li> </ul>
③ 健やかな体の育成 に向けて	<p>【国】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●運動をする子としない子の二極化傾向</li> <li>●現代的健康課題の多様化・深刻化</li> </ul>	<p>※【提言書】は【戸田市第4次総合振興計画後期基本計画協働会議提言書（H27.3）】</p> <p>【提言書】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●自然環境を活かした「わんぱく教育」の推進</li> </ul> <p>【施政方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●学校給食については引き続き放射性物質の測定と食材アレルギーへの対応策を継続し、安心・安全でおいしい給食の提供に努める。</li> </ul>	<p>【アンケート】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●健康や体力の問題では、小・中学生で「寝不足である」「疲れがたまっている」「持久力がない」が上位。</li> <li>●健康や体力の問題では、市民で「運動不足である」が5割強。</li> <li>●今の学校生活などでの悩みや困ったことでは、小・中学生で「運動が苦手である」が上位。</li> <li>●担任・担当している学級の子供について、困ったことや問題と感ずることは、「朝、食事をしてこない子供がいる」が25.8%。</li> </ul> <p>【団体等ヒアリング 課題キーワード】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●運動等・活動の場の確保</li> </ul>
④ 国際化 の進展 に向けて	<p>【国】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●グローバル化の進展</li> <li>●「知識基盤社会」の本格的到来（再掲）</li> </ul>	<p>【施政方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●着実に成果を上げている英語教育については、引き続きALTの全校配置を行い、さらなる充実を図る。</li> </ul>	<p>【アンケート】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●戸田市の教育について「良い」とするものは、教職員で「小学校の英語活動」「情報教育」が上位。</li> </ul>

主な課題まとめ	課題解決に向けた方向性	新体系		
<ul style="list-style-type: none"> <li>●学習意欲の向上</li> <li>●学力の維持・向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・楽しく理解しやすい授業の実施に向けた指導力の向上</li> <li>・基礎的・基本的な知識・技能の定着と活用に向けた取組の充実</li> <li>・21世紀型能力<sup>※</sup>の育成を目指した授業改善（アクティブ・ラーニング<sup>※</sup>の実施、協調学習<sup>※</sup>の推進）</li> <li>・苦手教科の克服に向けたきめ細かい指導の充実</li> <li>・ICT教育の充実</li> <li>・学力テストの積極的な活用</li> <li>・キー・コンピテンシー<sup>※</sup>を育成する授業の革新</li> <li>・最適なカリキュラム・デザイン<sup>※</sup>の構築</li> <li>・放課後等を活用した学習支援の充実</li> <li>・家庭と連携した主体的な学習態度の涵養</li> <li>・家庭の教育力向上に向けた支援の充実</li> <li>・家庭と連携した学習習慣の確立</li> <li>・学習機会の確保</li> </ul>	1 やり抜く力を育む教育を推進する ↳ 確かな学力と生徒指導の充実を図る	① 確かな学力の育成 <ul style="list-style-type: none"> <li>●楽しく、わかり、のばす授業の充実（確かな学力の育成）</li> <li>●学習意欲の向上と学習習慣の確立</li> <li>●学習機会の確保と学習支援</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>●生活習慣の乱れ</li> <li>●人を思いやる気持ちの涵養</li> <li>●規範意識の向上</li> <li>●生活体験・社会体験の不足</li> <li>●コミュニケーション力の不足</li> <li>●いじめ・不登校・非行</li> <li>●スマートフォン等の利用に伴う問題への対応</li> <li>●不安・悩みへの対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭・地域と連携した適切な生活習慣の確立【再掲】</li> <li>・生命や人権を尊重する態度の育成</li> <li>・他者を思いやれる社会性・規範意識の涵養</li> <li>・戸田市いじめ防止基本方針による生徒指導体制の強化</li> <li>・戸田市生徒指導アクションプランの実践に基づいた指導体制の充実</li> <li>・自己肯定感の涵養</li> <li>・相談体制の充実</li> <li>・ボランティア活動等、様々な体験学習機会の充実</li> <li>・家庭・地域と連携した多様な世代との交流・体験機会の充実</li> <li>・スマートフォン等の適切な利用に関する指導の充実</li> <li>・不安や悩みを抱える児童生徒・保護者に対する相談支援体制の充実</li> <li>・相談に適切に対応できる教職員の技能向上に向けた取組の充実</li> </ul>		② 豊かな心の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>●情操を豊かにする教育の充実</li> <li>●道徳的実践力や規範意識・社会性の育成</li> <li>●生徒指導と相談・支援体制の充実</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>●適切な生活習慣の定着</li> <li>●体力の維持・向上</li> <li>●運動習慣の定着</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭と連携した健康な食生活・運動習慣の確立</li> <li>・各学校の特色を活かした体育活動の推進</li> <li>・地域の特色を活かした運動機会の充実</li> <li>・自然環境を活かした「わんぱく教育」の推進</li> </ul>		③ 健やかな体の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>●健康・保健教育の推進</li> <li>●健康づくり・体力向上の推進</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>●自分で解決する力の不足</li> <li>●コミュニケーション力の不足</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自ら問題を見つけ、解決する能力の育成</li> <li>・将来の仕事や生活に活用できる知識・技能の定着</li> <li>・持続可能な開発のための教育（ESD）<sup>※</sup>の推進</li> <li>・21世紀型能力<sup>※</sup>の育成を目指した授業改善（アクティブ・ラーニング<sup>※</sup>の実施、協調学習<sup>※</sup>の推進）【再掲】</li> <li>・国語教育の充実</li> <li>・外国語教育の充実</li> <li>・情報教育の充実</li> </ul>		④ 国際人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>●能動的に課題を見つけ対応する力の育成</li> <li>●国際社会で活かせるコミュニケーション力の育成</li> </ul>

<sup>※</sup>21世紀型能力：ある目標を解決するために、他者とともに様々なテクノロジーも活用しながら知識を生み出し、またその過程を通じて新たな目標を発見するような知識を生み出し続ける能力のことです。  
<sup>※</sup>アクティブ・ラーニング：課題の発見と解決に向けて主体的・協働的に学ぶ能動的な学習のことです。  
<sup>※</sup>協調学習：児童生徒一人一人の理解のあり方を尊重し、学び合いの中で一人一人に役割を担わせることによって主体性を引き出し、話し合い、考えの統合を通じ、教科内容を学びながらもコミュニケーション能力や問題解決能力、情報活用能力を育む学習のことです。  
<sup>※</sup>キー・コンピテンシー：個人が人生で成功しながら社会が良好に機能するために必要な能力のことです。特に、以下の性質のものをいいます。・人生の成功や社会の発展にとって有益な能力・さまざまな文脈の中でも重要な要求（課題）に対応するために必要な能力・特定の専門家ではなく、すべての個人にとって重要な能力  
<sup>※</sup>カリキュラム・デザイン：教育課程の独自編成のこと。各学校の教育目標や人材育成目標、子供たちの状況、他教科とのバランスなど様々な要素を勘案し、最適な授業計画を構築することです。  
<sup>※</sup>持続可能な開発のための教育（ESD）：Education for Sustainable Developmentの略。持続可能な社会の担い手を育むため、地球規模の課題を自分のこととして捉え、その解決に向けて自分で考え行動を起こす力を身に付けるための教育のことです。

	社会情勢	市の動向・統計・第2期計画の検証	アンケート調査・団体等ヒアリング調査
⑤ 学びの新しい創造に向けて	<p>【国】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●地域の実情に応じて、学校内外の様々な知恵・資源を取り入れていくことが必要。</li> </ul>	<p>【施政方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●デジタル教科書やパソコンなどにより、ドリル学習ができる学習支援システムなどのデジタル教材を効果的に活用し、楽しくわかる授業を充実する。</li> </ul>	
⑥ 教員の資質向上・支援に向けて	<p>【国】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●引き続ききめ細やかな教育の充実を図るための教職員等の指導体制の整備が必要。</li> <li>●学校等の在り方も、児童生徒の教育の場であるのと同じ時に、多様な人が集まり協力し創造する点として深化していくことが期待される。</li> <li>●ICT等を活用した効果的・効率的なネットワーク形成や校務の改善を図ることが必要。</li> </ul>		<p>【アンケート】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●健康や体力の問題では、教職員で「疲れがたまっている」が最上位（53.9%）。</li> <li>●最近、悩んだり困ったりしたことがあるかでは、教職員で「いつも／ときどきある」が約7割。内容は「学級経営・学習指導のこと」が5割強、「生徒指導のこと」が約4割。</li> <li>●担任・担当している学級の子供について、困ったことや問題と感ずることは、「落ち着いて授業を受けられない子がいる」が最上位（55.2%）。</li> <li>●今後、希望する研修では「わかる授業、興味をもたせる授業のための研修」、「子供の悩みを理解するためのカウンセリング研修」が上位。</li> </ul> <p>【団体等ヒアリング 課題キーワード】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●教員の資質向上</li> <li>●教員を支える仕組み</li> <li>●子供と向き合う時間の確保</li> </ul>
⑦ 学校施設・設備の充実に	<p>【国】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●震災の教訓として、全ての児童・若者が耐震化等安全な学校施設で安心して学ぶことができる環境整備の重要性。</li> </ul>	<p>【施政方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●老朽化した学校施設の大規模改修を計画的に進める。</li> <li>●非構造部材の耐震化は、緊急性が高いことから着実に実施する。</li> </ul>	<p>【アンケート】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●戸田市の教育について、「良い」とするものは、教職員で「教育環境」「学校施設・設備」が上位。</li> </ul>
⑧ 特別支援教育※の充実に	<p>【国】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●インクルーシブ教育※システムの構築に向けた取組の推進</li> </ul>	<p>【施政方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●特別な支援を必要とする児童生徒への対応については、小学校に特別支援学級を増設し、特別支援教育※の充実を図る。</li> <li>●平成26年11月に青山学院大学と締結した包括連携協定に基づき、教育関連事業を実施する。</li> </ul>	<p>【アンケート】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●戸田市らしい教育の推進に向けた取組では、教職員で「特別支援教育※の充実」が上位（34.5%）。</li> <li>●戸田市らしい教育の推進に向けた取組では、市民で「高齢者や障がい者の福祉施設などと連携した体験学習」が最上位（53.3%）。</li> </ul> <p>【団体等ヒアリング 課題キーワード】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●特別支援教育※</li> <li>●発達障がい※</li> </ul>

主な課題まとめ		課題解決に向けた方向性		新体系	
●効果的な学習に向けた支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>●民間の教育力の活用</li> <li>●学習支援器材の充実</li> </ul>	2 よりよい教育環境を整備する ↳ 産官学民及び家庭・地域と連携し、知のリソースの活用を図る	①新しい学びの創造  ②教員の資質向上・支援  ③学校施設・設備の充実  ④特別支援教育※の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>●民間の教育力の活用</li> <li>●学習支援器材の充実</li> </ul>	
●教員の資質向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>●指導力の向上に向けた取組の充実</li> <li>●児童生徒や保護者との相談・コミュニケーション力の向上に向けた取組の充実</li> <li>●情報化・国際化に必要なスキルを身に付けるような資質向上の取組の充実</li> <li>●データベースやいわゆる教員育成指標に基づいた教職員人事の充実</li> <li>●Teach For Japan※との連携による優れた教職員の確保</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>●教員の指導力の向上</li> <li>●教員が児童生徒と向き合える体制づくり</li> <li>●保護者・地域からの信頼の醸成</li> </ul>	
●教員の多忙化	<ul style="list-style-type: none"> <li>●校内業務の効率化及びICTの活用により教員の負担軽減を図る</li> </ul>				
●保護者・地域からの信頼の醸成	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域人材の学校活動への参画推進</li> <li>●学校評価の充実</li> <li>●学校活動の情報発信の推進</li> <li>●地域行事・活動への教職員の参加</li> <li>●学校の地域開放の積極化</li> </ul>				
●問題や悩みをかかえる教員への支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>●教員の健康管理の充実</li> <li>●教員の相談支援体制の充実</li> </ul>				
●安全・安心な環境の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>●附属設備を含む耐震化の推進・老朽化への対応</li> <li>●バリアフリー化の推進</li> <li>●学校施設内の防犯対策の充実</li> <li>●地域・多様な年代間が連携した防災訓練の実施</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>●安全・安心な教育環境の確保</li> <li>●ICT環境の充実</li> </ul>	
●ICT環境の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ICT環境の充実</li> </ul>				
●特別支援教育※の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>●早期支援の実現に向けた相談・支援体制の充実</li> <li>●支援を行う人材の育成・確保</li> <li>●先進的な取組の全校への普及・拡大</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>●特別支援教育※の充実</li> <li>●相談・支援体制の強化</li> </ul>	
●発達障がい※を抱える児童生徒への対応の充実					
●共に学ぶ環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ノーマライゼーションの理念に基づく、共に学ぶ体制の整備</li> </ul>				

※Teach For Japan：すべての子供が素晴らしい教育を受けることができる社会の実現を目指し、子供たちの学習環境の向上と、若者たちのリーダーシップの育成を目的に活動している非営利組織のことです。

	社会情勢	市の動向・統計・第2期計画の検証	アンケート調査・団体等ヒアリング調査
⑨ 家庭・地域の教育力向上に向けて	<p>【国】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●家庭教育や地域での教育が困難となっている。</li> <li>●学校外での学習時間（宿題をする時間）は小・中学校ともに、国際平均より低い。</li> <li>●家庭教育支援も含めた幼児教育の質的向上が課題。</li> </ul>	<p>【施政方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●放課後の学習機会である、とだっ子学習クラブの充実や、家庭においても活用できるICT学習教材の活用により、家庭教育の支援を図る。</li> <li>●子育て支援者を養成し、市民との協働による子育て活動の推進を図る。</li> <li>●子育て支援講座、相談業務を実施し、子育て不安の解消及び児童虐待防止に努める。</li> </ul>	<p>【アンケート】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●子供を取り巻く環境変化について、教職員では「地域の大人たちの子供へのかかわり」〔子供同士の遊び〕〔保護者の子供へのかかわり〕〔子供の生活技術・能力〕で「悪くなった」が6割強。</li> </ul> <p>【団体等ヒアリング 課題キーワード】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●家庭の教育力向上</li> <li>●地域でのボランティア活動の活性化</li> </ul>
⑩ 家庭・学校・地域の連携強化に向けて	<p>【国】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●地域社会等をつながりや支え合いによるセーフティネット機能の低下</li> <li>●人々の孤立化、文化・規範の次世代への継承の困難</li> </ul>	<p>【施政方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●児童・生徒の通学路の安全確保について、地域、警察、関係部署と連携を密にするとともに、交通指導員の配置を増やすなど登下校時における安全対策を推進する。</li> <li>●青少年の健全育成については、青少年団体の活動支援や非行防止の取組を推進するとともに、放課後子ども教室や青少年の居場所の充実に努める。</li> </ul>	<p>【アンケート】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●担任・担当している学級の子供について、困ったことや問題と感ずることは、「生活体験や社会体験が不足している」が約4割、「家族のことで悩んでいる子がいる」が約3割。</li> <li>●小・中学校を地域の子供の放課後の遊び場や居場所、スポーツや文化クラブ活動などの場として活用を図ることについては、教職員、市民とも「放課後の安全な子供の遊び場・居場所として、学校をもっと活用すべきである」が最上位。(約5割)。</li> <li>●戸田市らしい教育の推進に向けた取組では、教職員、市民とも「彩湖・道満グリーンパークを活かした自然体験学習」が上位。</li> </ul> <p>【団体等ヒアリング 課題キーワード】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●居場所づくり</li> <li>●家庭・学校・地域の連携</li> <li>●保護者・学校の連携・信頼醸成</li> <li>●放課後等の活用</li> <li>●安全の確保</li> </ul>
⑪ 生涯学習・生涯スポーツの振興に向けて	<p>【国】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●グローバル化の進展、社会の変化、多様性を踏まえ、生涯を通じて一人一人の潜在能力を最大限伸ばしていくことが必要。</li> </ul>	<p>【施政方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●市民大学では大学との連携を一層深め、市民に多彩な学びの場を提供する。</li> <li>●地域や施設の特性を活かした魅力ある公民館事業を実施する。</li> <li>●図書館は、本館、分室の蔵書を充実する。また、国立国会図書館デジタル化資料送信サービスを導入する。</li> <li>●芸術文化の振興では、市民自ら活躍できる環境を整備し、芸術文化活動の促進を図る。</li> <li>●スポーツ推進については、スポーツ推進計画に基づき、取組を推進する。</li> </ul>	<p>【アンケート】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●戸田市らしい教育の推進に向けた取組では、市民で「彩湖・道満グリーンパークを活かしたアウトドア活動」「ポートコースや彩湖を活かしたボートなどのスポーツ」が上位。</li> </ul> <p>【団体等ヒアリング 課題キーワード】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●文化活動の振興</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律」施行 (H27.4～)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●新しい教育委員会制度への移行 (H27.4～)</li> <li>●地方教育行政における責任の明確化</li> <li>●迅速な危機管理体制の構築</li> <li>●地方公共団体の長と教育委員会との連携強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律」施行 (H27.4～)</li> </ul>

主な課題まとめ	課題解決に向けた方向性	新体系			
● 幼児期からの学びの充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幼稚園・保育園を通じた幼児期の教育の充実</li> <li>・ 家庭の教育力向上に向けた支援の充実【再掲】</li> <li>・ 図書館等と連携した読書活動の充実</li> </ul>	2	よりよい教育環境を整備する く産官学民及び家庭・地域と連携し、知のリソースの活用を図る	⑤ 家庭・地域の教育力向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 就学前教育への支援</li> <li>● 家庭教育への支援</li> <li>● 市民同士の交流・学習機会の充実</li> </ul>
● 生活習慣の乱れ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 適切な生活習慣の確立に向けた情報発信・学習講座等の充実</li> </ul>			⑥ 家庭・学校・地域の連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 教育関連組織・団体活動への支援</li> <li>● 子供の安全な居場所づくり</li> <li>● 青少年の健全育成</li> <li>● 戸田市らしい教育の推進</li> </ul>
● 相談体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 相談支援体制の充実</li> </ul>				
● 放課後等の活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 放課後等を活用した児童生徒の学習支援</li> <li>・ 放課後等を活用した運動機会の提供</li> <li>・ 放課後等を活用した保護者の学習機会の提供</li> </ul>				
● ニーズに合った学習機会の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ いつでもニーズに合った学びを实践できる生涯学習メニューの充実</li> </ul>				
● 子ども会の活性化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子ども会を核とした子供同士・大人同士・地域内のつながりや諸活動の拡大支援</li> <li>・ PTA 活動等、教育に関わる活動を行う団体等の活動に向けた場の提供</li> <li>・ 学校、PTA、地域の連携強化</li> </ul>				
● PTA 活動等への支援					
● 青少年の居場所の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校施設の開放の拡大</li> <li>・ 既存施設の積極的な活用</li> </ul>				
● 犯罪・不審者への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 多様な地域主体と連携した登下校時の見守りの充実</li> <li>・ 不審者情報の円滑な発信</li> </ul>				
● 戸田市らしい教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域人材と連携した学習の推進</li> <li>・ 彩湖・道満グリーンパーク等を活用した自然体験学習の推進</li> <li>・ 市内事業所等と連携した体験学習の推進</li> <li>・ 高齢者や障がい者の福祉施設等と連携した交流・体験学習の推進</li> </ul>				
● 文化活動の振興	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生涯学習活動への図書館・郷土博物館等の積極的な活用</li> <li>・ 芸術文化活動団体間の交流支援</li> </ul>	⑦ 生涯学習・生涯スポーツの振興	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 生涯学習活動の振興</li> <li>● 生涯スポーツ活動の振興</li> </ul>		
● スポーツ活動の振興	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 戸田市の自然等を活かしたスポーツイベントの充実</li> <li>・ スポーツ指導者の育成</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 生涯学習活動の振興</li> <li>● 生涯スポーツ活動の振興</li> </ul>		
				★ 推進体制に関する記載に反映	

## 第3章 計画の基本理念と取組の方向性

---

### 第1節 計画の基本理念とキャッチフレーズ

戸田市の教育をめぐる課題と対応の方向性およびこれまでの教育分野における取組、今後の教育をめぐる社会の動向等を踏まえ、本計画の基本理念とキャッチフレーズを次のとおり定めます。

#### 基本理念

生き生きと 共に育む 教育のまち 戸田

#### キャッチフレーズ

～とだっ子 やり抜く力で 未来に夢を～

## 第2節 計画の基本目標

本計画の基本理念に基づき、施策展開を進める上での方向性を示す基本目標を、次のとおりとします。

### 1 やり抜く力を育む教育を推進する

～確かな学力と生徒指導の充実を図る～

基礎的・基本的な知識・技能の定着と、習得した知識・技能を十分に活用できる確かな学力や、問題に直面した際に解決するために思考を働かせ、行動していく力を育成します。

また、健全な生活習慣を身に付け、思いやりの心と規範意識をもって主体的に行動する、心豊かで健康的な子供を育てる教育を推進します。

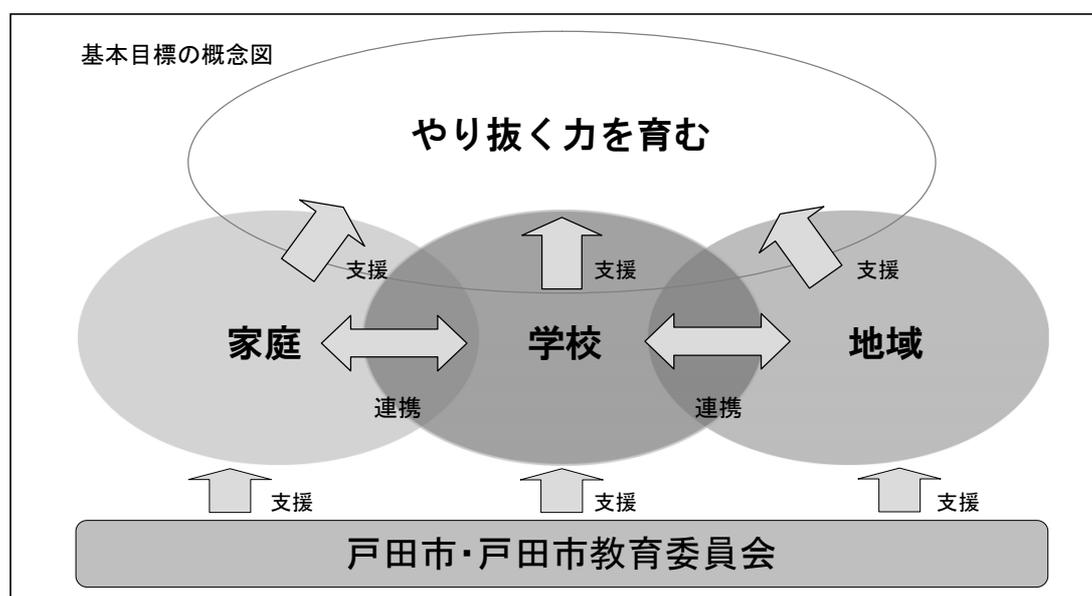
そして、一人一人の様々な違いについて理解し、互いを尊重し支え合う共生の心や、自ら考え、行動する、国際社会や地域社会で活躍できる人材の育成を目指します。

### 2 よりよい教育環境を整備する

～産官学民及び家庭・地域と連携し、知のリソースの活用を図る～

文部科学省や県教育委員会、民間企業や大学など、産官学民との連携を図り、楽しくわかり、学びあい、理解が深まる授業づくりなどの教員の指導力向上、相談への対応力向上をはじめとした教職員の資質向上や、教職員が子供と向き合い、成長を十分にサポートできる体制づくりを推進します。

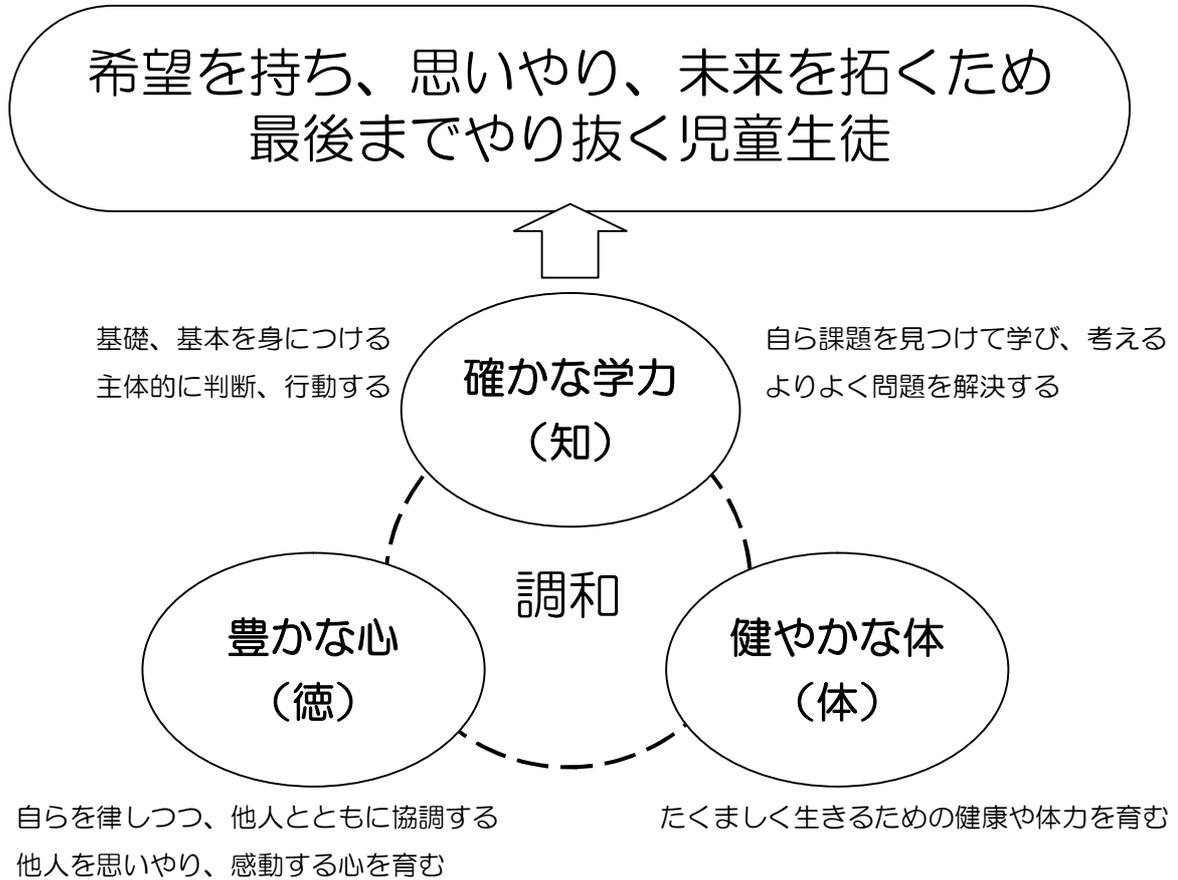
また、各学校の環境や特色を活かした安心・安全な学校づくりと、ICT 環境の整備充実をはじめとした効果的な学びを支援する施設・設備の充実を目指します。そして、開かれた学校づくりや施設開放、学びの機会の確保を通じて、誰もが安心して快適に学べる、よりよい学習環境・教育環境の整備を目指します。



### 第3節 目指す児童生徒像

本計画の基本理念と基本目標に基づき、目指す児童生徒像を次のとおりとします。

#### 目指す児童生徒「とだっ子」像



## 第2編 施策の展開

---

# 施策の体系

基本目標	施策の方向	施策
1 やり抜く力を育む教育を推進する （確かな学力と生徒指導の充実を図る）	1 確かな学力の育成	1 楽しく、わかり、のびす授業の充実
		2 学習意欲の向上と学習習慣の確立
		3 学習機会の確保と学習支援
	2 豊かな心の育成	4 情操を豊かにする教育の充実
		5 道徳的実践力や規範意識・社会性の育成
		6 生徒指導と相談・支援体制の充実
	3 健やかな体の育成	7 健康教育、食育、学校安全の推進
		8 健康づくり・体力向上の推進
	4 国際社会で活躍できる人材の育成	9 能動的に課題を見つけ対応する力の育成
		10 国際社会で活かせるコミュニケーション力の育成
2 よりよい教育環境を整備する （産官学民及び家庭・地域と連携し、知のリソースの活用を図る）	5 新しい学びの創造	11 民間の教育力の活用
		12 学習支援器材の充実
	6 教員の資質向上・支援	13 教員の指導力の向上
		14 教員が児童生徒と向き合える体制づくり
		15 保護者・地域からの信頼の醸成
	7 学校施設・設備の充実	16 安全・安心な教育環境の確保
		17 ICT 環境の充実
	8 特別支援教育※の充実	18 特別支援教育※の充実
		19 相談・支援体制の強化
	9 家庭・地域の教育力向上	20 就学前教育への支援
		21 家庭教育への支援
		22 保護者同士の交流・学習機会の充実
	10 家庭・学校・地域の連携	23 教育関連組織・団体活動への支援
		24 子供の安全な居場所づくり
		25 青少年の健全育成
		26 戸田市らしい教育の推進
	11 生涯学習・生涯スポーツの振興	27 生涯学習活動の振興
		28 文化・スポーツ活動環境の整備

## 主な取組

- 学力向上に向けた取組 ・ 指導力の向上に向けた取組 ・ アクティブ・ラーニング※の推進 ・ 協調学習※の推進
- 家庭での学習への情報提供や支援
- 放課後等を活用した学習支援 ・ 就学支援
- 情操を育む体験・交流活動（自分や他者をいたわる気持ちの涵養 等）
- 道徳の授業の充実 ・ ボランティア活動 ・ 社会体験活動の充実
- 生徒指導の充実 ・ 児童生徒・保護者への相談・支援体制の充実
- 健康教育の充実 ・ 学校における食育の推進 ・ 学校安全の推進
- 体力向上の推進 ・ 部活動の充実
- アクティブ・ラーニング※の実施（再掲） ・ 協調学習※の推進（再掲） ・ 情報教育の推進（ICT 教育等）  
• ESD※の推進
- 国語教育の充実 ・ 外国語教育の充実 ・ 情報教育の推進（ICT 教育等）（再掲）
- 学習塾等と連携した教育支援
- ICT 機器等の積極活用
- 教科指導力の向上に向けた取組 ・ 保護者・地域とのコミュニケーション力強化に向けた取組
- 多忙への対応 ・ 教員の健康管理・相談支援（問題や悩みへの対応含む）
- 学校応援団の充実 ・ 学校評価の推進 ・ 保護者・地域とのコミュニケーション力強化に向けた取組（再掲）
- 教育施設・設備の充実 ・ 学校安全の充実
- ICT 環境の充実
- 特別支援教育※の推進 ・ 共に学ぶ環境づくり
- 早期発見・療育支援、保護者への支援
- 保育園、私立幼稚園への支援 ・ 学びへの興味の醸成
- 適切な生活習慣確立に向けた支援 ・ 家庭への情報提供・相談支援の充実
- 保護者同士の交流・学習機会の充実
- 子ども会活動への支援 ・ PTA 活動等への支援
- 学童保育の充実 ・ 放課後子ども教室の充実 ・ 既存施設の積極的な活用
- 家庭・学校・地域と連携した青少年の健全育成
- 地域の人材・団体・施設等と連携した学習の推進 ・ 自然環境を活かした体験学習の推進
- 市の多様な生涯学習関連施設を活用した学習の推進 ・ 生涯学習団体への支援
- 地域資源を活かした文化・スポーツの推進 ・ 放課後・土曜日の学校施設の開放 ・ 文化活動団体・スポーツ活動団体との連携強化

# 基本目標 1 やり抜く力を育む教育を推進する

## 施策の方向 1 確かな学力の育成

【現状・課題・今後の方向性】

ICT の発達やグローバル化の進行を背景に、本格的に知識基盤社会が到来しており、基礎的・基本的な学力をベースとして、自ら考え、学び、主体的に行動し、問題を解決する資質や能力の育成が一層重要性を増しています。また、経済環境の変化等に伴い就学継続が困難となるケースの増加や、親の経済格差が子供の学力差や進学、就職格差として現れる「格差の固定化」などが社会問題となっています。

本市では、市教育センターにおける研修（アクティブ・ラーニング※を促す指導法等の研修等）の充実や、児童生徒の確かな学力を育成するための学力向上推進委員会の設置、教育センター教科等研究グループ研究員による市内教員の自主的な研修の推進など、教職員の指導力向上に向けた取組を推進してきました。また、小・中学校への「アクティブティーチャー」の配置や放課後・長期休業中の特別授業として、「とだっ子学習クラブ」を実施する「とだっ子ジャンプアップティーチャー」の配置、新しい学びを促すために ICT システムの活用をアドバイスする「ICT レッスンアドバイザー」の配置など、独自の取組の充実も図っています。

一方、アンケートでは、今の学校生活などでの悩みや困ったことで、小学生、中学生とも「成績がなかなか上がらない」「勉強がよくわからない」が上位に挙がっています。また、教職員調査では、担任教員が担当している学級の子供について、困ったことや問題と感ずることとして「勉強がよくわからない子が多い」が上位となっています。そして、小・中学生調査では、学校が「楽しい」の割合が前回調査との比較で減少するなど、課題も見られます。

今後は、児童生徒一人一人の「確かな学力」の育成に向けて、基礎的・基本的な知識及び技能の習得とともに、楽しく、わかり、のばす授業の充実や、指導力向上への取組の充実を図ります。また、家庭での学習への情報提供や支援など、学習意欲の向上と学習習慣の確立を図るとともに、放課後等を活用した学習支援や、就学の継続が困難な状況にある児童生徒に対する支援・援助等を推進します。

■目標指標

指標名	現状（平成 27 年）	目標（平成 32 年）
全国学力・学習状況調査A問題 （国語、算数・数学）の全国平 均正答率と戸田市平均正答率と の差	小学校 国語 -0.7 算数 -0.2	小学校 国語 +1.0 算数 +2.0
	中学校 国語 +0.2 数学 +0.5	中学校 国語 +2.0 数学 +2.5
戸田市教職員専門研修でアクテ ィブ・ラーニング*を取り入れた 実施回数	10 回	20 回
授業の内容がわかる児童生徒の 割合	小学校 88.0%	小学校 90.0%
	中学校 76.0%	中学校 80.0%
平日 1 時間以上家庭学習する児 童の割合	小学校 63.0%	小学校 70.0%
平日 2 時間以上家庭学習する生 徒の割合	中学校 37.5%	中学校 45.0%

## 施策1 楽しく、わかり、のばす授業の充実

アクティブティーチャーやとだっ子ジャンプアップティーチャー、ICT レッスンアドバイザーの小・中学校への配置を通じたきめ細かい指導の充実や、アクティブ・ラーニング※を促す指導法などに関する研究活動や研修等を実施します。

さらに、協調学習※を中心としたアクティブ・ラーニング※の推進を通して、児童生徒一人一人の思考力・判断力・表現力が発揮される指導を行いながら、楽しく、わかり、のばす授業の充実を目指します。

### ●学力向上に向けた取組

- ・アクティブティーチャーやとだっ子ジャンプアップティーチャー、ICT レッスンアドバイザーの小・中学校への配置によるきめ細かい指導の充実
- ・全国学力・学習状況調査、埼玉県学力・学習状況調査、戸田市授業がわかり、興味・関心や意欲をもって取り組んでいる児童生徒の割合に関する調査の分析を踏まえた学力向上対策
- ・児童生徒の確かな学力を育成するための学力向上推進委員会の設置
- ・各学校独自の学力向上推進プラン作成とその実施及び工夫・改善

### ●指導力の向上に向けた取組

- ・教育センター教科等研究グループ研究員による市内教員の自主的な研修の推進
- ・各教科等研究部会による授業研究会・協議会の実施と指導力向上に向けた取組の推進
- ・全小・中学校が市研究指定校となり、それぞれのテーマや課題に応じた研究実践を積み重ねることによる授業改善の推進

### ●アクティブ・ラーニング※の推進

- ・アクティブ・ラーニング※を促す学習環境づくり（外部人材〈ゲストティーチャー、ボランティア、地域の人材〉の活用、実物の活用、地域等学習活動場所の活用、ICT の活用等）の充実
- ・アクティブ・ラーニング※を促す授業展開（協調学習※、問題（課題）解決的な学習、体験学習、調べ学習、グループディスカッション、フィールドワーク、プレゼンテーション、ディベート等）の工夫
- ・アクティブ・ラーニング※を促す指導上の工夫、言語活動の充実（話し合い活動、説明・発表活動、ふり返り活動、ロールプレイ、実験、体験・操作活動、調べ活動、まとめ活動等）の推進
- ・アクティブ・ラーニング※を促す指導法に関する研修の実施

### ●協調学習※の推進

- ・東京大学教育支援コンソーシアム機構（CoREF）との連携
- ・学校の要請に応じた県や市の指導主事及び CoREF 指導者の派遣の調整
- ・CoREF のメーリングリストを活用した協調学習※の情報入手
- ・教育センター教科等研究グループ研究員による協調学習※の研究推進（戸田市版協調学習づくり）
- ・協調学習※マイスター委嘱による指導法の伝達及び研究推進

## 施策2 学習意欲の向上と学習習慣の確立

地域子育て支援拠点事業や絵本のお話会、ブックスタート事業など、幼少期から学びへの興味と意欲を育むとともに、家庭における学習に関する情報提供や相談支援を通じて、学習意欲の向上と学習習慣の確立を目指します。

### ●家庭での学習への情報提供や支援

- ・家庭学習を支援するICTサービス共通教材の実施（学習ナビ、電子百科事典等）
- ・各学校独自の家庭学習の方針作成とその実施
- ・市PTA連合会との連携による家庭学習宣言の実施
- ・民間企業の協力による家庭学習支援

## 施策3 学習機会の確保と学習支援

放課後や長期休業における「とだっ子学習クラブ」等の実施（パソコンやICTサービス共通教材等を活用した学習の支援等）を行います。また、経済的な援助等を通じて、すべての児童生徒が学習を継続できるよう支援を行います。

### ●放課後等を活用した学習支援

- ・放課後における「とだっ子学習クラブ」の計画的・継続的な実施
- ・長期休業における「とだっ子学習クラブ」や「英会話教室」、「水泳教室」等の実施
- ・とだっ子学習クラブ担当者（アクティブティーチャー、とだっ子ジャンプアップティーチャー）や英会話教室担当者（ALT）への研修会実施による指導力向上と共通教材の活用充実
- ・ICTレッスンアドバイザーによるパソコン等を活用した放課後学習支援
- ・日本語指導員派遣事業の実施（教育センター3名配置）

### ●就学支援

- ・就学援助費の支給
- ・入学準備金・奨学資金の貸付
- ・海外留学奨学資金の給与

## 施策の方向 2 豊かな心の育成

### 【現状・課題・今後の方向性】

近年、地域の多様な世代の人との交流が減少する中で、規範意識や社会性の育成が課題となっています。また、いじめや不登校、非行問題など、依然として教育現場における対応が求められているのが現状です。

本市では、青少年の体験学習機会の充実が求められているとの認識のもと、地域の中での様々な職業体験活動など、学校では得られない経験を積むことで豊かな社会性や自律心を養う取組を行っています。

また、「いじめは絶対に許さない」という強い姿勢のもと、学校、家庭、地域、関係機関との連携を強化するとともに、平成 26 年 4 月に各学校では「学校いじめ防止基本方針」を、5 月に市では「戸田市いじめ防止基本方針」を策定しました。さらに、青山学院大学と連携し、作成した「いじめ対応プログラム」は、小学校 6 年生から中学校 3 年生までの全員が、いじめに対する対処の仕方を学ぶものであり、いじめ防止に向けた取組の強化を図ってきております。

市民へのアンケートでは、社会生活に役立つ力をつけるために必要な取組として、教職員、市民とも「集団活動の中で社会性を育む」が最上位に挙がっています。

また、「特に悩みや困ったことはない」が小学生では約 3 割であったのが、中学生になると 1 割強へと低下しています。悩みや困りごとの内容としては、小学生、中学生ともに「自分に自信がない」や「将来進みたい方向がわからない」が上位に挙がっています。

そして、団体等ヒアリングでは、社会性・コミュニケーション力の不足、いじめ・不登校・非行の問題、スマートフォン等の適正利用、自己肯定感の欠如などが課題として挙げられています。

今後は、児童生徒一人一人の「豊かな心」の育成に向けて、読書活動や自然体験、芸術作品等の鑑賞、交流活動など、情操を豊かにする教育の充実を図るとともに、道徳の授業の充実やボランティア活動、社会体験活動を通じて、道徳的实践力や規範意識・社会性の育成を図ります。

また、「戸田市いじめ防止基本方針」に基づき、いじめ問題の未然防止、早期発見・早期解決等の推進を図るとともに、生徒指導と、児童生徒及び保護者に対する相談・支援活動の充実を図ります。

■目標指標

指標名	現状（平成 27 年）	目標（平成 32 年）
国内姉妹・友好都市との交流	24 件	29 件
多世代交流ひろば「わいわいスポット」の実施	5か所	20か所
イベントでの清掃ボランティア	のべ 23 人	のべ 40 人
イベントでの商い体験	のべ 82 人	のべ 100 人
不登校児童生徒の割合	小学校 0.04% (H27.9)	小学校 0.02%
	中学校 1.47% (H27.9)	中学校 1.00%
規律ある態度の達成度	小学校 87% (H26)	小学校 90%
	中学校 91% (H26)	中学校 93%

## 施策4 情操を豊かにする教育の充実

読書活動をはじめ、人や自然と関わる体験活動やボランティア活動等を通じて、他者をいたわる気持ちをはじめとする豊かな情操や、規範意識・社会性の育成を目指します。また、きめ細かい生徒指導を行うとともに、児童生徒及びその保護者を対象とした相談・支援体制を充実することで、情操を豊かにする教育の充実を図ります。

### ●情操を育む体験

- ・彩湖自然学習センターを活用した自然体験授業の実施
- ・みどりの学校ファームを通じた生産活動体験の実施
- ・戸田市文化会館大ホールでの小学校音楽鑑賞会、小・中学校音楽会の実施
- ・市内児童生徒作品展の開催による作品鑑賞の実施

### ●交流活動（自分や他者をいたわる気持ちの涵養 等）

- ・国内姉妹・友好都市との交流（友好交流事業推進委員会）
- ・多世代交流ひろば「わいわいスポット」の実施
- ・全小・中学校にALTを1名常駐配置した国際交流活動の推進
- ・特別支援学級と通常学級とが交流するインクルーシブ教育※システムの充実
- ・小学校キャリア教育、中学校進路指導・キャリア教育の充実（小学生職業疑似体験活動、市内事業所での中学生社会体験チャレンジ事業、進学就職対策活動）

## 施策5 道徳的実践力や規範意識・社会性の育成

道徳の授業を中心とした道徳教育に係る指導や、ボランティア活動・社会体験活動への参加などを通じて、道徳的実践力を育むとともに、規範意識・社会性の育成を目指します。

### ●道徳の授業の充実

- ・授業研究を核とした道徳の教科化へ向けての研修の充実
- ・道徳教育推進教師を中心とした各学校全教職員による一貫性のある道徳教育の推進
- ・私たちの道徳、彩の国の道徳等の計画的な活用

### ●ボランティア活動

- ・ふるさと祭り等イベントでの清掃ボランティア
- ・学校応援団と連携した、ボランティア活動の推進

### ●社会体験活動の充実

- ・商工祭・上戸田ゆめまつり等のイベントでの商い体験
- ・小学校キャリア教育、中学校進路指導・キャリア教育の充実（小学生職業疑似体験活動、市内事業所での中学生社会体験チャレンジ事業、進学就職対策活動）（再掲）

## 施策6 生徒指導と相談・支援体制の充実

教職員や相談員等への研修等を通じて相談・支援に関する資質・能力の向上を図るとともに、児童生徒や保護者へのきめ細かい相談支援体制の充実を図ります。

### ●生徒指導の充実

- ・戸田市生徒指導アクションプランに基づく関係機関の連携強化
- ・「戸田市いじめ防止基本方針」に基づいたいじめ問題の未然防止
- ・戸田市生徒指導支援センター事業の充実
- ・戸田市すこやかサポーター（生徒指導支援員）の配置（各中学校1名配置）
- ・小・中学校生徒指導委員会による小中一貫した指導の推進
- ・非行防止教室の充実
- ・CAPプログラム※の実施
- ・いじめへの対処の仕方を学ぶ「いじめ対応プログラム」の実施（青山学院大学との包括連携）
- ・ネットトラブル、ネットいじめ、ネット依存等への対応研修会の実施

### ●児童生徒・保護者への相談・支援体制の充実

- ・教育相談指導員・教育心理専門員・スクールソーシャルワーカー※・非常勤医師の配置による教育相談体制の充実
- ・日本語指導員の配置による日本語指導の充実
- ・中学校区へのさわやか相談室の設置（さわやか相談員・ボランティア相談員の配置）
- ・学校や関係機関の相互の連携を密にした学校教育相談の充実（中1学校生活アンケートの実施・活用）
- ・学校適応指導教室（ステップ教室）による学校支援体制の充実
- ・いじめへの対処の仕方を学ぶ「いじめ対応プログラム」の実施（青山学院大学との包括連携）（再掲）
- ・生徒指導・教育相談研修会の実施

※CAPプログラム：Child Assault Preventionの略。子どもが、いじめ・虐待・体罰・誘拐・痴漢・性暴力など様々な暴力から自分の心と体を守るための予防教育プログラムです。

## 施策の方向3 健やかな体の育成

### 【現状・課題・今後の方向性】

日常の中で疾病予防や健康づくりに関する情報は豊富になっていますが、健康づくりや運動習慣の定着については、二極化する傾向が全国的にみられています。また、子供の肥満をはじめ、若い世代からの生活習慣病の増加など、現代的な健康課題が多様化、深刻化しています。

本市では、「体力向上チャレンジ事業」をはじめとした、児童生徒体力向上に向けた取組を推進してきました。また、学校給食等を通じた食育の推進など、健康づくりに関する知識の普及と実践に努めています。

アンケートでは、健康や体力の問題では、小学生、中学生とも「寝不足である」「疲れがたまっている」「持久力がない」が上位に挙がっています。また、今の学校生活などでの悩みや困ったことでは、小学生、中学生とも「運動が苦手である」が上位となっています。

そして、団体等ヒアリングでは、運動・活動の場の確保が必要との意見が挙がっています。

今後は、「健やかな体」の育成に向けて、学校保健や食育の充実、家庭や地域と連携しながら、体力向上に向けた取組を進めるとともに、地域人材と連携した部活動の充実を図ります。

### ■目標指標

指標名	現状（平成 27 年）	目標（平成 32 年）
朝食を毎朝食べる児童生徒の割合	小学校 89.4%	小学校 91%
	中学校 85.3%	中学校 88%
新体力テストの総合評価が A・B・C の児童生徒の割合	小学校 79.6%	小学校 82%
	中学校 81.1%	中学校 85%

## 施策7 健康教育、食育、学校安全の推進

学校保健の充実や給食等を通じた食育事業等を通じて、健康・保健知識の向上や、正しい生活習慣、食習慣の形成を図ります。

### ●健康教育の充実

- ・就学時健康診断の実施
- ・定期健康診断の実施
- ・小児生活習慣病予防検診の実施
- ・薬物乱用防止教室、性に関する指導、生活習慣病への対応、心の健康等へ配慮した指導の実施
- ・普通救命講習会、応急手当普及員講習会（AED\*活用を含む）の実施

### ●学校における食育の推進

- ・自校給食の推進・栄養士等と担任の連携による授業
- ・給食食材に埼玉県産食材、市内農産物の活用
- ・各学校における栄養教諭、学校栄養職員等の専門性を活かした食育授業の推進
- ・食に関する知識や能力等を身に付ける体験活動の実施

### ●学校安全の推進

- ・「予想される危機を未然に回避すること」「発生した危機の影響を最小限に抑えること」の両側面からの学校安全体制（危機管理体制）の充実
- ・関係機関と連携した交通安全教室、避難訓練、防犯教室等の実践的活動の実施
- ・防災マニュアルの見直し
- ・関連する教科や特別活動、学校行事を中心とした指導の充実
- ・子どもの安全を守る日の実施
- ・スクールソーシャルワーカーガード養成講習会の開催
- ・高度利用緊急地震速報端末を活用した定期的な防災訓練（全小・中学校）

※AED：Automated External Defibrillator（自動体外式除細動器）の略。心停止状態の際、自動的に解析を行い、必要に応じて電気ショックを与え、心臓を正常なリズムに戻すための医療機器です。

## 施策8 健康づくり・体力向上の推進

運動が好きになる授業などを通じて運動習慣を身に付けるとともに、専門性の高い指導者による部活動の充実などを通じて、児童生徒の健康づくりと体力向上を推進します。

### ●体力向上の推進

- ・体力向上チャレンジ事業の実施（夏休み中のチャレンジてつぼう・とびばこ教室の開催）
- ・なわとび大会の実施（個人・集団）
- ・陸上運動会・球技大会の実施（小学校）
- ・小・中学校体育連盟が推進する学校体育活動の支援
- ・運動部活動に関する地域の指導者の活用
- ・戸田市児童生徒体力向上推進委員会の充実（投力の向上に向けた取組の充実）
- ・児童生徒が主体的に運動する授業の推進
- ・体育会で活躍している学生が参加する「スポーツふれあい体験事業」の実施（青山学院大学との包括連携）

### ●部活動の充実

- ・戸田市中学校部活動指導員の承認（運動部活動に関する地域の指導者の活用）

## 施策の方向 4 国際社会で活躍できる人材の育成

### 【現状・課題・今後の方向性】

グローバル化の進展に伴い様々な分野で国際化が進む中で、能動的にコミュニケーションをとり、積極的に課題に立ち向かっていく力を養うとともに、日常生活においても、異文化理解、国際理解を深めていくことが不可欠となっています。

本市では、全国に先駆けて小学校での英語教育活動を実施し、現在では ALT の全校配置を行う中で、英語教育での成果を着実に上げています。

アンケートでは、戸田市の教育で「良い」ものとして、教職員で「小学校の英語活動」や「情報教育」が上位に挙がっています。

一方、団体等ヒアリングでは、自分で解決する力の不足や、コミュニケーション力の不足に関する課題が多く挙がっています。

今後は、国際社会で活躍できる人材の育成に向けて、アクティブ・ラーニング<sup>※</sup>や協調学習<sup>※</sup>、ESD<sup>※</sup>など、能動的に課題を見つけ対応する力の育成を図るとともに、引き続き ALT の全校配置や ICT 教育の充実など、国際社会で活かせるコミュニケーション力の育成を図ります。

### ■目標指標

指標名	現状（平成 27 年）	目標（平成 32 年）
全国学力・学習状況調査 B 問題（国語、算数・数学）の全国平均正答率と戸田市平均正答率との差	小学校 +1.0 ポイント	小学校 +3.0 ポイント
	中学校 -0.5 ポイント	中学校 +1.5 ポイント
中学校卒業時の英検 3 級以上取得率	25%	50%

## 施策 9 能動的に課題を見つけ対応する力の育成

アクティブ・ラーニング<sup>※</sup>や協調学習<sup>※</sup>、将来の仕事や生活に応用できる知識・技能の習得、持続可能な発展のためのESD<sup>※</sup>など、地域の多様な人材と連携しながら、能動的に課題を見つけ対応する力の育成に向けた取組を推進します。

### ●アクティブ・ラーニング<sup>※</sup>の実施（再掲）

- ・アクティブ・ラーニング<sup>※</sup>を促す学習環境づくり（外部人材〈ゲストティーチャー、ボランティア、地域の人材〉の活用、実物の活用、地域等学習活動場所の活用、ICTの活用等）の充実
- ・アクティブ・ラーニング<sup>※</sup>を促す授業展開（協調学習<sup>※</sup>、問題（課題）解決的な学習、体験学習、調べ学習、グループディスカッション、フィールドワーク、プレゼンテーション、ディベート等）の工夫
- ・アクティブ・ラーニング<sup>※</sup>を促す指導上の工夫、言語活動の充実（話し合い活動、説明・発表活動、ふり返し活動、ロールプレイ、実験、体験・操作活動、調べ活動、まとめ活動等）の推進
- ・アクティブ・ラーニング<sup>※</sup>を促す指導法に関する研修の実施

### ●協調学習<sup>※</sup>の推進（再掲）

- ・東京大学教育支援コンソーシアム機構（CoREF）との連携
- ・学校の要請に応じた県や市の指導主事及びCoREF指導者の派遣の調整
- ・CoREFのメーリングリストを活用した協調学習<sup>※</sup>の情報入手
- ・教育センター教科等研究グループ研究員による協調学習<sup>※</sup>の研究推進（戸田市版協調学習<sup>※</sup>づくり）
- ・協調学習<sup>※</sup>マイスター委嘱による指導法の伝達及び研究推進

### ●情報教育の推進（ICT教育等）

- ・小・中学校の全教室に整備したICT機器等を活用した授業の推進（大型テレビ、ノートパソコン、実物投影機、ワイヤレスペンタブレット、タブレットパソコン等）
- ・指導者用デジタル教科書（国語・書写、社会、算数・数学、理科）を使った授業のICT化
- ・ICT機器等の整備による教育センター研修機能の充実（協働的な学びなどICTの特長を最大限に活かした授業づくりに係る研修会の実施、ICT機器等の活用に係る研修会の実施）
- ・戸田市ICT活用学力向上部会の設置
- ・校務の情報化を図るための機器等整備（校務支援システムの活用、情報セキュリティの向上、蔵書管理システムの活用）
- ・ICTレッスンアドバイザーによるパソコン等を活用した放課後学習支援（再掲）

### ●ESD<sup>※</sup>の推進

- ・全教育活動を通じた組織的な環境教育の実施
- ・戸田市学校版環境ISOの充実
- ・エコライフデーの取組の充実

## 施策 10 国際社会で活かせるコミュニケーション力の育成

国語の学習で身に付けた言語能力を基礎として、他の教科と連携しながら、国語教育を推進します。また、ALTの全校配置継続など、英語を中心とする外国語教育の推進を図ります。そして、ICTの活用やスマートフォン等の適正利用の周知を通じて、情報教育の充実を図ります。

### ●国語教育の充実

- ・「単元を貫く言語活動」の推進
- ・指導用デジタル教科書の整備とその積極的な活用推進
- ・本好きサポーターの配置による学校図書館教育の充実

### ●外国語教育の充実

- ・全小・中学校にALTを1名常駐配置した外国語教育の充実
- ・英語教育連携事業の実施（青山学院大学との連携による、小・中学校の教員の英語指導力の向上）
- ・小学校1年生からの英語活動の実施
- ・中学校－CAN-DOリストを活用した英語授業の実施
- ・ALL ENGLISHを基本とする授業の実施（中学校）
- ・小中一貫した英語教育を推進する戸田市英語教育研究推進委員会の設置
- ・ALTとの日常的なコミュニケーション活動の実施

### ●情報教育の推進（ICT教育等）（再掲）

- ・小・中学校の全教室に整備したICT機器等を活用した授業の推進（大型テレビ、ノートパソコン、実物投影機、ワイヤレスペンタブレット、タブレットパソコン等）
- ・指導者用デジタル教科書（国語・書写、社会、算数・数学、理科）を使った授業のICT化
- ・ICT機器等の整備による教育センター研修機能の充実（協働的な学びなどICTの特長を最大限に活かした授業づくりに係る研修会の実施、ICT機器等の活用に係る研修会の実施）
- ・戸田市ICT活用学力向上部会の設置
- ・校務の情報化を図るための機器等整備（校務支援システムの活用、情報セキュリティの向上、蔵書管理システムの活用）
- ・ICTレッスンアドバイザーによるパソコン等を活用した放課後学習支援

## 基本目標 2 よりよい教育環境を整備する

### 施策の方向 5 新しい学びの創造

【現状・課題・今後の方向性】

時代の変化に伴い、学校教育に求められる資質・能力の育成について、家庭と学校の中だけで完結することは困難となっています。地域の実情にに応じて、学校内外の様々な知恵や資源を積極的に取り入れていくことが必要となっています。

本市では、デジタル教科書やドリル学習ができる学習支援システムなど、デジタル教材を積極的に活用した、楽しくわかる授業の充実を目指しています。

デジタル教材の導入と活用や、放課後等における学習支援にあたっては、民間のノウハウを積極的に活かします。

今後は、時代の要請に応える「新しい学びの創造」に向けて、民間の教育力の活用や ICT 機器等の積極的な活用を図ります。

#### ■目標指標

指標名	現状（平成 27 年）	目標（平成 32 年）
民間による学校支援日数	のべ 50 日	のべ 640 日
新しい学びを促す ICT システムの活用している学校	4 校	18 校

## 施策 11 民間の教育力の活用

デジタル教材の効果的な導入と活用や、放課後等における児童・生徒への学習支援に向けて、民間の教育力の活用を図ります。

### ●学習塾等と連携した教育支援

- ・放課後や夏季休業中の学習支援
- ・教員と塾講師が連携した学習指導の充実
- ・ベネッセコーポレーションとの包括連携を活かした教育力の活用
- ・民間の教育資源の活用を図る「知のリソース活用プロジェクト」の推進

## 施策 12 学習支援器材の充実

時代の要請に応える新しい学びの創造に向けて、デジタル教科書やドリル学習ができる学習支援システムの導入を図ります。

### ●ICT機器等の積極活用

- ・小・中学校の全教室に整備した ICT 機器等を活用した授業の推進（大型テレビ、ノートパソコン、実物投影機、ワイヤレスペンタブレット、タブレットパソコン等）
- ・指導者用デジタル教科書（国語・書写、社会、算数・数学、理科）の積極的な活用
- ・ICT 機器等の整備による教育センター研修機能の充実（協働的な学びなど ICT の特長を最大限に活かした授業づくりに係る研修会の実施、ICT 機器等の活用に係る研修会の実施）
- ・戸田市 ICT 活用学力向上部会の設置
- ・校務の情報化を図るための機器等整備（校務支援システムの活用、情報セキュリティの向上、蔵書管理システムの活用）
- ・ICT レッスンアドバイザーによるパソコン等を活用した放課後学習支援（再掲）
- ・タブレット端末やデジタル教材を使った児童の学びの実現
- ・新しい学びを促す ICT システムの活用

## 施策の方向6 教員の資質向上・支援

### 【現状・課題・今後の方向性】

時代の変化等を背景に、教職員に対する家庭・地域からの期待や要望は増大する傾向にあり、それに伴い、一人一人の教職員の指導力・対応力の向上が求められています。

一方、教員の多忙化は教育現場における大きな課題となっており、その解決に向けた取組の推進が必要となっています。

また、学校の在り方についても、従来通り児童生徒の教育の場であると同時に、地域の学びの拠点として深化させていくことが期待されています。

教職員のアンケートでは、健康や体力の問題として「疲れがたまっている」が最上位に挙がっています。また、最近、悩んだり困ったりしたことが「いつも/ときどきある」が約7割と多く、内容では「学級経営・学習指導のこと」や「生徒指導のこと」が上位となっています。

また、今後、希望する研修では「わかる授業、興味をもたせる授業のための研修」、「子供の悩みを理解するためのカウンセリング研修」が上位となっています。

そして、団体等ヒアリングでは、教員の資質向上、教員を支える仕組み、子供と向き合う時間の確保に関する課題が挙がっています。

今後は、教員の資質向上・支援に向けて、教員の指導力の向上につながる研修や専門的指導等を充実するとともに、ICT等を活用した効果的・効率的なネットワーク形成や校務の改善を図ります。

また、学校応援団の充実や、学校評価、学校開放の充実等、保護者・地域からの信頼の醸成に向けた取組の推進を図ります。

### ■目標指標

指標名	現状（平成27年）	目標（平成32年）
戸田市教職員専門研修参加人数	のべ197人	のべ250人

## 施策 13 教員の指導力の向上

研修の実施や経験豊かな教員による指導等、教科指導力の向上に向けた取組や、保護者や地域とのコミュニケーション力の強化に向けた取組などを通じて、教員の指導力の向上を図ります。

### ●教科指導力の向上に向けた取組

- ・教職員専門研修等による指導法研修会の実施
- ・「近未来に求められる学び」研修会の実施（教育センター教育研究室の活用、タブレットパソコン等 ICT 活用研修会の実施）
- ・戸田市教職員専門研修の充実
- ・教育センター研究員事業の充実
- ・ライフステージに応じた研修会（臨時的任用教員研修会、初任者研修、5年・10年・20年経験者研修）
- ・デジタル教科書の活用推進を図る研修会の実施
- ・戸田市教育フェスティバルの実施
- ・研究委嘱校の研究の支援

### ●保護者・地域とのコミュニケーション力強化に向けた取組

- ・戸田市学校応援団実行委員会及び4地区学校応援団の活動支援
- ・戸田市学校応援団の活動支援
- ・学校応援コーディネーター研修会の実施
- ・市内学校公開日の設定（彩の国教育の日）
- ・学校ホームページの公開と継続的な更新による情報提供
- ・教育広報「とだ」の編集・発行と市民への配布を通じた相互理解の推進
- ・「広報戸田市」・「ふれあい戸田」等の情報メディアを通じた市民への積極的な広報の推進
- ・各学校における特色ある学校づくりの支援

## 施策 14 教員が児童生徒と向き合える体制づくり

校務の効率化などを通じた教員の多忙への対応や、経験豊かな教員や専門家等を交えた教員のかかえる問題や悩みへの対応、また教員の健康管理・相談支援などを通じて、教員が児童生徒と向き合える体制づくりを推進します。

### ●多忙への対応

- ・（仮称）戸田市小・中学校負担軽減検討委員会の設置
- ・校長会・教頭会との連携
- ・文部科学省地方教育アドバイザー制度の活用

### ●教員の健康管理・相談支援（問題や悩みへの対応含む）

- ・教職員定期健康診断の実施
- ・産業医・健康管理医の配置
- ・ストレスチェックの実施

## 施策 15 保護者・地域からの信頼の醸成

地域の様々な人が学校教育に関わり支える学校応援団の充実や、地域の目で学校を検証する学校評価制度の推進、地域の人々が安心して活動・交流しながら学校への理解を深める学校開放の推進等を通じて、保護者や地域からの信頼の醸成を図ります。

### ●学校応援団の充実

- ・戸田市学校応援団実行委員会及び4地区学校応援団の活動支援（再掲）
- ・戸田市学校応援団の活動支援（再掲）
- ・学校応援コーディネーター研修会の実施（再掲）

### ●学校評価の推進

- ・生徒、保護者、教員による学校評価アンケートの実施

### ●保護者・地域とのコミュニケーション力強化に向けた取組（再掲）

- ・戸田市学校応援団実行委員会及び4地区学校応援団の活動支援
- ・戸田市学校応援団の活動支援
- ・学校応援コーディネーター研修会の実施
- ・市内学校公開日の設定（彩の国教育の日）
- ・学校ホームページの公開と継続的な更新による情報提供
- ・教育広報「とだ」の編集・発行と市民への配布を通じた相互理解の推進
- ・「広報戸田市」・「ふれあい戸田」等の情報メディアを通じた市民への積極的な広報の推進
- ・各学校における特色ある学校づくりの支援

## 施策の方向 7 学校施設・設備の充実

### 【現状・課題・今後の方向性】

東日本大震災を契機に、子供たちが多くの時間を費やす学校施設・設備の安全確保が大きな課題となっています。

本市では、老朽化した学校施設の大規模改修を計画的に進めるとともに、非構造部材の耐震化についても、緊急性が高いことから着実に実施することとしています。

教職員のアンケートでは、戸田市の教育で「良い」ものは「教育環境」「学校施設・設備」が上位に挙がっています。

今後は、安全・安心な教育環境の確保に向けて計画的な施設の長期化や改築等の実施を進めるとともに、ICT 環境の整備など、学校施設・設備の充実を図ります。

### ■目標指標

指標名	現状（平成 27 年）	目標（平成 32 年）
公共施設中長期保全計画実施 学校数	のべ 3 校	のべ 19 校
設置場所を限定しない可動式 コンピュータの配置	0 校	18 校

## 施策 16 安全・安心な教育環境の確保

児童・生徒及び教職員の安全・安心な教育環境の確保に向けて、施設の長期化や改築等の実施を進め、学校教育上の様々なニーズに対応できる学校施設・設備の充実を図ります。

### ●教育施設・設備の充実

- ・事務機器等の更新及び保守の実施
- ・学習教材の修繕及び更新の実施
- ・学校設備の保守点検の実施
- ・学校施設の修繕、改築の実施

### ●学校安全の充実

- ・子どもの安全を守る日の推進
- ・スクールガード養成講習会の開催
- ・高度利用緊急地震速報端末による定期的な防災訓練（全小・中学校）

## 施策 17 ICT環境の充実

情報教育や新しい学びの推進、校務の効率化など、多様な教育課題への対応に向けて、学校施設の ICT 環境の充実を図ります。

### ●ICT環境の充実

- ・無線 LAN 環境の整備
- ・拠点間ネットワークの超高速回線化の実施
- ・LTE 回線を使用可能なタブレット型パソコンの導入
- ・各種システムの更改

## 施策の方向 8 特別支援教育の充実

### 【現状・課題・今後の方向性】

ノーマライゼーションの理念をさらに発展させ、一人一人の特性に応じた配慮が行われる中、障がいのある人もない人も共に学ぶインクルーシブ教育※システムの構築に向けた取組の推進が図られています。

本市では、支援員の配置や「サポート手帳」の活用、あるいは小学校に特別支援学級や通級指導教室の設置を行うなど、特別支援教育※に注力してきました。

アンケートでは、戸田市らしい教育の推進に向けた取組について、教職員で「特別支援教育※の充実」が上位に挙がっており、また市民で「高齢者や障がい者の福祉施設などと連携した体験学習」が最上位となっています。

団体等ヒアリングでは、特別支援教育※の充実や発達障がい※への対応に関する事項が多く挙げられています。

今後は、特別支援教育※の充実に向けて、インクルーシブ教育※システムの構築を念頭に置いた取組を進めるとともに、相談・支援体制の強化に向けて、関係部署・関係機関の一層の連携強化等を図ります。

### ■目標指標

指標名	現状（平成 27 年）	目標（平成 32 年）
特別支援学級の設置率	50%	60%
障害児相談支援利用者数	20 人	140 人
1 歳 8 か月児健診、3 歳 6 か月児健診の平均受診率	94.1%	96%

## 施策 18 特別支援教育の充実

障がいのある児童生徒や学習障がい（LD）※、注意欠陥多動性障がい（ADHD）※、高機能自閉症※等の児童生徒が、それぞれのニーズに応じたきめ細かい指導を受けるとともに、通常学級との交流・共同学習を積極的に行うなど、ノーマライゼーションの理念に基づく特別支援教育の充実を図ります。またさらに、障がいのある人もない人も共に学ぶインクルーシブ教育※システムの構築に向けた取組の推進を図ります。

### ●特別支援教育※の推進

- ・特別支援教育※に関する研修の充実（授業のユニバーサルデザイン※化を進めるための研修会、特別支援教育新担当者育成研修会、特別支援教育※コーディネーター研修会、特別支援教育※研修会）
- ・就学相談・発達相談の充実（教育センターに教育相談指導員、教育心理専門員、スクールソーシャルワーカー※を配置）
- ・発達障がい※に係る専門医による発達相談
- ・戸田市発達支援巡回相談員の派遣
- ・「サポート手帳」（とだっ子ファイル）の活用推進
- ・通常学級支援籍等の交流及び共同学習の推進
- ・特別支援学校のセンター的機能の活用
- ・埼玉県特別支援教育※推進専門員の活用
- ・特別支援教育※・通級による指導の充実

### ●共に学ぶ環境づくり

- ・小・中学校の施設管理・施設整備
- ・小・中学校備品の購入

## 施策 19 相談・支援体制の強化

教育心理専門員や医師等と連携し、障がいの早期発見と療育を開始する体制づくりを進めるとともに、保護者への相談・支援を行う中で、不安や悩みの軽減を図ります。

### ●早期発見・療育支援、保護者への支援

- ・障害児相談支援を利用した通所療育支援
- ・乳幼児健診からの早期発見・支援、保健指導の実施
- ・就学に係る説明会・個別相談会の実施、関係機関との連携による支援

## 施策の方向 9 家庭・地域の教育力向上

### 【現状・課題・今後の方向性】

社会構造の変化等に伴い、家庭教育や地域での教育が難しくなっています。また、学校外での学習時間は小・中学校とも国際平均より低い状況にあり、さらにその中でも二極化が進んでいる状況も指摘されています。また、幼児期の教育に関して、家庭教育支援も含めた質的向上が課題となっています。

本市では、放課後の学習機会である「とだっ子学習クラブ」の充実や、家庭においても活用できるICT学習教材の活用により、家庭教育の支援を図っています。また、子育て支援者を養成し、市民との協働による子育て活動の推進や、子育て支援講座、相談業務を実施し、子育て不安の解消及び児童虐待防止に努めるなど、家庭や地域における教育支援に努めています。

教職員のアンケートでは、子供を取り巻く環境変化に関して〔地域の大人たちの子供へのかかわり〕〔子供同士の遊び〕〔保護者の子供へのかかわり〕〔子供の生活技術・能力〕の項目で「悪くなった」の割合が6割強と高くなっています。

また団体等ヒアリングでは、家庭の教育力の向上や、地域でのボランティア活動の活性化に関する意見が挙がっています。

今後は、家庭・地域の教育力向上に向けて、保育園や私立幼稚園など就学前教育への支援を行うとともに、学習活動の充実を図ります。また、幼少期から学びに興味を持てる取組の推進を図ります。

そして、家庭教育への支援に向けて、適切な生活習慣の確立に資する講座の開催や、家庭での教育に関する情報提供・相談支援の充実を図るとともに、保護者同士の交流・学習機会の充実等を図ります。

### ■目標指標

指標名	現状（平成 27 年）	目標（平成 32 年）
男女共同参画啓発事業数	15 事業	20 事業
3歳6か月児健診における、21時までに就寝する児の割合	56%	70%
民間保育所補助金、私立幼稚園振興補助金交付園数	34 園	44 園
子育て支援センター利用者数	のべ 12,089 人	のべ 13,000 人

## 施策 20 就学前教育への支援

保育園や私立幼稚園の円滑な運営に向けて、補助・助成を行うとともに、保育園や幼稚園における学習活動の充実を図ります。また、幼少期から学びに興味を持てる取組を推進します。

### ●保育園、私立幼稚園への支援

- ・民間保育所補助金、私立幼稚園振興補助金の交付（公立園を除く。）

### ●学びへの興味の醸成

- ・子育て支援センターを拠点とした地域の家庭の育児支援の実施

## 施策 21 家庭教育への支援

家庭教育力向上に向けて、適切な生活習慣の確立に資する講座の開催や、家庭での教育に関する情報提供・相談支援の充実を図ります。

### ●適切な生活習慣確立に向けた支援

- ・乳幼児健診における保健指導の実施

### ●家庭への情報提供・相談支援の充実

- ・男女共同参画に関する啓発の実施
- ・「戸田市子育て応援ブック」の発行・配布

## 施策 22 保護者同士の交流・学習機会の充実

子育て中の保護者同士が交流し、共に学べる機会の充実を図るとともに、保護者のニーズに合った交流・学習環境の充実を図ります。

### ●保護者同士の交流・学習機会の充実

- ・保育園・幼稚園入園前の親子を対象にした子育て支援講座の実施
- ・小学校就学児健康診断・中学校入学説明会実施時の保護者向け参加型学習・子育て講座の実施
- ・戸田公園駅前行政センター及び学童保育室等における、乳幼児と保護者が相互の交流を図る場の設置や、アドバイザー等による育児相談を受けられる場の設置

## 施策の方向 10 家庭・学校・地域の連携

### 【現状・課題・今後の方向性】

近年、地域でのつながりや支え合いによるセーフティネット機能の低下や、地域の中での孤立化、あるいは文化・規範の次世代への継承などが課題となっています。

本市では、児童・生徒の通学路の安全確保について、地域、警察、関係部署との連携を密に行うとともに、交通指導員の配置など、登下校時における安全対策を推進しています。また、青少年団体の活動支援や非行防止の取組を推進するとともに、放課後子ども教室や青少年の居場所の充実に努めています。

アンケートでは、担任・担当している学級の子供について、困ったことや問題と感ずることとして「生活体験や社会体験が不足している」が約4割、「家族のことで悩んでいる子がいる」が約3割となっています。また、小・中学校の活用については、教職員、市民とも「放課後の安全な子供の遊び場・居場所として、学校をもっと活用すべきである」が最上位となっています。そして、戸田市らしい教育の推進に向けた取組では、教職員、市民とも「彩湖・道満グリーンパークを活かした自然体験学習」が上位に挙がっています。

また、団体等ヒアリングでは、居場所づくり、家庭・学校・地域の連携、保護者・学校の連携・信頼醸成、放課後等の活用、安全の確保に関する意見が挙がっています。

今後は、家庭・学校・地域の連携の強化に向けて、子ども会や PTA 活動等、教育関連組織・団体活動への支援を行うとともに、学童保育の充実や学校施設等の有効活用など、子供の安全な居場所づくりの充実に努めます。

また、地域全体での見守りや相談支援など、青少年の健全育成を行うとともに、豊かな地域の人材や自然等を活かした戸田市らしい教育の推進を図ります。

### ■目標指標

指標名	現状（平成 27 年）	目標（平成 32 年）
ボランティア・市民活動支援センターの登録団体数	174 団体	199 団体
青少年の居場所実施施設数	4 施設	6 施設
（仮）彩湖自然学習サポーターの養成及び登録者数	0 人	20 人

## 施策 23 教育関連組織・団体活動への支援

子ども会活動や PTA 活動等、地域でのつながりと教育支援の核となる組織や団体活動への支援を行います。

### ●子ども会活動への支援

- ・地区子ども会の加入促進への支援（市と子ども会のホームページのリンク設定、活動内容の市広報やCATVの情報番組への掲載）
- ・子ども会補助金の交付

### ●PTA活動等への支援

- ・子育て講演会、人権講演会の実施
- ・PTA 助成金の交付

## 施策 24 子供の安全な居場所づくり

学童保育や放課後・土曜日の学校施設の開放、既存施設の積極的な活用により、子供の安全な居場所づくりの充実を図ります。

### ●学童保育の充実

- ・小学校6年生までの児童の放課後保育を通じた、児童の健全育成の推進
- ・民間活力の導入（ニーズの高い地域への民間学童保育室の誘致）

### ●放課後子ども教室の充実

- ・小学校の放課後の体育館、校庭、余裕教室等を活用した、地域住民の協力による児童の遊びや文化活動等の推進

### ●既存施設の積極的な活用

- ・公共施設の空いている諸室の開放による、青少年への居場所の提供
- ・児童・生徒の居場所としての児童センタープリムローズ、こどもの国の機能の充実

## 施策 25 青少年の健全育成

家庭・学校・地域が連携し、地域全体での見守りや相談支援を行うなど、青少年の健全育成を推進します。

### ●家庭・学校・地域と連携した青少年の健全育成

- ・ 民生（児童）委員による見守り活動、子供たちの不安や心配事などの相談・支援
- ・ 保護司による犯罪防止活動の実施
- ・ 各種青少年団体との協力による健全育成の啓発活動、地域の巡回活動の実施による青少年の非行防止

## 施策 26 戸田市らしい教育の推進

地域の豊かな人材や団体、施設等と連携するとともに、彩湖など地域の自然環境を活かしながら、戸田市らしい教育の推進を図ります。

### ●地域の人材・団体・施設等と連携した学習の推進

- ・ ボランティア・市民活動支援センターでの各種事業の実施

### ●自然環境を活かした体験学習の推進

- ・ 自然環境調査研究・講座開催
- ・ 彩湖自然学習センター施設内展示

## 施策の方向 11 生涯学習・生涯スポーツの振興

### 【現状・課題・今後の方向性】

グローバル化の進展や、社会の変化、多様化等を踏まえ、生涯を通じて一人一人の潜在能力を最大限伸ばしていくことが必要となっています。

また、高齢化が進展する中、生涯にわたって、健康維持や介護予防などに取り組むことが求められています。

本市では、市民大学において大学との連携を一層深め、市民に多彩な学びの場を提供するとともに、地域や施設の特性を活かした魅力ある公民館事業の実施を図っています。

また、図書館蔵書の充実や、芸術文化活動において、市民自らが活躍できる環境を整備し、芸術文化活動の促進を図るとともに、スポーツ推進計画に基づき、取組を推進しています。

市民のアンケートでは、戸田市らしい教育の推進に向けた取組として「彩湖・道満グリーンパークを活かしたアウトドア活動」や「ボートコースや彩湖を活かしたボートなどのスポーツ」が上位に挙がっています。

また、団体等ヒアリングでは、文化活動の振興についての課題が挙げられています。

今後は、生涯学習の振興に向けて、市の多様な生涯学習関連施設を活用した学習の推進を図るとともに、生涯学習団体への支援の充実を図ります。

また、生涯スポーツの振興に向けて、自然環境を活かした生涯スポーツを推進するとともに、スポーツ指導者の育成や、生涯スポーツ団体への支援の充実を図ります。

### ■目標指標

指標名	現状（平成 27 年）	目標（平成 32 年）
市民大学参加者数	のべ 2,730 人	のべ 2,870 人
水辺のスポーツ教室参加者数	のべ 190 人	のべ 250 人
プロ選手・プロ芸術家と触れ合えるイベント数	0 回	2 回

## 施策 27 生涯学習活動の振興

市の多様な生涯学習関連施設を活用した学習の推進を図るとともに、生涯学習団体への支援の充実を図ります。

### ●市の多様な生涯学習関連施設を活用した学習の推進

- ・指定管理者と協力し、2カ所の児童センターの管理運営
- ・市民大学講座の実施
- ・大学との連携講座、市民による自主企画講座、講演会など全庁的な取組の実施

### ●生涯学習団体への支援

- ・公民館まつりの実施

## 施策 28 文化・スポーツ活動環境の整備

地域資源を活かした生涯スポーツを推進するとともに、文化・スポーツ活動における指導者の育成や、団体への支援・連携の充実、強化を図ります。

### ●地域資源を活かした文化・スポーツの推進

- ・水辺のスポーツ教室事業
- ・文化・スポーツ各種イベント開催事業
- ・既存施設の有効活用

### ●放課後・土曜日の学校施設の開放

- ・スポーツの普及や競技団体等の育成のため、身近でスポーツを楽しめる市内小・中学校の施設開放の促進

### ●文化活動団体・スポーツ活動団体との連携強化

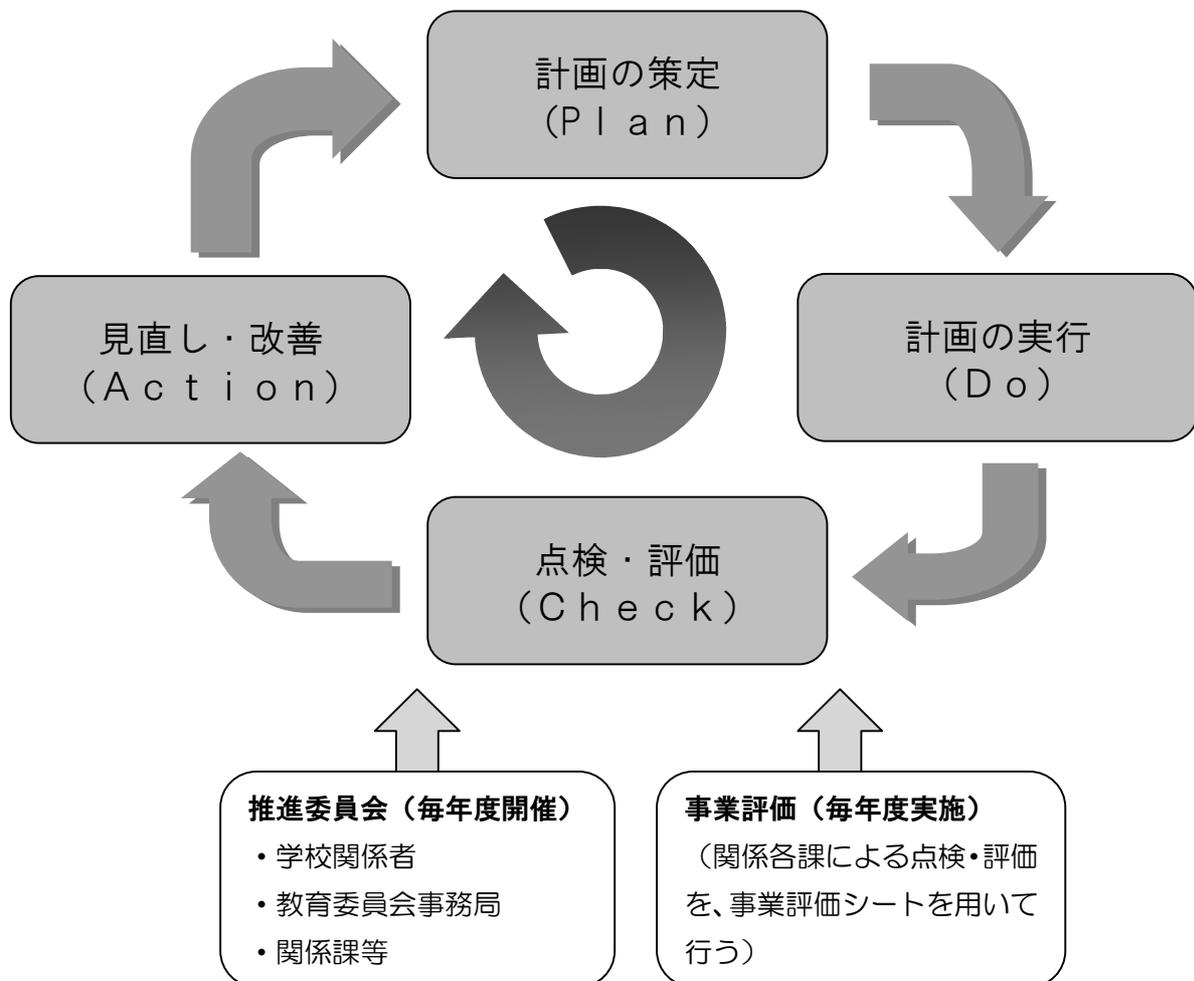
- ・地域で活動する各種競技団体、協会などとの連携を強化
- ・各種団体などの指導者等の育成

# 計画の推進に向けて

本計画の推進に向けて、学校関係者・教育委員会事務局・関係課等で構成する推進委員会を設置します。

また、計画の進行管理に当たっては、PDCAサイクルに沿って行います。計画内容に沿って事業を推進する中で、事業評価の実施を通じて毎年度の進捗について関係各課にてチェックを行います。そして実施された事業評価をもとに、推進委員会において改善に向けた検討を行います。さらに、推進委員会の検討内容をもとに、関係課による次年度予算に反映するための実務的検討を行います。

## ■PDCA サイクルに基づく計画の推進イメージ



## 資料編

---

# 用語解説

	用語	内容	関連ページ
あ	アクティブ・ラーニング	課題の発見と解決に向けて主体的・協働的に学ぶ能動的な学習のことです。	63、73、74、75、76、85、86
	インクルーシブ教育	障がいの有無に関わらず、誰もが地域の学校で学べる教育のことです。	7、64、80、95、96
	AED	Automated External Defibrillator（自動体外式除細動器）の略。心停止状態の際、自動的に解析を行い、必要に応じて電気ショックを与え、心臓を正常なリズムに戻すための医療機器です。	83
か	学習障がい（LD）	Learning Disabilities の略。基本的には全般的な知的発達に遅れはないが、聞く、話す、読む、書く、計算する、または推論する能力のうち特定のものの習得と使用に困難を示す状態のことです。	7、28、96
	カリキュラム・デザイン	教育課程の独自編成のこと。各学校の教育目標や人材育成目標、子供たちの状況、他教科とのバランスなど様々な要素を勘案し、最適な授業計画を構築することです。	63
	キー・コンピテンシー	個人が人生で成功しながら社会が良好に機能するために必要な能力のことです。特に、以下の性質のものをいいます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・人生の成功や社会の発展にとって有益な能力</li> <li>・様々な文脈の中でも重要な要求（課題）に対応するために必要な能力</li> <li>・特定の専門家ではなく、すべての個人にとって重要な能力</li> </ul>	63
	CAP プログラム	Child Assault Prevention の略。子どもが、いじめ・虐待・体罰・誘拐・痴漢・性暴力など様々な暴力から自分の心と体を守るための予防教育プログラムです。	81
	協調学習	児童生徒一人一人の理解のあり方を尊重し、学び合いの中で一人一人に役割を担わせることによって主体性を引き出し、話し合い、考えの統合を通じ、教科内容を学びながらもコミュニケーション能力や問題解決能力、情報活用能力を育む学習のことです。	63、73、76、85、86
	コーディネーショントレーニング	運動神経などと一般的に言われ、これまで身に付け方が分からなかった能力を、対象者のレベルに合わせて向上させるトレーニング方法のことです。	10
	コンピテンシー	単なる知識や技能だけではなく、技能や態度を含む様々な心理的・社会的な要素を活用して、特定の文脈の中で複雑な要求や課題に対応することができる能力のことです。	63
さ	持続可能な開発のための教育（ESD）	Education for Sustainable Development の略。持続可能な社会の担い手を育むため、地球規模の課題を自分のこととして捉え、その解決に向けて自分で考え行動を起こす力を身に付けるための教育のことです。	63、73、85、86

	用語	内容	関連ページ
さ	自閉症	3歳位までに現れ、他人との社会的関係を形成することが難しく、言葉の発達の遅れや特定のものにこだわることを特徴とする行動の障がいのことです。	7、27、28、96
	情緒障がい	情緒の現れ方を、自分の意志でコントロールできないことが継続する障がいのことです。	27、28
	スクールソーシャルワーカー	いじめ、不登校、非行や児童虐待などの問題に対して、子供や家庭に働きかけるとともに、外部の関係機関等とも連携しながら解決を図る専門家のことです。	10、81、96
た	注意欠陥多動性障がい（ADHD）	Attention Deficit Hyperactivity Disorderの略。年齢あるいは発達に不釣り合いな注意力や衝動性、多動性を特徴とする行動の障がいのことです。	7、28、96
	Teach For Japan	すべての子供が素晴らしい教育を受けることができる社会の実現を目指し、子供たちの学習環境の向上と、若者たちのリーダーシップの育成を目的に活動している非営利組織の事です。	65
	DV	夫婦間や恋人など親しい間柄での暴力の事です。身体的暴力、性的暴力や言葉による精神的暴力などもDVです。	60
	特別支援教育	学習障がい、注意欠陥多動性障がい、高機能自閉症を含めた障がいのある児童生徒の自立や社会参加に向けて、その一人一人の教育的ニーズを把握して、その持てる力を高め、生活の困難を改善または克服するために、適切な教育や指導を通じて必要な支援を行う教育の事です。	7、10、58、59、61、62、64、65、72、73、95、96
な	21世紀型能力	ある目標を解決するために、他者ととともに様々なテクノロジーも活用しながら知識を生み出し、またその過程を通じて新たな目標を発見するような知識を生み出し続ける能力の事です。	63
	ネグレクト	食事を与えない、適切な医療を受けさせない、自動車や家に置き去りにするなど、子供の生活の面倒を見なかったり、育児をしないで放置したりする行為の事です。	60
は	発達障がい	自閉症やアスペルガー症候群その他の広汎性発達障がい、学習障がい、注意欠陥多動性障がいなど、脳機能の障がいの事です。	28、61、64、65、95、96
	ファシリティマネジメント	公共施設を従来のように維持管理していただくだけでなく、行政における「経営資源」として捉え、総合的に企画、管理、活用する新たな施設の維持管理手法の事です。	16
や	ユニバーサルデザイン	性別、年齢、障がいの有無などにかかわらず、すべての人が使いやすい施設や生活環境をデザインするという考え方の事です。	10、96

## 第3次戸田市教育振興計画

---

発行・編集：戸田市・戸田市教育委員会

発行年月日：平成28年3月

〒335-8588 埼玉県戸田市上戸田1丁目18番1号

電話：048-441-1800（代）

FAX：048-443-9033

## 戸田市立中学校学校選択制による入学希望校申込結果一覧

(単位：人) 平成27年11月21日抽選会実施後

学 校 名	通学区域内で 希望した児童数(人)	通学区域外から 受け入れる児童数(人)	通学区域外児童 受入定員数(人)	合 計 数 ( 人 )
戸田中学校	245	30	30	275
戸田東中学校	111	29	35	140
美笹中学校	99	1	35	100
喜沢中学校	166	4	35	170
新曽中学校	297	22	30	319
笹目中学校	176	32	32	208
戸田中学校 (特別支援学級)	2	1		3
喜沢中学校 (特別支援学級)	5	0		5
笹目中学校 (特別支援学級)	2	2		4
合 計	1, 103	121		1, 224

※ 戸田中学校については抽選会を実施しました。

## 報告事項④

平成27年度第62回埼玉県歯科保健コンクール審査結果について

### 【入選校】

- ・戸田市立美女木小学校
- ・戸田市立戸田東小学校
- ・戸田市立喜沢中学校

### 【年間努力校】

- ・戸田市立喜沢小学校

### 【PTA活動優秀校】

- ・戸田市立戸田東中学校

## 平成27年度 第45回 戸田市児童生徒作品展覧会について

- 1 期 日 平成27年11月14日(土)・15日(日)  
展示公開 9:00～16:00
- 2 会 場 戸田市立戸田南小学校
- 3 会場設営 平成27年11月13日(金) 8:40～15:00  
搬入 平成27年11月13日(金) 14:15～16:30
- 4 作品搬出 平成27年11月16日(月) 8:40～ 9:10  
撤収 平成27年11月16日(月) 9:30～12:30
- 5 出品基準
  - (1) 書 写 各学級2点
  - (2) 理 科 各学校 1～3点
  - (3) 図画工作・美術
    - ①平面 各学級1点
    - ②立体 各学級1点
  - (4) 家庭(小) 各学級2点 5・6年生のみ
  - (5) 家庭(中) 各学級1点
  - (6) 技術(中) 各学級1点
  - (7) 特別支援学級(小) 1人平面及び立体1点 合計2点
  - (8) 特別支援学級(中) 1人平面もしくは立体 1点
- 6 来場いただいた来賓
  - 1 神保 国男 市長
  - 2 三浦 芳一 戸田市議会議長
  - 3 榎本 守明 文教・建設常任委員会委員長
  - 4 峯岸 義雄 文教・建設常任委員会副委員長
  - 5 竹内 正明 文教・建設常任委員会委員
  - 6 伊東 秀浩 文教・建設常任委員会委員
  - 7 熊木 照明 文教・建設常任委員会委員
  - 8 真木 大輔 戸田市議会議員
  - 9 斎藤 直子 戸田市議会議員
  - 10 戸ヶ崎 勤 戸田市教育委員会教育長
  - 11 鈴木 晃 戸田市教育委員会教育委員
  - 12 中川 幸子 戸田市教育委員会事務局教育部長
  - 13 鈴木 研二 戸田市教育委員会事務局次長
- 7 出品数 1, 886点(小学校1, 273点 中学校613点)  
参加者数 4, 177人
  - ・小学校 : 児童 1, 565人 保護者 1, 885人
  - ・中学校 : 生徒 212人 保護者 403人
  - ・来賓・一般・学校職員 112人

平成27年度 第45回戸田市児童生徒作品展覧会

実施日 平成27年11月14・15日

会場 戸田市立戸田南小学校

両日とも9:00~16:00



11月14・15日の2日間、戸田南小学校にて第45回戸田市児童生徒作品展覧会が開催されました。

二日間雨天となりましたが、来場者数は4,177人となり、過去最多を記録しました。

平成27年度 戸田市算数・数学フェスティバルについて

- 1 実施日時 平成27年11月28日(土)  
 ・ 9:00～11:45 第12回数学コンテスト  
 ・ 13:30～15:30 第8回算数・数学おもしろ教室
- 2 実施会場 戸田南小学校(H24～26戸一小、H20～23芦原小)
- 3 結果等 (1)第12回数学コンテストについて(午前)  
 ア 対象者 市内在住の小学校4年生から中学校3年生  
 イ 応募、参加児童生徒(別紙一覧参照)  
 ・ 応募者数 93名(小79名、中14名)  
 ・ 参加者数 77名(小65名、中12名)  
 平成26年度参加者71名(小52名、中19名)  
 ウ 問題について ホームページに掲載  
 エ 成績優秀者  
 ・ 最優秀賞 美谷本小学校 6年 100点  
 筑波大学附属駒場中学校 3年 100点  
 (戸二小出身、昨年度最優秀賞受賞者)  
 ・ 優秀賞 <成績上位者を学校順で> 上位6位以内  
 戸田第二小学校 6年  
 新曽小学校 6年  
 戸田南小学校 5年  
 新曽北小学校 4年  
 美女木小学校 6年  
 戸田東中学校 3年  
 ・ 優良賞 <成績上位者を学校順で>  
 戸田第一小学校 4年  
 戸田第一小学校 5年  
 戸田東小学校 5年  
 戸田南小学校 4年  
 芦原小学校 5年  
 喜沢中学校 2年  
 笹目中学校 1年
- (2)第8回算数・数学おもしろ教室について(午後)  
 ア 応募、参加児童生徒(別紙一覧参照)  
 ・ 応募者数 395名(小385名、中10名)  
 ・ 参加者数 341名(小334名、中7名)  
 平成26年度参加者 308名(小298名、中10名)
- (3)のべ参加者数 418名  
 平成26年度のべ参加者数379名
- 4 講師等  
 ・ 市内ボランティア教員 42名  
 ・ 中学校学習支援サポーター 9名  
 ・ 埼玉大学教育学部学生 11名

平成27年度 戸田市算数・数学フェスティバルの様子  
平成27年11月28日 戸田南小学校

1 数学コンテスト (AM)



2 算数・数学おもしろ教室 (PM)



## 平成27年度文化財保護訓練・防火点検

### 1 目的

第62回文化財防火デー（毎年1月26日：法隆寺金堂壁画焼失の日）に関連して、市内の貴重な財産である戸田市指定文化財を火災から保護することを目的とし、火災発生時の初動体制の確認及び消火活動等の訓練を行う。また、市内寺社において防火設備等の点検および文化財の保管状況等の調査を行う。

### 2 日時

平成28年1月26日（火）

保護訓練：午前9時30分から11時00分まで

防火点検：午後2時00分から3時40分まで

### 3 場所

保護訓練： 美女木八幡社 （戸田市美女木 7-9-1）

防火点検： ①平等寺 （戸田市笹目 6-5-4）

②新曾氷川神社（戸田市氷川町 2-12-9）

③多福院 （戸田市本町 3-4-3）

### 4 参加機関

(1) 戸田市消防本部・消防署

(2) 戸田市消防団

(3) 戸田市教育委員会 生涯学習課

(4) 美女木八幡社、平等寺、新曾氷川神社、多福院



H26 文化財搬出訓練（笹目神社）

### 5 実施項目

#### 保護訓練

(1) 初期消火訓練（美女木八幡社関係者）

(2) 通報訓練（美女木八幡社関係者）

(3) 避難訓練（美女木八幡社関係者）

(4) ホース延長及び中継訓練

(5) 文化財搬出訓練

（生涯学習課：文化財の確認、管理）

(6) 傷病者搬出、搬送訓練

(7) 一斉放水訓練



H26 一斉放水訓練（笹目神社）

#### 防火点検

(1) 防火設備の点検（消防本部予防課）

(2) 文化財保管状況調査（生涯学習課）



H26 防火点検（美女木八幡社）

※写真はいずれも昨年度の実施状況です。

## 報告事項⑧

### 戸田市立図書館の特別整理期間について

戸田市立図書館条例第6条第5号に基づき、下記のとおり特別整理期間を定めたので報告します。

—記—

#### 実施施設・実施期間・休館日数

実施施設	実施期間	休館日数
本館	平成28年9月12日(月)～9月17日(土)	6日間
上戸田分館	平成28年10月3日(月)～10月5日(水)	3日間
下戸田分室	平成28年9月15日(木)～9月16日(金)	2日間
美笹分室	平成28年9月15日(木)～9月16日(金)	2日間
下戸田南分室	平成28年9月13日(火)～9月14日(水)	2日間

#### 参考資料

#### 戸田市立図書館条例 ～抜粋～

(休館日)

第6条 図書館の休館日は、次のとおりとする。

- (1) 毎月第2月曜日、第4月曜日及び第5月曜日（その日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）第3条に規定する休日（以下「休日」という。）である場合を除く。）
- (2) 前号の規定にかかわらず、分館にあつては毎月第3月曜日（その日が休日である場合を除く。）、戸田市立図書館下戸田南分室にあつては、毎月第1火曜日、第3火曜日及び第5火曜日（その日が休日である場合を除く。）
- (3) 1月1日から同月4日まで及び12月29日から同月31日まで
- (4) 館内整理日（毎月末日。ただし、その日が日曜日、土曜日、又は休日である場合を除く。）
- (5) 特別整理期間（毎年1回15日以内）
- (6) その他教育委員会が必要と認めた日

## 第16回昔のくらし展 開催要項

- 1 名称 「発見！ 昔のくらし」
- 2 開催趣旨 「電気・ガス・水道」という今の生活には欠かせないものがなかった頃、人々は自然の力を巧みに利用して道具を作り、工夫して生活をしていました。その道具は、現在では見かけなくなったものが増えたが、現在使われている電化製品等の元として改めて見ると、新しい発見があるかもしれない。そうしたことを踏まえ、展示では、初期の電化製品も併せて展示し、変化してきた暮らしを昔の道具や部屋の様子等を通じて紹介する。
- 3 開催期間 平成28年1月16日（土）～3月6日（日）【47日間】  
※期間中休館日：1月25日（月）、2月8日（月）、22日（月）、29日（月）  
プレ展示として12月中旬より1,3階ロビーを使用して、昔の暮らしの様子や道具の移り変わり等を展示（～3月6日まで）
- 4 展示会場 戸田市立郷土博物館3階 特別展示室、展示室前ロビー 1階ロビー等
- 5 関係機関 主催：戸田市立郷土博物館
- 6 展示構成 第1章 暖かく暮らすための工夫コーナー  
ストーブやかいまき等を展示  
第2章 衣に関するコーナー  
衣類や洗濯、裁縫道具等を展示  
第3章 食に関するコーナー  
炊事に関する道具を中心に、調理道具、食卓の道具等を展示  
第4章 ダイニングキッチンのある暮らし  
ダイニングキッチンとダイニングテーブル等による食事風景の再現展示

- 第5章 明りに関するコーナー  
ランプ、がندوق、電灯等を展示
- 第6章 清掃や衛生に関するコーナー  
ほうき、はたき、蠅とり紙、便所関連の道具等を展示
- 第7章 初期電化製品  
テレビや冷蔵庫、洗濯機等を展示
- 第8章 昔のこども  
昔の遊び道具やこどもの関わる道具を紹介

- 7 入 場 料 無料
- 8 対 象 小学3年生、その両親・祖父母（ターゲット）、一般
- 9 警備体制 開館時：展示監視員1名の配置、警備員による定期巡回  
閉館時：警備員2名が通年にわたり常駐
- 10 関連事業 名称：①糸車で糸をつむごう(仮称)  
②洗濯板とたらいで洗濯をしてみよう(仮称)  
指導：当館学芸員  
会場：郷土博物館 3階常設展示室・講座室・特別展示室  
対象：小・中学生  
費用：無料

### § こども体験講座

- 名称：昔の道具たいけんフェスティバル(仮称)  
指導：当館学芸員  
会場：郷土博物館 3階常設展示室・講座室・特別展示室  
対象：小・中学生  
費用：無料

## § 博物館授業

期間：展示期間中

会場：特別展示室、講座室及び常設展示室

内容：地域の人々の生活について、家屋、道具等の移り変わりを中心に調べ、100年くらいの間に大きく変化してきたことを理解するとともに、地域の文化財や年中行事に関心を持てるよう支援する。

指導：当館学芸員（博物館ボランティアによる支援あり）

対象：市内小学3年生（全12校）

(※以上の関連事業については、日程等の詳細が決定次第個別に別途起案)

- 11 印刷物
- ・ポスター（A3判、4色）：850枚 [主として町会配送535枚他]
  - ・リーフレット（A4判、両面、表4色、裏1色）：12,000部 [町会回覧3,541枚、中学校クラス数配布、小学校家庭数配布 他館郵送他]
- 12 広報活動
- 「広報戸田市」1月1日号（関連事業の一部は2月1日号）
- ・ポスター掲示（町会掲示板、小中学校、公共施設、他の博物館等施設）
  - ・リーフレット配布（町会回覧、小学校家庭数配布 小学校及び中学校クラス数配布、公共施設、他の博物館等施設）
  - ・館ホームページ、館内掲示の充実
  - ・報道機関への情報提供
  - ・イベント関連サイトでの情報提供
- （日本博物館協会、インターネットミュージアム、文化遺産オンライン、科学館ポータルサイト、埼玉文化イベント情報、すくパラ倶楽部等）
- 13 展示企画
- 郷土博物館担当学芸員  
山田あさぎ、最上志乃、石川達也、松井さやか